

津島市 高齢者介護に関する調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、
事業者向けアンケート調査)
調査結果報告書

令和5年3月

津島市

目 次

I 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 回収の結果	4
4 報告書の見方	4
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7
1 対象者の属性	7
1-1 調査票の記入者	7
1-2 性別	7
1-3 年齢	7
1-4 居住地区	8
1-5 要支援等の認定状況	8
2 家族や生活状況について	8
2-1 家族構成	8
2-2 自身の介護・介助の必要性	9
2-3 現在の暮らしの経済的状況	9
2-4 住居形態	9
3 からだを動かすことについて	10
3-1 からだを動かすことについて	10
3-2 転倒について	11
3-3 外出について	11
4 食べることについて	15
4-1 身体の状況について	15
4-2 口腔について	16
4-3 食事の状況	17
5 毎日の生活について	18
5-1 物忘れ等について	18
5-2 毎日の生活について	19
5-3 社会参加について	20
5-4 趣味・生きがいについて	20
6 地域での活動について	21
6-1 地域活動への参加状況	21
6-2 地域づくり活動への参加意向	23
7 たすけあいについて	24
7-1 まわりの人とのたすけあいの状況	24

7-2	家族や友人以外の相談相手	25
7-3	友人関係について	26
7-4	ボランティア活動への参加について	29
8	健康について	30
8-1	自身の健康状態	30
8-2	現在の幸福度	30
8-3	心の状態について	31
8-4	飲酒・喫煙の状況	31
8-5	現在治療中、または後遺症のある病気	33
8-6	市が開催している健康づくり・介護予防教室等について	34
9	地域の社会資源について	38
9-1	市の住みやすさに対する満足度	38
9-2	かかりつけ医の有無	38
9-3	市の地域包括支援センターの理解度	39
9-4	気軽に外出できる自宅近くの場所の有無	40
9-5	住民が主体となって運営する場について	41
10	今後の介護・高齢者施策について	43
10-1	自身が受けたい介護	43
10-2	介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方	44
10-3	市に望む介護体制の充実	45
10-4	最期を迎えたい場所	46
10-5	人生会議の実施状況	47
10-6	家族における認知症の症状の有無	48
10-7	認知症の相談窓口について	48
10-8	津島市の認知症施策の認知度	50
10-9	認知症チェックリスト	51
10-10	介護・高齢者福祉に対する意見・要望	52

Ⅲ 在宅介護実態調査	61
1 対象者の属性	61
1-1 調査票の記入者	61
1-2 性別	61
1-3 年齢	61
1-4 居住地区	62
1-5 要介護度	62
1-6 世帯類型	63
1-7 主となって介護や援助をしてくれる人の居住	63
1-8 現在抱えている傷病	64
1-9 訪問診療の利用状況	64
2 必要な介護やサービスの利用などについて	65
2-1 介護保険サービスの利用状況	65
2-2 介護保険サービスを利用していない理由	66
2-3 今後受たい介護	67
2-4 施設等に入所・入院したい理由	68
2-5 施設等への入所・入居の検討状況	69
2-6 今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容	70
2-7 介護保険サービス等以外のサービスの利用状況	71
2-8 在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向	73
2-9 在宅医療を利用したいと思わない理由	74
2-10 人生会議の実施状況	75
2-11 リハビリ専門職からの助言・支援	76
2-12 家族介護の頻度	77
3 主な介護者の方について《介護者への質問》	78
3-1 主な介護者の続柄	78
3-2 主な介護者の性別	78
3-3 主な介護者の年齢	79
3-4 現在行っている介護	80
3-5 不安に感じる介護	82
3-6 介護を断念し、入所を検討する理由	84
3-7 津島市の認知症施策の認知度	85

4	主な介護者の就労について《介護者への質問》	86
4-1	主な介護者の勤務形態	86
4-2	仕事と介護の両立に関する相談状況	86
4-3	働き方の調整状況	87
4-4	仕事と介護の両立について、今後の見込み	88
4-5	介護を理由とした家族等の離職の有無	89
4-6	介護・高齢者福祉に対する意見・要望	90
IV	事業者向けアンケート調査	97
1	サービス整備・提供の意向等について	97
1-1	サービス提供の状況	97
1-2	介護サービスの実施状況と実施予定	98
2	地域包括支援センターについて	99
2-1	地域包括支援センターへ相談について	99
2-2	地域包括支援センターへの相談の満足度	99
2-3	地域包括支援センターに力を入れてほしい役割	100
3	介護相談窓口・多職種連携について	101
3-1	生活支援コーディネーター（社協）への相談	101
3-2	在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）の知名度	101
3-3	多職種の連携について	102
4	人材確保・育成について	103
4-1	人材マネジメント上、抱えている問題	103
4-2	人材育成に取り組む際の問題点	104
4-3	職員の確保と定着向上の問題点	105
5	事業所運営について	106
5-1	居宅介護サービス計画作成時の問題点	106
5-2	ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること	107
5-3	業務効率化に向けての取り組み	108
5-4	ハラスメント対策について	109
5-5	新型コロナウイルス感染症による運営上の課題	110
5-6	津島市で今後充実させる介護サービスの希望	111
5-7	介護・高齢者福祉に関する意見	112
V	調査結果より	115
1	在宅生活の継続に向けて	115
2	介護予防・社会参加について	116
3	認知症施策について	117

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「津島市第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっての基礎資料として、また、今後の高齢者の福祉行政の基礎資料として、介護保険サービスの利用状況・利用意向や高齢者の生活実態、福祉をはじめとする各種事業の利用意向、意見・要望等を把握する目的で実施しました。

2 調査の設計

調査設計は以下のとおりです。

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けていない者、要支援1・2と認定された者及び事業対象者
サンプル数	1,500人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和4年11～12月

【在宅介護実態調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けている者
サンプル数	860人
抽出方法	全数
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和4年11～12月

【事業者向けアンケート調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市内にある介護保険事業所を有する法人
サンプル数	43法人
抽出方法	全数
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和4年11～12月

3 回収の結果

回収結果は下表のとおりです。

	配布数	回収数	有効	無効
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	1,500 100.0%	962 64.1%	958 63.9%	4 0.3%
在宅介護実態調査	860 100.0%	435 50.6%	413 48.0%	22 2.6%
事業者向けアンケート調査	43 100.0%	31 72.1%	31 72.1%	0 0.0%

※白紙票は無効としました。

4 報告書の見方

- 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのためパーセントの合計が100にならないことがあります。
- 基数となるべき実数は、件数として掲載しています。したがって比率は、件数（「n」で示す）を100%として算出しています。
- 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えています。
- クロス集計表においては、各分類の合計が「全体」の件数と合わない場合があります。
- 性別、年齢、居住地などの属性は、回答者ごとに付与したIDによって、住民基本台帳の属性データと紐づけて集計しています。これらの項目の「無回答」は調査票に付与したIDが破棄されているなど、属性データと紐づけができなかったものが該当します。
- 本報告書中の表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

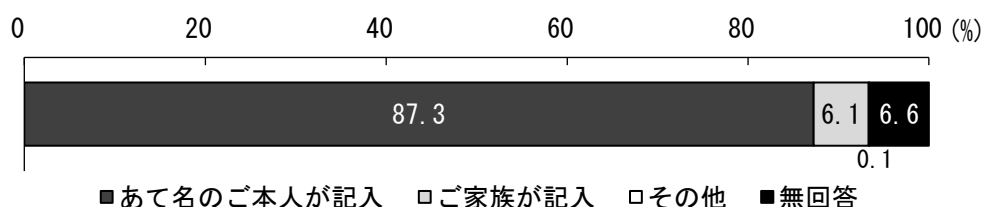
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 対象者の属性

1-1 調査票の記入者

調査票の記入者は、「あて名のご本人が記入」(87.3%)、「ご家族が記入」(6.1%) となっています。

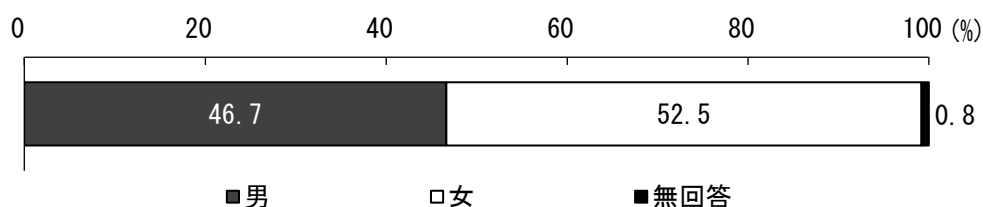
n=958



1-2 性別

調査対象者本人の性別は、「男」(46.7%)、「女」(52.5%) となっています。

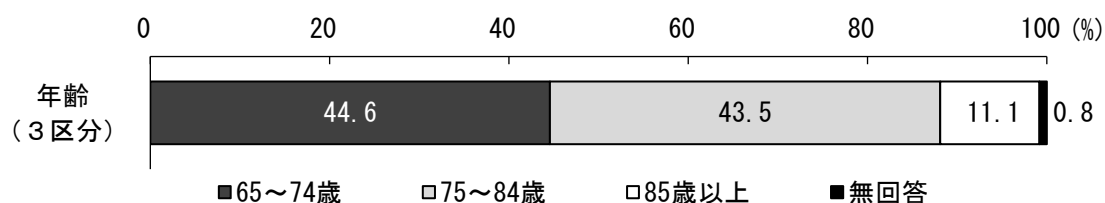
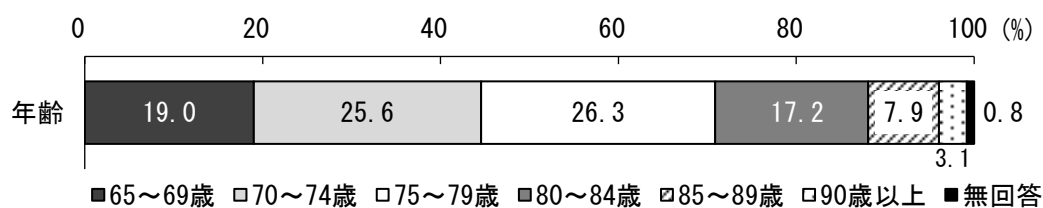
n=958



1-3 年齢

対象者本人の年齢は、「75～79歳」(26.3%)、「70～74歳」(25.6%) が高くなっています。3区分では、「65～74歳」が44.6%、「75～84歳」が43.5%、「85歳以上」が11.1%となっています。

n=958

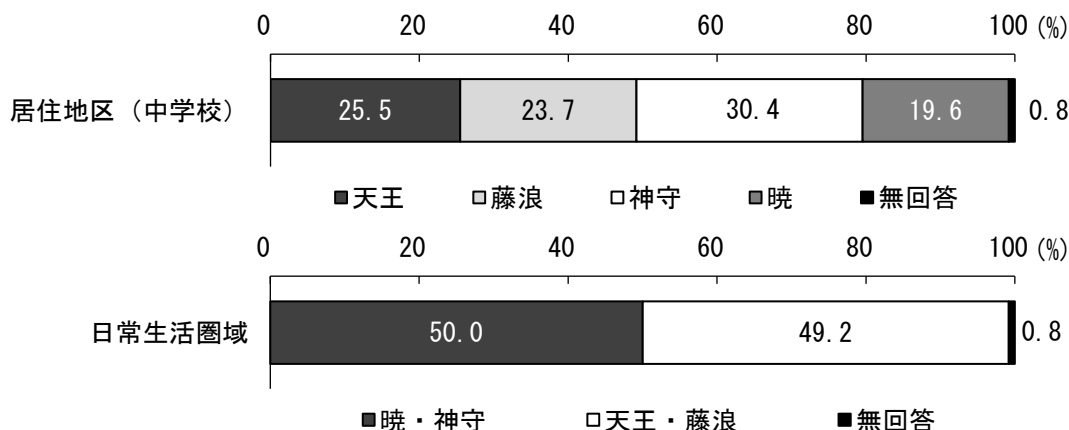


1-4 居住地区

居住地区（中学校区）は、「天王」が25.5%、「藤浪」が23.7%、「神守」が30.4%、「暁」が19.6%となっています。

日常生活圏域は、「暁・神守」が50.0%、「天王・藤浪」が49.2%となっています。

n=958



1-5 要支援等の認定状況

要支援等の認定状況は、「認定なし」が92.3%、「事業対象者」が0.5%、「要支援1」が2.7%、「要支援2」が3.7%となっています。

n=958



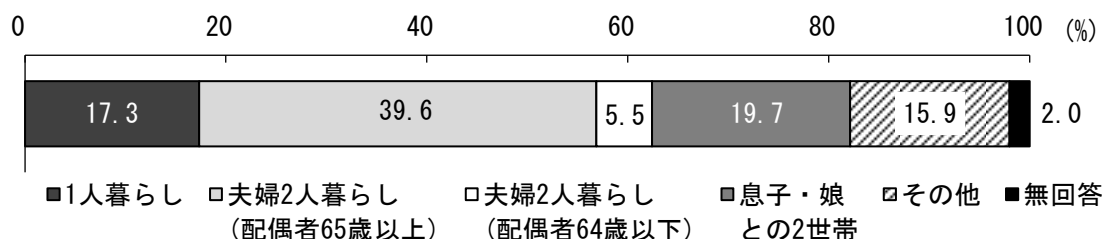
2 家族や生活状況について

2-1 家族構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

n=958

家族構成は、「1人暮らし」が17.3%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.5%、「息子・娘との2世帯」が19.7%となっています。

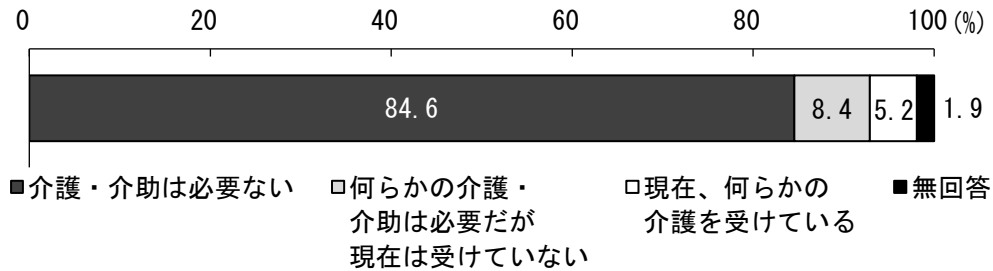


2-2 自身の介護・介助の必要性

問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

n=958

自身の介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が84.6%を占めており、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.4%、「現在、何らかの介護を受けている」は5.2%となっています。

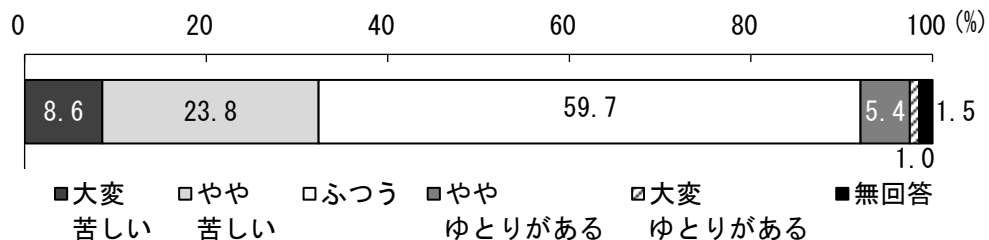


2-3 現在の暮らしの経済的状況

問1(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

n=958

現在の暮らしの経済状況は、「ふつう」(59.7%)が最も高く、『苦しい』(「大変苦しい」「やや苦しい」の計)は32.4%、『ゆとりがある』(「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の計)は6.4%となっています。

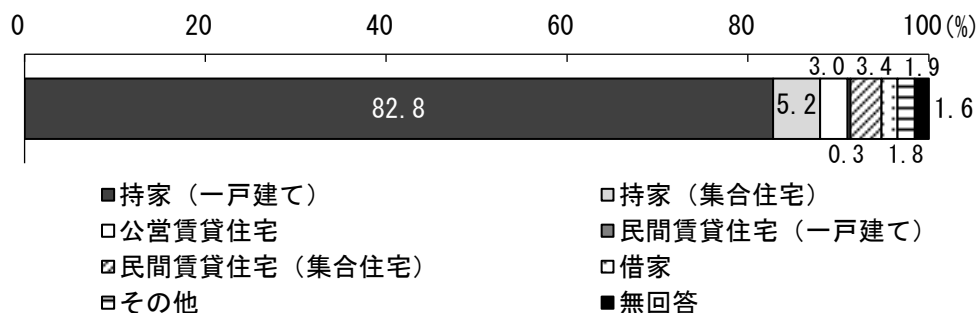


2-4 住居形態

問1(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

n=958

住居形態は、「持家(一戸建て)」が82.8%となっています。



3 からだを動かすことについて

3-1 からだを動かすことについて

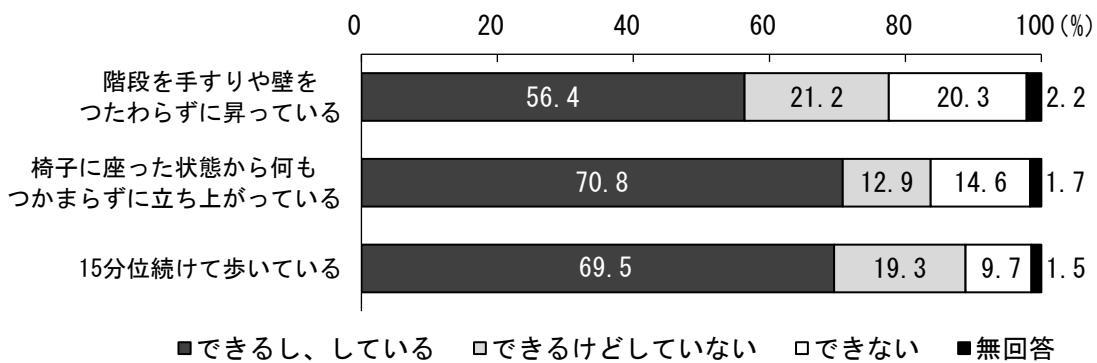
問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
- (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
- (3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

n=958

からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で20.3%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で14.6%、「15分位続けて歩いている」で9.7%となっています。

「階段を手すりや壁をつたわずに昇る」と「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる」について、前回調査と比べると、ともに「できない」が約5ポイント増加しています。



【階段や手すりや壁をつたわずに昇る】 【椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がる】

単位：%

	件数	しで て き る し、	しで て き る な い け い ど	で き な い	無 回 答
今回調査 (R4)	958	56.4	21.2	20.3	2.2
前回調査 (R1)	978	58.1	24.0	15.2	2.7

単位：%

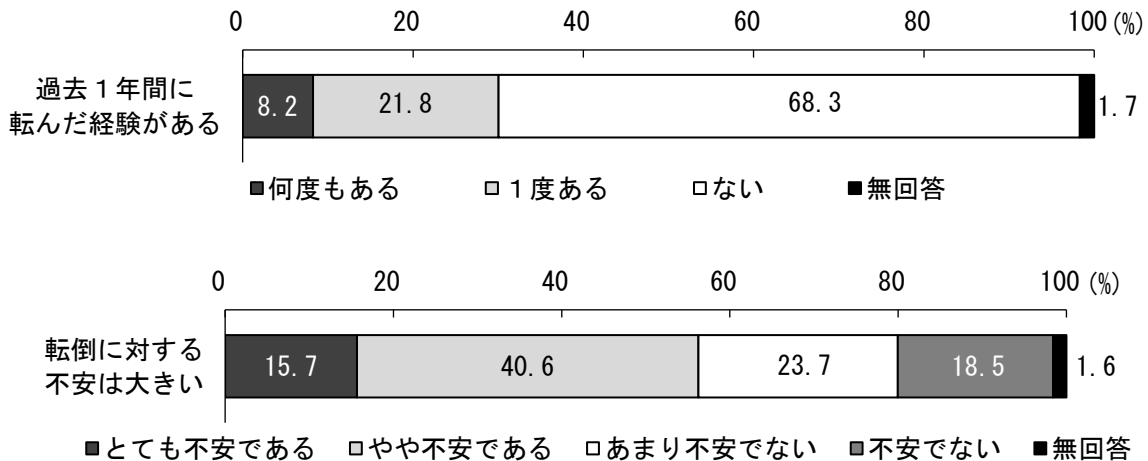
	件数	しで て き る し、	しで て き る な い け い ど	で き な い	無 回 答
今回調査 (R4)	958	70.8	12.9	14.6	1.7
前回調査 (R1)	978	74.3	13.1	9.6	3.0

3-2 転倒について

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)
 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

n=958

過去1年間に転んだ経験については、『ある』(「何度もある」「1度ある」の計)が30.0%となっています。また、転倒に対する不安については、『不安である』(「とても不安である」「やや不安である」の計)が56.3%となっています。



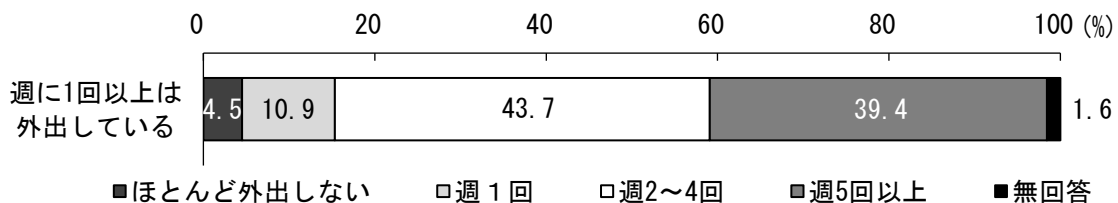
3-3 外出について

問2(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)
 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)
 (8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

n=958

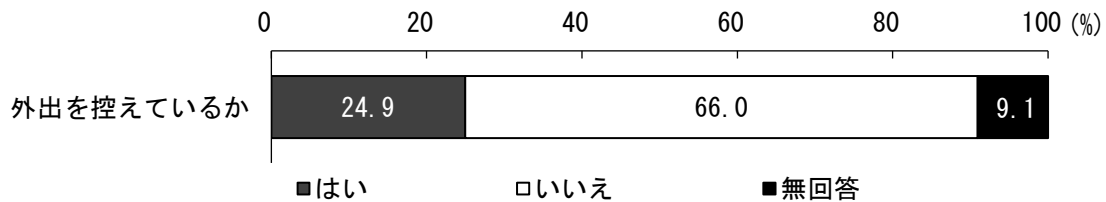
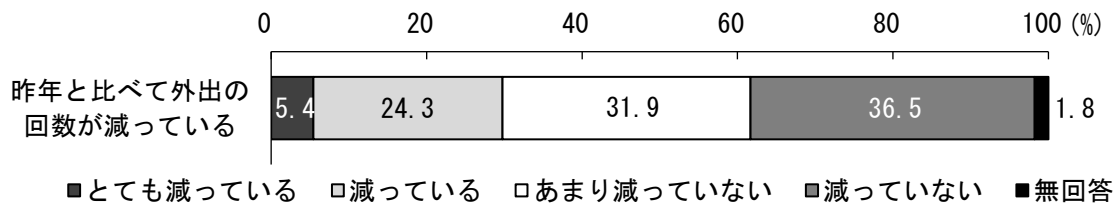
外出の頻度については、『週1回以下』(「ほとんど外出しない」「週1回」の計)が15.4%となっています。また、外出を控えているかどうかについて、「はい」は24.9%となっています。

前回調査と比べると、外出頻度は「週5回以上」が減少しています。なお、「ほとんど外出しない」「週1回」は概ね同等となっています。一方で、前回調査よりも、外出を「控えている」が増加しています。



単位: %

	件数	外ほ 出と しん など い	週 1 回	週 2 ~ 4 回	週 5 回 以 上	無 回 答
今回調査 (R4)	958	4.5	10.9	43.7	39.4	1.6
前回調査 (R1)	978	3.3	9.0	39.7	46.2	1.8



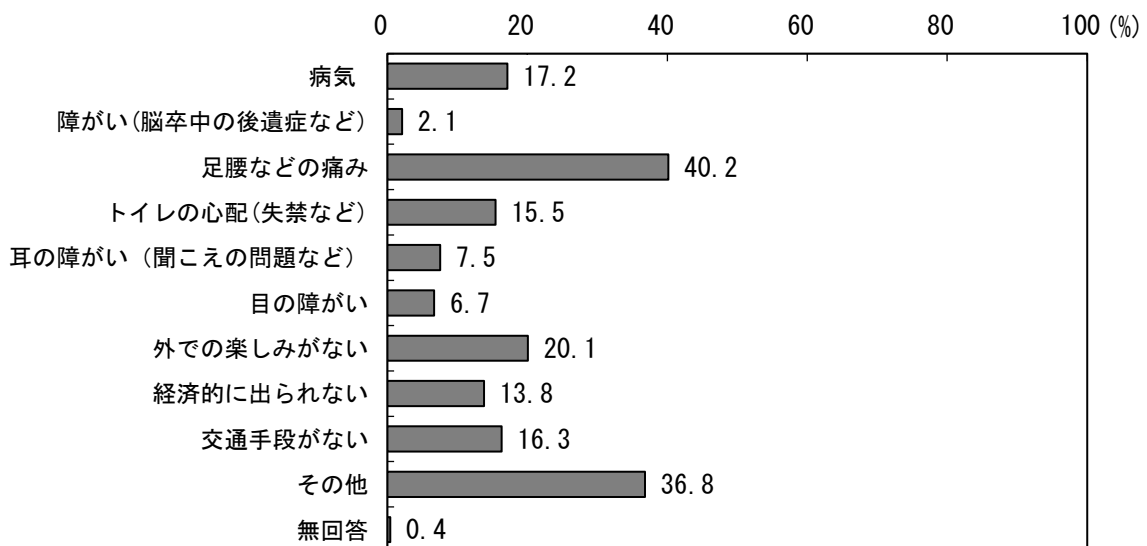
単位：%

	件数	控えている	控えていない	無回答
今回調査 (R4)	958	24.9	66.0	9.1
前回調査 (R1)	978	17.5	75.6	7.0

(問2(8)で「1 はい(外出を控えている)」を選んだ方に)
 問2(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

n=239

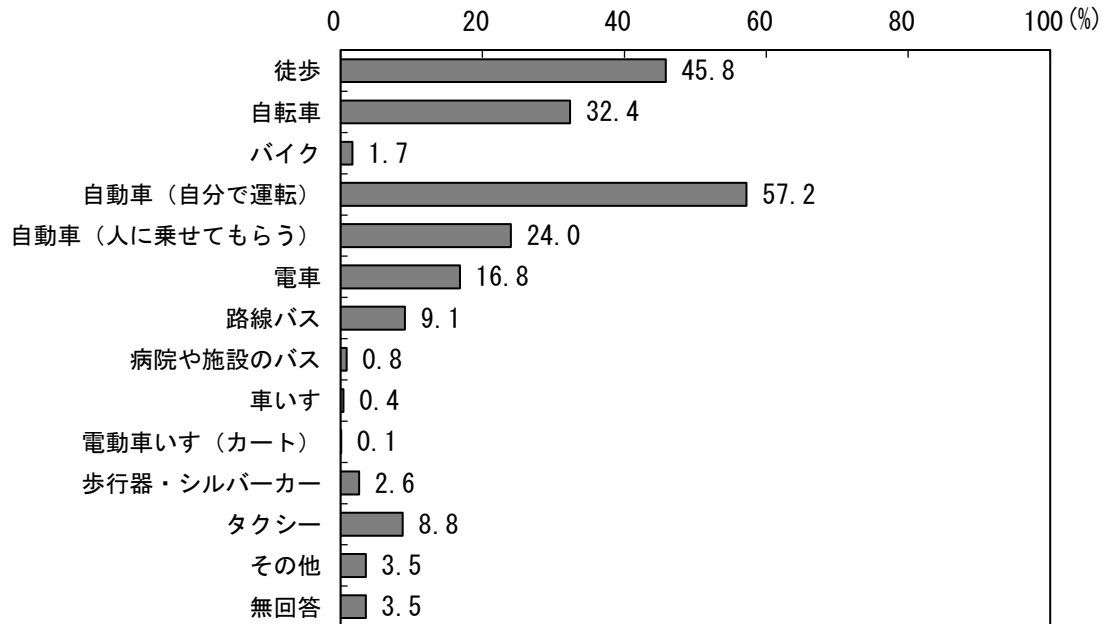
外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が40.2%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」(20.1%)、「病気」(17.2%)、「交通手段がない」(16.3%)となっています。



問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

n=958

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」(57.2%)が最も高く、次いで「徒歩」(45.8%)、「自転車」(32.4%)となっています。



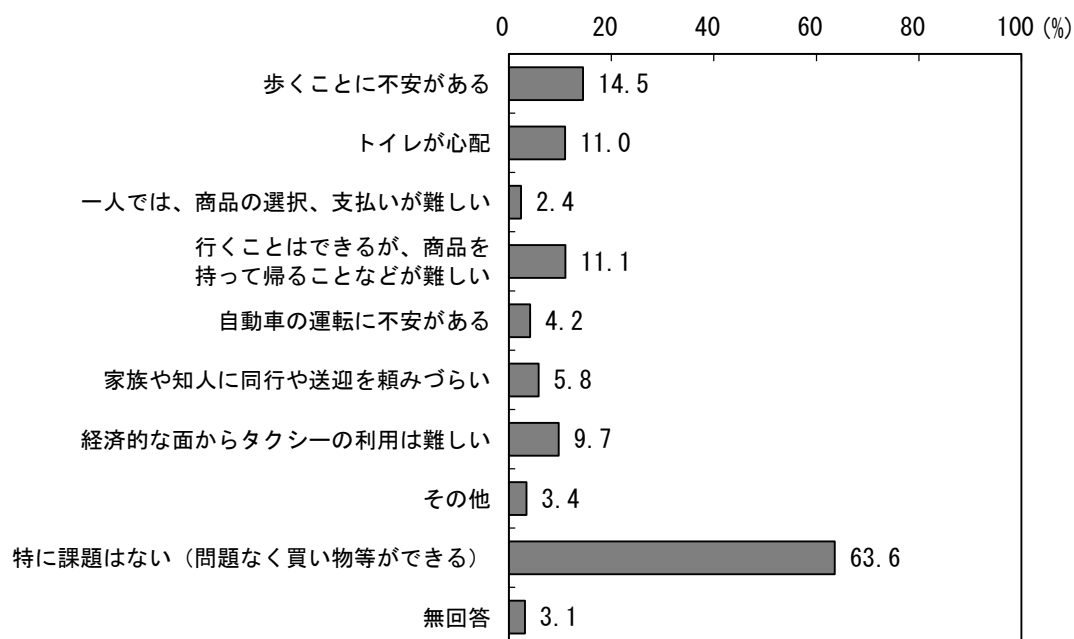
問2 (10) 買物等の外出をするにあたっての課題をお教えてください。(〇はいくつでも)

n=958

買物等の外出をするにあたっての課題は、「特に課題はない(問題なく買い物等ができる)」(63.6%)が最も高く、次いで「歩くことに不安がある」(14.5%)、「行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい」(11.1%)、「トイレが心配」(11.0%)となっています。

年齢別で見ると、85歳以上では「歩くことに不安がある」「行くことはできるが、商品をもって帰ることなどが難しい」「トイレが心配」「家族や知人に同行や送迎を頼みづらい」が他の年齢よりも高くなっています。

また、世帯別で見ると、1人暮らしでは「歩くことに不安がある」「行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい」「経済的な面からタクシーの利用は難しい」が他の世帯よりも高くなっています。



単位: %

		件数	歩くことに不安がある	トイレが心配	一人では、商品の選択、支払いが難しい	行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい	自動車の運転に不安がある	家族や知人に同行や送迎を頼みづらい	経済的な面からタクシーの利用は難しい	その他	(特に課題はない物等ができる)	無回答
全体		958	14.5	11.0	2.4	11.1	4.2	5.8	9.7	3.4	63.6	3.1
年齢	65~74歳	427	5.4	8.2	1.9	4.4	4.2	3.0	4.4	2.3	77.3	2.8
	75~84歳	417	18.0	11.5	2.4	12.9	4.6	6.5	13.7	4.1	57.8	3.8
	85歳以上	106	36.8	17.0	3.8	28.3	0.9	12.3	12.3	5.7	34.9	1.9
世帯	1人暮らし	166	20.5	10.8	0.6	19.3	5.4	6.6	15.1	3.6	56.6	2.4
	高齢者のみ	379	12.9	10.8	2.4	9.5	2.6	5.5	9.2	4.2	67.5	1.6
	その他	242	14.9	14.9	3.3	9.9	6.2	7.4	9.1	1.2	62.8	1.2

※世帯のクロス集計軸のうち「高齢者のみ」は、「2-1 家族構成」において「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した場合が該当します。また、「その他」は同設問において「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」「息子・娘との2世帯」「その他」を回答した場合が該当します。以降の集計表においても同様です。

4 食べることについて

4-1 身体状況について

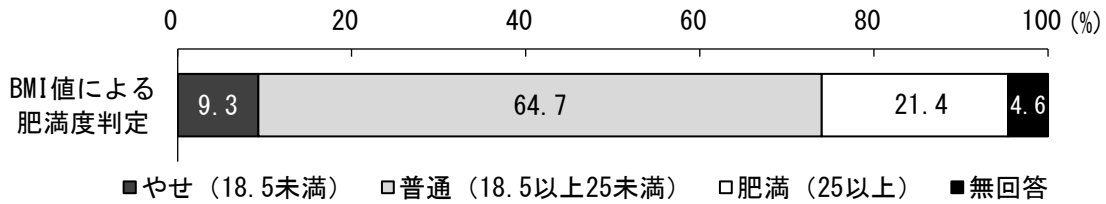
問3 食べることについて

(1) 身長・体重についてご記入ください。(数字を記入)

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

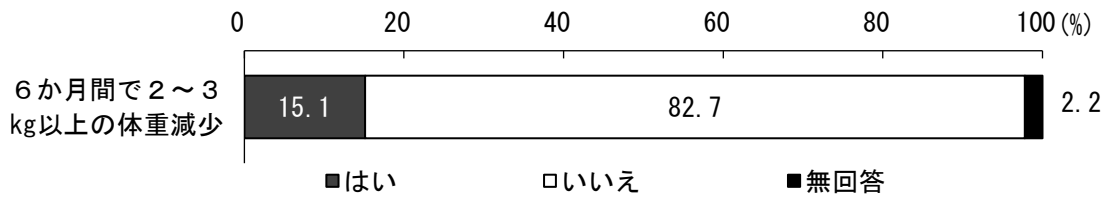
n=958

身長と体重からBMI値^{*}を計算すると、「やせ」の状態であるBMI=18.5未満の人は9.3%となっています。また、「肥満」の状態であるBMI=25以上の人は21.4%となっています。



^{*}BMI (Body Mass Index) は、体重 kg / (身長 × 身長) m で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では18.5未満をやせすぎ、25.0以上を肥満としています。

「6か月間で2～3kg以上の体重減少があった」で「はい」は15.1%となっています。

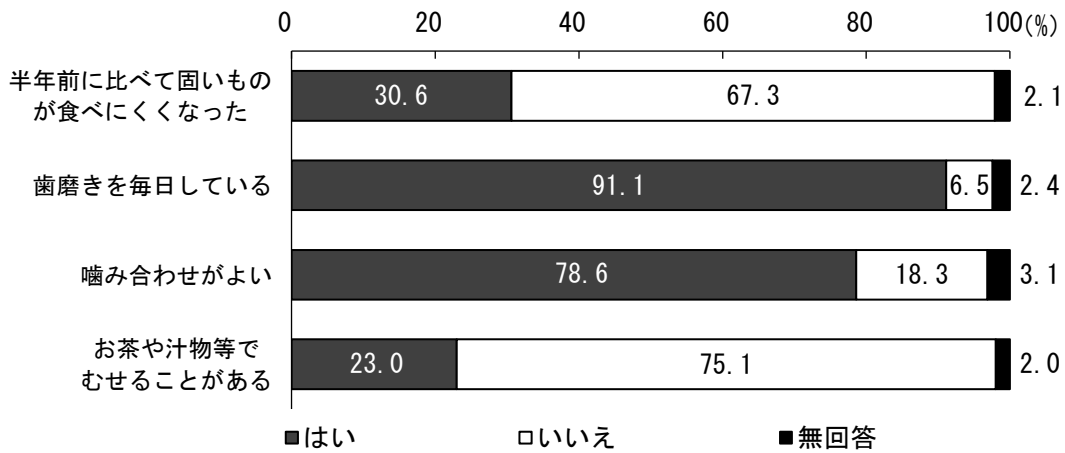


4-2 口腔について

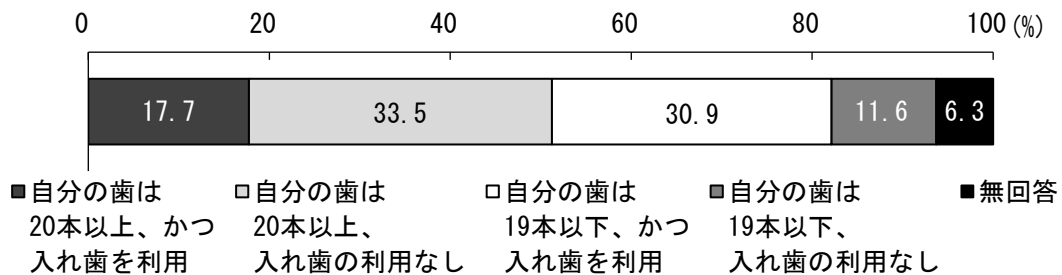
- 問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)
 (3) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)
 (5) 噛み合わせはよいですか。(○は1つ)
 (8) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)
 (4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

n=958

口腔機能について、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が30.6%、「お茶や汁物等でむせることがある」は23.0%となっています。



歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.5%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が30.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.7%となっています。



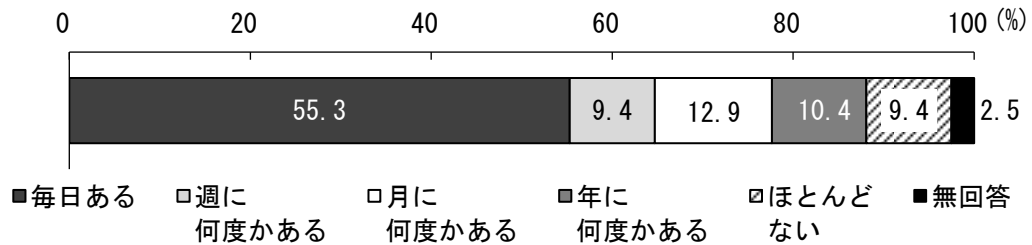
4-3 食事の状況

問3 (7) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

n=958

誰かと食事をする機会は、「毎日ある」が55.3%を占めており、「ほとんどない」は9.4%となっています。

前回調査と比べると、「毎日ある」は概ね同等ですが、「ほとんどない」が増加しています。



単位：%

	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
今回調査 (R4)	958	55.3	9.4	12.9	10.4	9.4	2.5
前回調査 (R1)	978	55.9	7.1	16.5	8.6	5.5	6.4

5 毎日の生活について

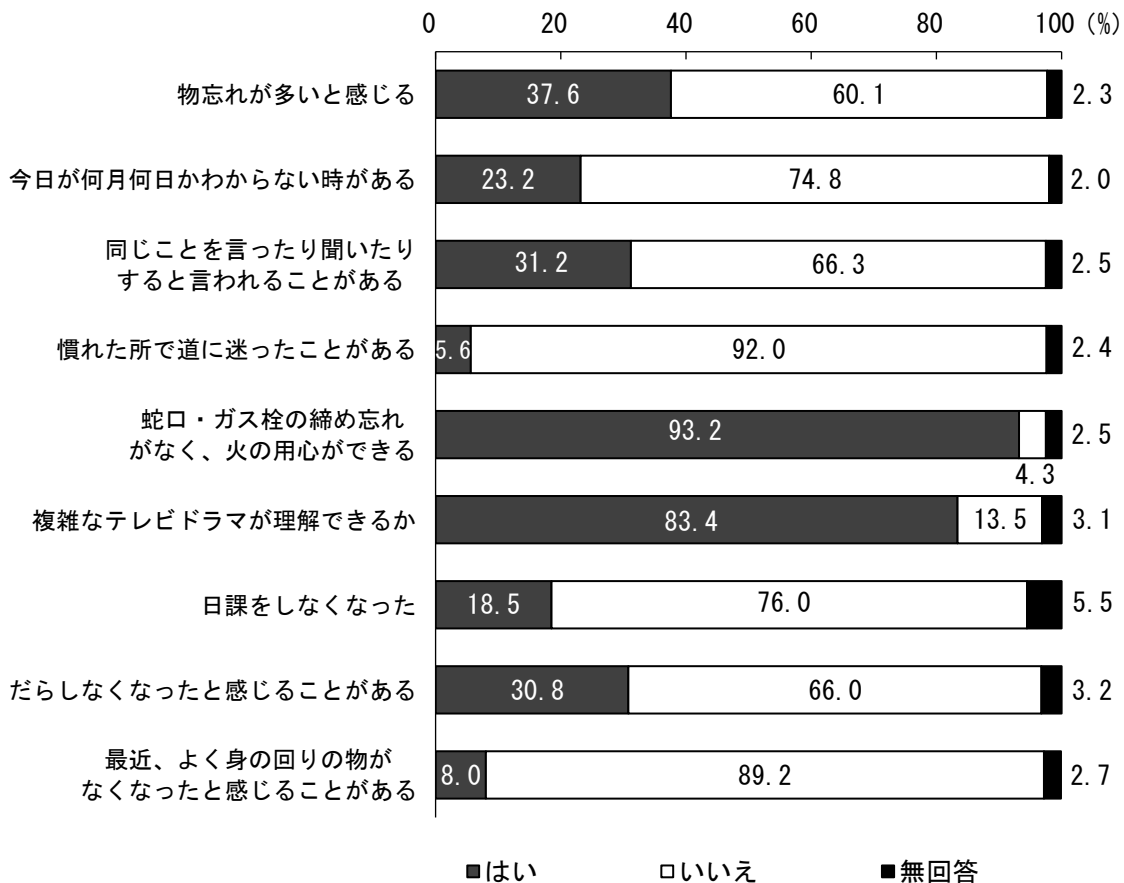
5-1 物忘れ等について

問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)
- (2) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)
- (3) 同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがありますか。(○は1つ)
- (5) 慣れた所で道に迷ったことがありますか。(○は1つ)
- (8) 蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか。(○は1つ)
- (12) 複雑なテレビドラマが理解できますか。(○は1つ)
- (17) 日課をしなくなりましたか。(○は1つ)
- (18) だらしなくなったりと感じることがありますか。(○は1つ)
- (19) 最近、よく身の回りの物がなくなったりと感じることがありますか。(○は1つ)

n=958

物忘れ等の状況について、「物忘れが多いと感じる」(37.6%)が最も高く、次いで「同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがある」(31.2%)、「だらしなくなったりと感じることがある」(30.8%)などとなっています。



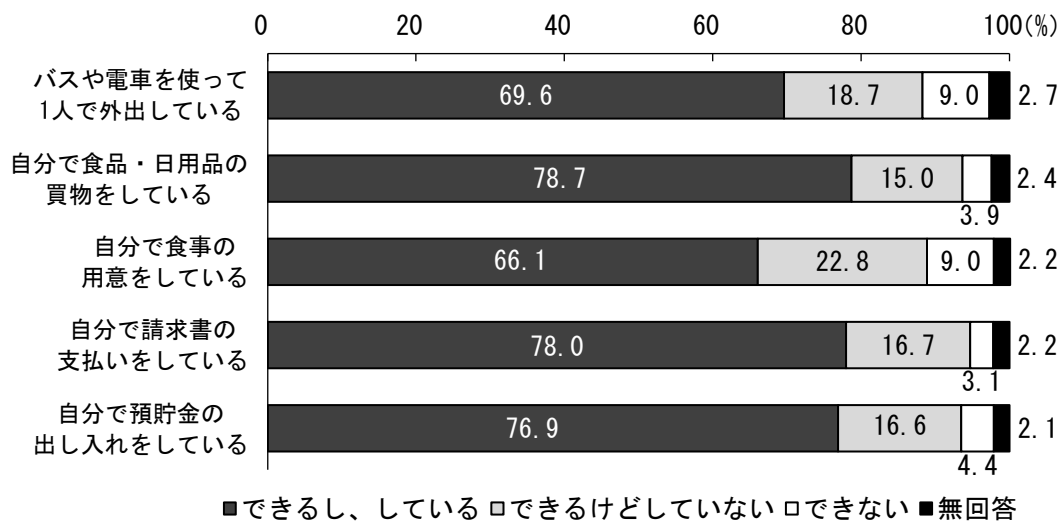
5-2 毎日の生活について

問4 毎日の生活について

- (4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）
- (6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（○は1つ）
- (7) 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）
- (9) 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）
- (10) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

n=958

毎日の生活の状況について、『していない』（「できない」「できるけどしていない」の計）は、「自分で食事の用意をしている」（31.8%）が最も高く、次いで「バスや電車を使って1人で外出している」（27.7%）などとなっています。



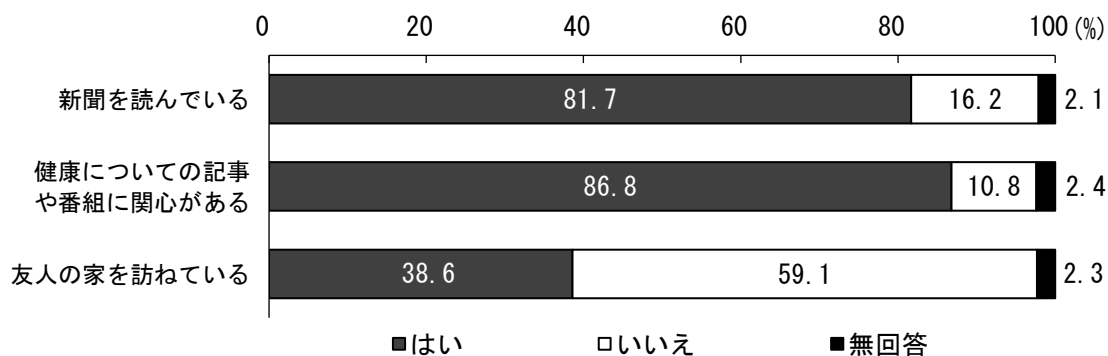
5-3 社会参加について

問4 毎日の生活について

- (11) 新聞を読んでいますか。(○は1つ)
 (13) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)
 (14) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

n=958

社会参加について、「いいえ」は、「友人の家を訪ねている」で59.1%、「新聞を読んでいる」で16.2%、「健康についての記事や番組に関心がある」で10.8%となっています。



5-4 趣味・生きがいについて

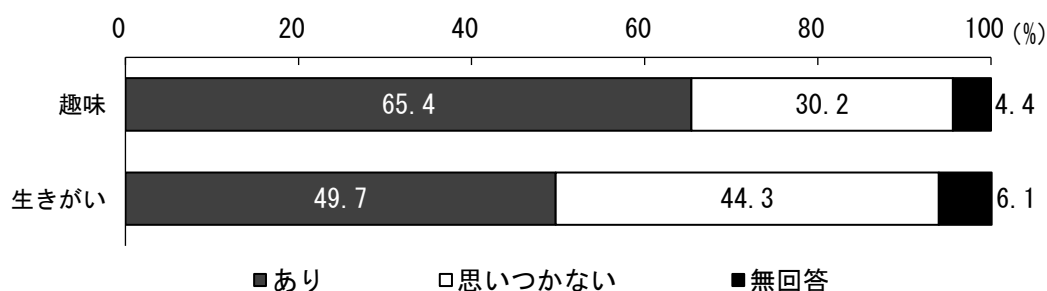
問4 毎日の生活について

- (15) 趣味はありますか。(○は1つ)
 (16) 生きがいはありますか。(○は1つ)

n=958

趣味について、「あり」が65.4%で、「思いつかない」が30.2%となっています。また、生きがいについては、「あり」が49.7%で、「思いつかない」が44.3%となっています。

前回調査と比べると、趣味と生きがいともに「あり」が減少しています。



【趣味】

単位：%

	件数	あり	思いつかない	無回答
今回調査 (R4)	958	65.4	30.2	4.4
前回調査 (R1)	978	70.7	24.6	4.7

【生きがい】

単位：%

	件数	あり	思いつかない	無回答
今回調査 (R4)	958	49.7	44.3	6.1
前回調査 (R1)	978	54.9	39.1	6.0

6 地域での活動について

6-1 地域活動への参加状況

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つ)

n=958

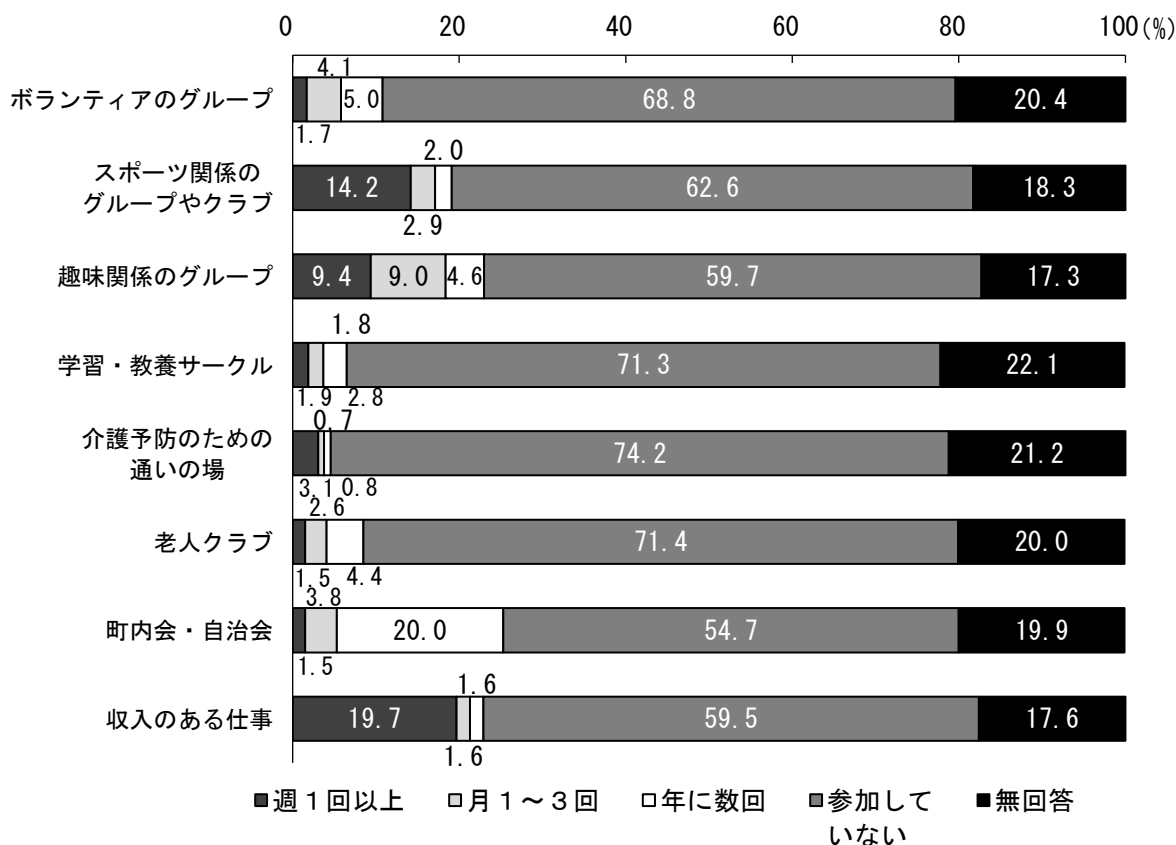
地域活動への参加状況について、『月1回以上参加している』（「週1回以上」～「月1～3回」の計）は、「収入のある仕事」（21.3%）、「趣味関係のグループ」（18.4%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（17.1%）で、その他は1割未満となっています。

性別で見ると、男性では「収入のある仕事」、女性では「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」が高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて各項目の参加割合は減少しますが、「介護予防のための通いの場」は85歳以上で他の年齢よりも高くなっています。

圏域別で見ると、暁・神守では「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「収入のある仕事」などが天王・藤浪よりも多くなっています。

また、前回調査と比べると、どの項目も参加割合が減少しています。



単位：％

		件数	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
全体		958	5.8	17.1	18.4	3.8	3.8	4.2	5.3	21.3
性別	男	447	5.6	13.0	13.0	2.5	2.9	3.8	7.4	27.3
	女	503	6.2	20.9	23.3	5.0	4.4	4.4	3.6	16.1
年齢	65～74歳	427	6.1	19.4	18.0	3.7	2.1	1.6	7.0	33.7
	75～84歳	417	6.2	17.3	20.1	4.1	2.6	6.7	3.8	12.9
	85歳以上	106	3.8	7.5	13.2	2.8	14.2	3.8	4.7	4.7
圏域	暁・神守	479	6.5	20.7	22.5	4.2	3.5	5.4	6.5	23.8
	天王・藤浪	471	5.3	13.6	14.2	3.4	3.8	2.8	4.2	18.9

単位：％

	月1回以上参加している割合	
	前回調査 (R1)	今回調査 (R4)
ボランティアのグループ	7.4	5.8
スポーツ関係のグループやクラブ	21.0	17.1
趣味関係のグループ	24.1	18.4
学習・教養サークル	5.8	3.8
介護予防のための通いの場	2.4	3.8
老人クラブ	6.1	4.2
町内会・自治会	8.7	5.3
収入のある仕事	26.2	21.3

6-2 地域づくり活動への参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

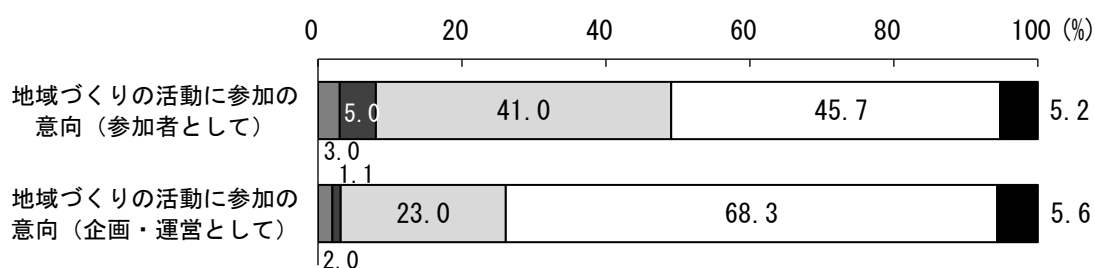
問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

n=958

参加者としての地域づくり活動への参加意向は、『参加意向あり』(「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」の計)が49.0%となっています。

企画・運営(お世話役)としては、『参加意向あり』が26.1%となっています。

前回調査と比べると、「参加したくない」がやや増加しています。



■既に参加している ■是非参加したい □参加してもよい □参加したくない ■無回答

【参加者として】

単位：%

	件数	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
今回調査 (R4)	958	3.0	5.0	41.0	45.7	5.2
前回調査 (R1)	978	4.4	5.5	47.3	38.7	4.1

【企画・運営(お世話役)として】

単位：%

	件数	既に参加している	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
今回調査 (R4)	958	2.0	1.1	23.0	68.3	5.6
前回調査 (R1)	978	3.1	1.5	26.2	64.3	4.9

7 たすけあいについて

7-1 まわりの人とのたすけあいの状況

問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(〇はいくつでも)

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。(〇はいくつでも)

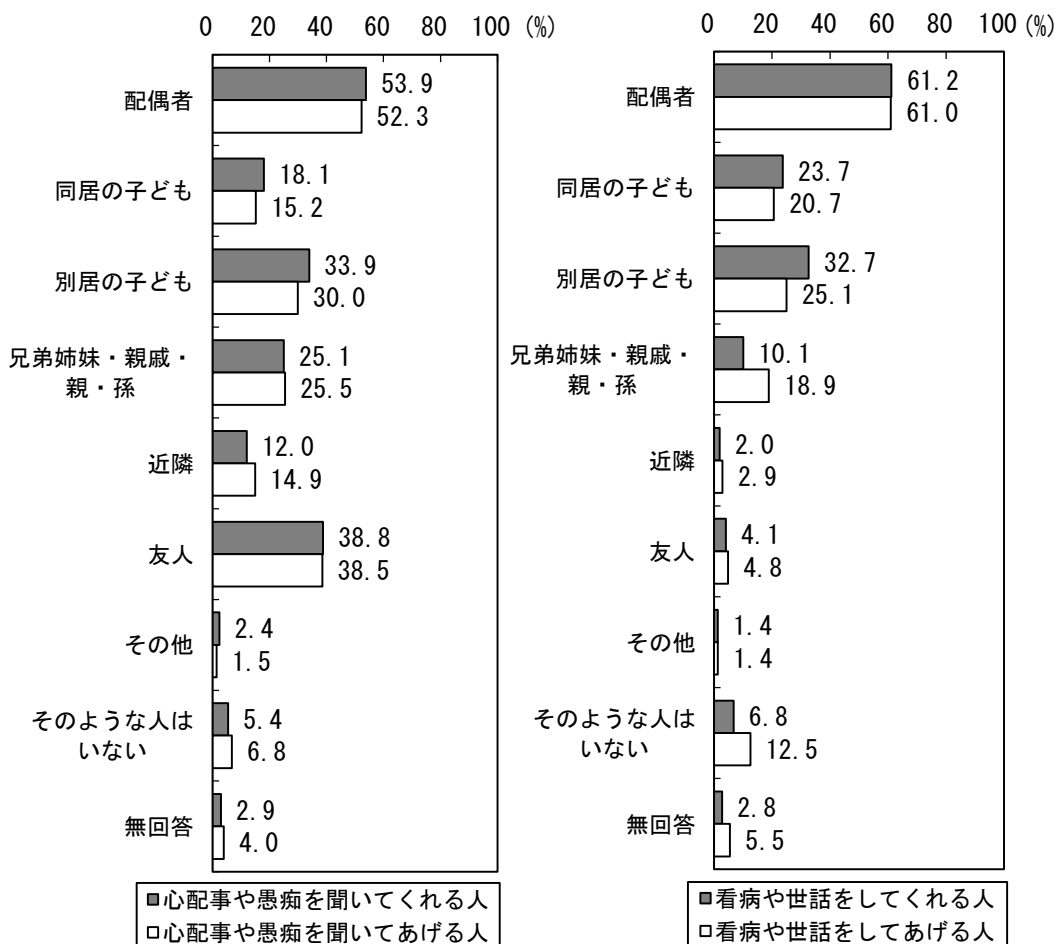
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(〇はいくつでも)

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。(〇はいくつでも)

n=958

まわりの人との「たすけあい」の状況についてみると、「心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」は、「配偶者」(53.9%)が最も高く、次いで「友人」(38.8%)が高くなっています。「心配事や愚痴を聞いてあげる人」についても「配偶者」(52.3%)が最も高く、次いで「友人」(38.5%)が高くなっています。

「病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」(61.2%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(32.7%)が高くなっています。「看病や世話をしてあげる人」についても「配偶者」(61.0%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(25.1%)が高くなっています。



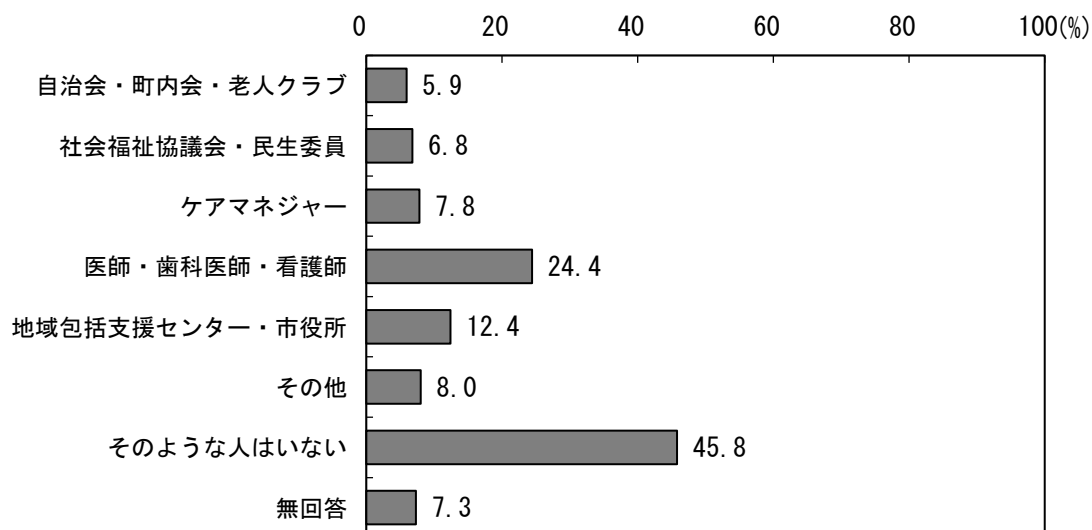
7-2 家族や友人以外の相談相手

問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

n=958

家族や友人以外の相談相手は、「そのような人はいない」が45.8%で最も高く、具体的な項目では「医師・歯科医師・看護師」(24.4%)、「地域包括支援センター・市役所」(12.4%)が高くなっています。

年齢別で見ると、85歳以上では「ケアマネジャー」「医師・歯科医師・看護師」が他の年齢よりも高くなっています。



単位：%

		件数	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		958	5.9	6.8	7.8	24.4	12.4	8.0	45.8	7.3
性別	男	447	7.2	5.8	5.8	22.8	10.5	8.3	50.6	5.8
	女	503	5.0	7.6	9.3	26.0	14.1	8.0	41.2	8.7
年齢	65~74歳	427	3.5	4.2	4.4	22.2	12.4	9.1	51.8	5.6
	75~84歳	417	8.9	9.1	6.7	25.9	12.9	7.7	41.7	8.9
	85歳以上	106	4.7	7.5	24.5	28.3	10.4	5.7	35.8	8.5

7-3 友人関係について

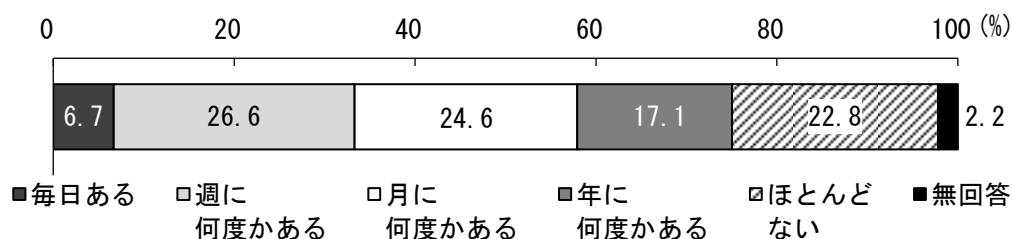
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

n=958

友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(26.6%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(24.6%)、「年に何度かある」(17.1%)が高くなっています。『月1回未満』(「年に何度かある」「ほとんどない」の計)は39.9%となっています。

性別で見ると、女性では「週に何度かある」「月に何度かある」が男性よりも高くなっています。

年齢別で見ると、85歳以上では「ほとんどない」が他の年齢よりも高くなっています。前回調査と比べると、友人・知人と会う頻度は全体的に減少しています。



単位：%

		件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		958	6.7	26.6	24.6	17.1	22.8	2.2
性別	男	447	7.6	21.5	21.3	20.8	26.8	2.0
	女	503	6.0	31.4	27.6	13.5	19.1	2.4
年齢	65～74歳	427	5.9	27.6	26.0	18.3	20.4	1.9
	75～84歳	417	8.4	27.1	23.7	16.5	21.6	2.6
	85歳以上	106	3.8	21.7	22.6	13.2	36.8	1.9

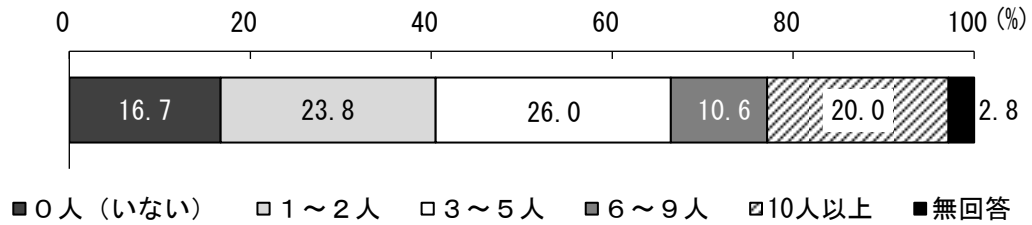
単位：%

		件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
今回調査 (R4)		958	6.7	26.6	24.6	17.1	22.8	2.2
前回調査 (R1)		978	8.6	28.2	29.8	16.1	13.9	3.5

問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

n=958

最近1か月間で会った友人・知人の人数は、「3～5人」(26.0%)が最も高く、次いで「1～2人」(23.8%)、「10人以上」(20.0%)となっています。
 前回調査と比べると、「0人(いない)」「1～2人」が増加しています。



単位：%

	件数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
今回調査 (R4)	958	16.7	23.8	26.0	10.6	20.0	2.8
前回調査 (R1)	978	9.6	19.8	27.6	9.5	29.7	3.8

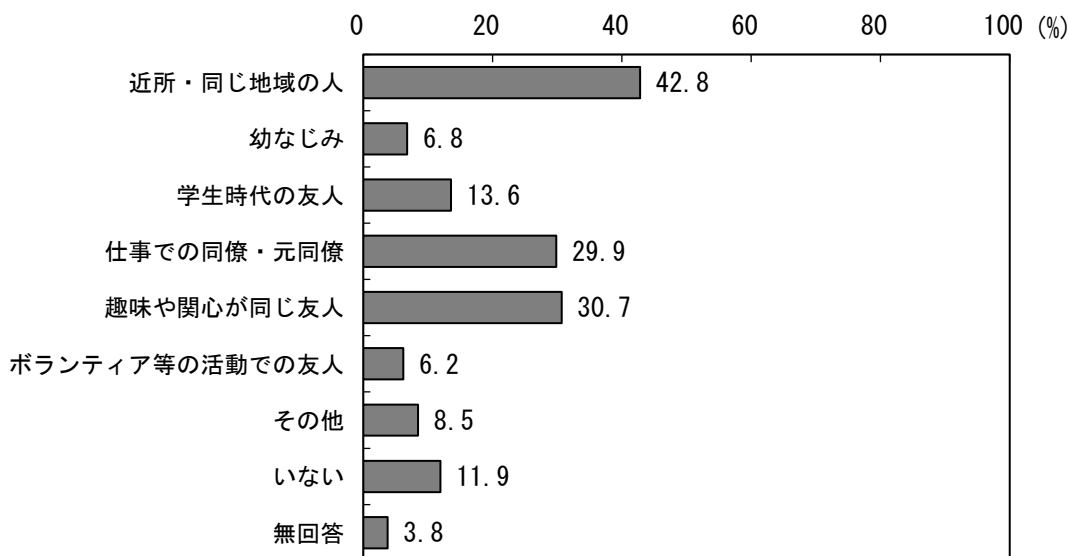
問6 (8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

n=958

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(42.8%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(30.7%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.9%)となっています。

性別でみると、女性では「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」が男性よりも高くなっています。また男性では「仕事での同僚・元同僚」が女性よりも高くなっています。

年齢が上がるにつれて減少していく傾向がありますが、「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」は85歳以上になっても比較的維持されています。



単位：%

		件数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		958	42.8	6.8	13.6	29.9	30.7	6.2	8.5	11.9	3.8
性別	男	447	30.2	6.3	14.8	34.7	27.7	4.7	7.4	15.4	3.1
	女	503	54.5	7.4	12.1	25.8	33.4	7.6	9.3	8.5	4.4
年齢	65～74歳	427	37.5	8.0	17.3	40.5	30.4	4.7	8.4	11.0	1.9
	75～84歳	417	48.2	6.5	11.8	24.2	31.2	8.4	7.4	11.5	5.5
	85歳以上	106	45.3	3.8	3.8	10.4	30.2	3.8	12.3	16.0	4.7

7-4 ボランティア活動への参加について

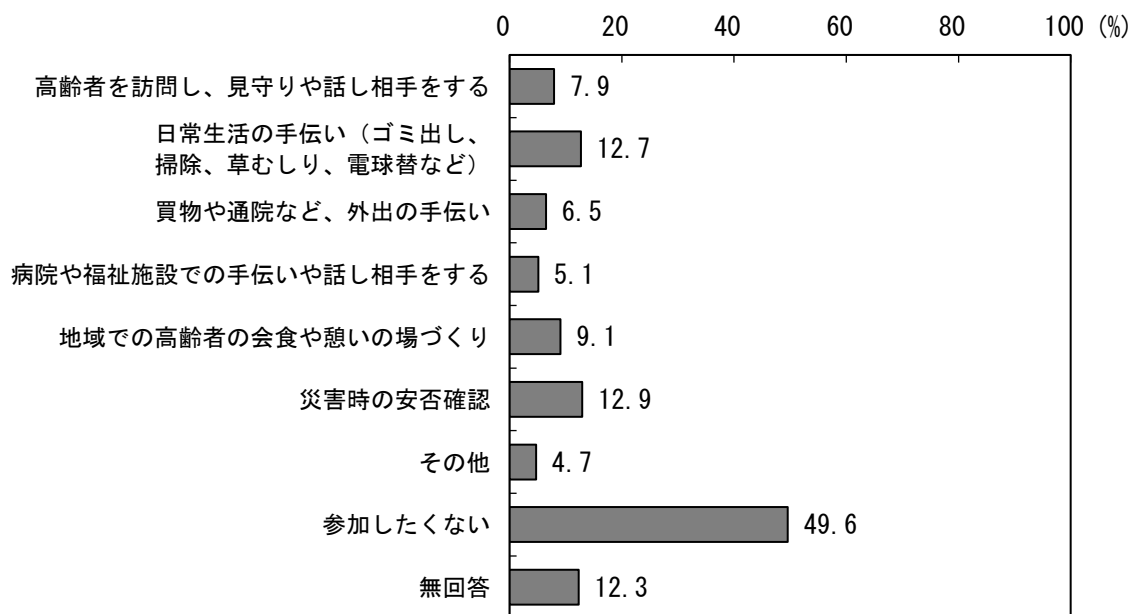
問6(9) 今後、高齢者の支援や援助を目的とする、以下のようなボランティア活動・支援活動で参加してみたいものはありますか。(〇はいくつでも)

n=958

今後参加してみたい活動は、「参加したくない」(49.6%)が最も高く、具体的な項目としては「災害時の安否確認」(12.9%)、「日常生活の手伝い(ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など)」(12.7%)などが高くなっています。

性別でみると、男性では「災害時の安否確認」「日常生活の手伝い(ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など)」が女性よりも高くなっています。

地域づくりの参加意向別でみると、『参加意向あり』(「既に参加している」「是非参加したい」「参加してもよい」の計)では、「災害時の安否確認」「地域での高齢者の会食や憩いの場づくり」「日常生活の手伝い(ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など)」「高齢者を訪問し、見守りや話し相手をする」の順で高くなっています。



単位：%

	件数	話し相手をする	日常生活の手伝い	買物や通院など、外出の手伝い	病院や福祉施設での手伝いや	地域での高齢者の会食や憩いの場づくり	災害時の安否確認	その他	参加したくない	無回答	
		高齢者を訪問し、見守りや	掃除、草むしり、電球替など)		話し相手をする	の会食や					
全体	958	7.9	12.7	6.5	5.1	9.1	12.9	4.7	49.6	12.3	
性別	男	5.6	15.2	6.9	2.9	6.7	16.1	3.4	52.3	9.8	
	女	10.1	10.3	6.0	7.0	11.3	10.1	6.0	46.9	14.7	
地域づくり(参加意向)	既に参加している	5.3	10.5	5.3	10.5	15.8	15.8	15.8	36.8	21.1	
	是非参加したい	45.5	27.3	9.1	36.4	45.5	18.2	0.0	0.0	9.1	
	参加してもよい	18.2	22.7	16.4	12.3	21.8	24.1	5.9	18.6	10.5	
	小計(参加意向あり)	250	18.4	22.0	15.2	13.2	22.4	23.2	6.4	19.2	11.2
	参加したくない	654	4.0	9.2	2.9	1.7	4.0	9.5	4.3	63.5	10.1

8 健康について

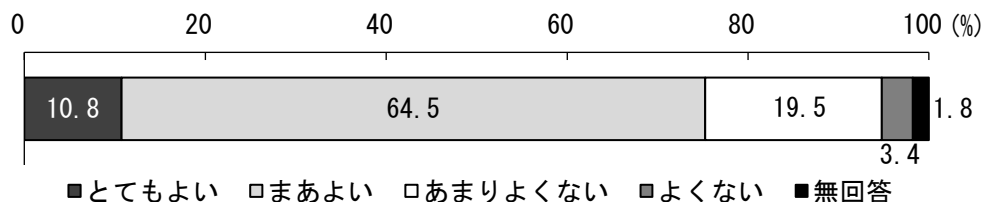
8-1 自身の健康状態

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

n=958

現在の自身の健康状態は、「まあよい」(64.5%)が最も高く、「とてもよい」(10.8%)とあわせて『よい』は75.3%を占めています。

前回調査と比べると、概ね同様となっています。



単位：%

	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
今回調査 (R4)	958	10.8	64.5	19.5	3.4	1.8
前回調査 (R1)	978	11.6	65.6	17.1	2.6	3.2

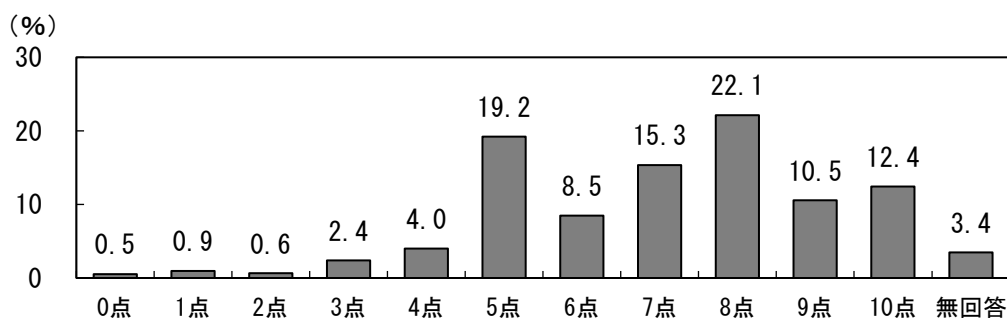
8-2 現在の幸福度

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字に○をつけてください

n=958

現在の幸福度を10点満点でたずねたところ、『7点以上』(「7~8点」「9~10点」の計)が60.5%で、前回調査と概ね同様となっています。

前回調査と比べると、概ね同様となっています。



単位：%

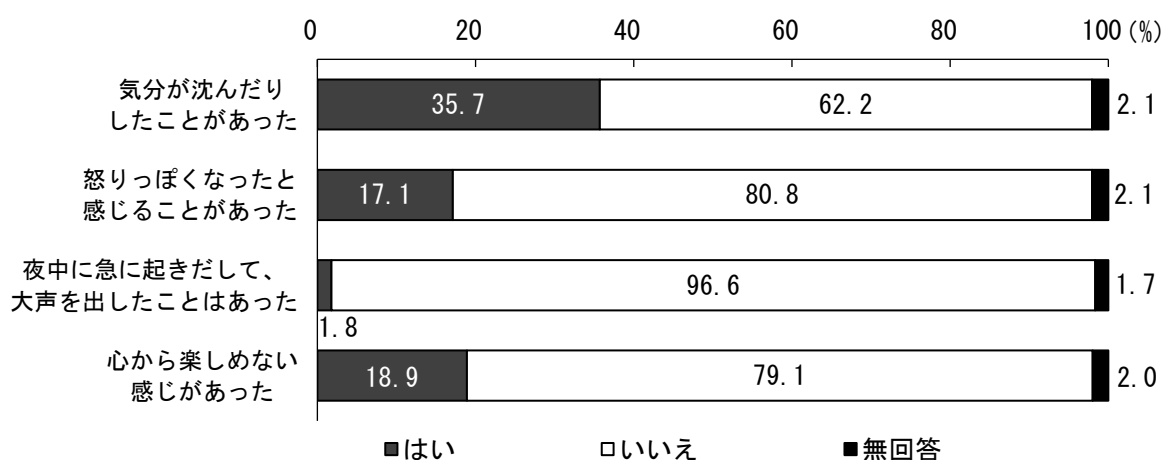
	件数	0点	5点	7点	9点	無回答
今回調査 (R4)	958	0.5	19.2	15.3	22.1	3.4
前回調査 (R1)	978	0.6	17.1	17.0	24.5	4.2

8-3 心の状態について

問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)
 (4) 反対に、この1か月間、怒りっぽくなったと感じることはありましたか。(○は1つ)
 (5) 夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか。(○は1つ)
 (6) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

n=958

心の状態について、「この1か月間、気分が沈んだりしたことがあった」は35.7%、「怒りっぽくなったと感じることがあった」は17.1%、「夜中に急に起きだして大声を出したことがあった」は1.8%、「心から楽しめない感じがあった」は18.9%となっています。

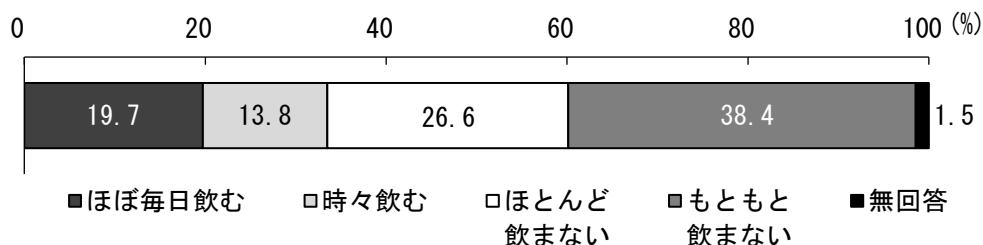


8-4 飲酒・喫煙の状況

問7 (7) お酒は飲みますか。(○は1つ)

n=958

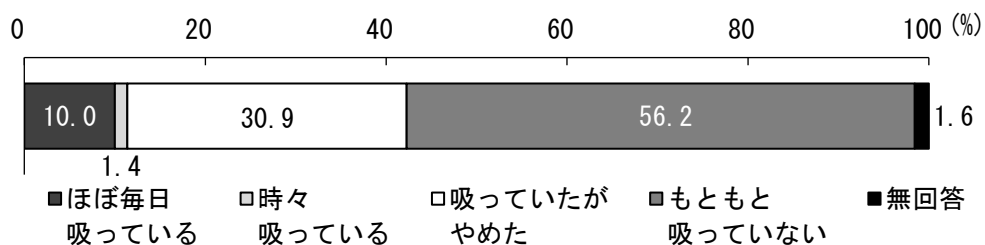
飲酒の状況は、『飲む』（「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の計）人は33.5%、『飲まない』（「もともと飲まない」「ほとんど飲まない」の計）人は65.0%となっています。



問7 (8) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

n=958

喫煙の状況は、『吸っている』(「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計)人は11.4%、
『吸っていない』(「もともと吸っていない」「吸っていたがやめた」の計)人は87.1%となっ
ています。

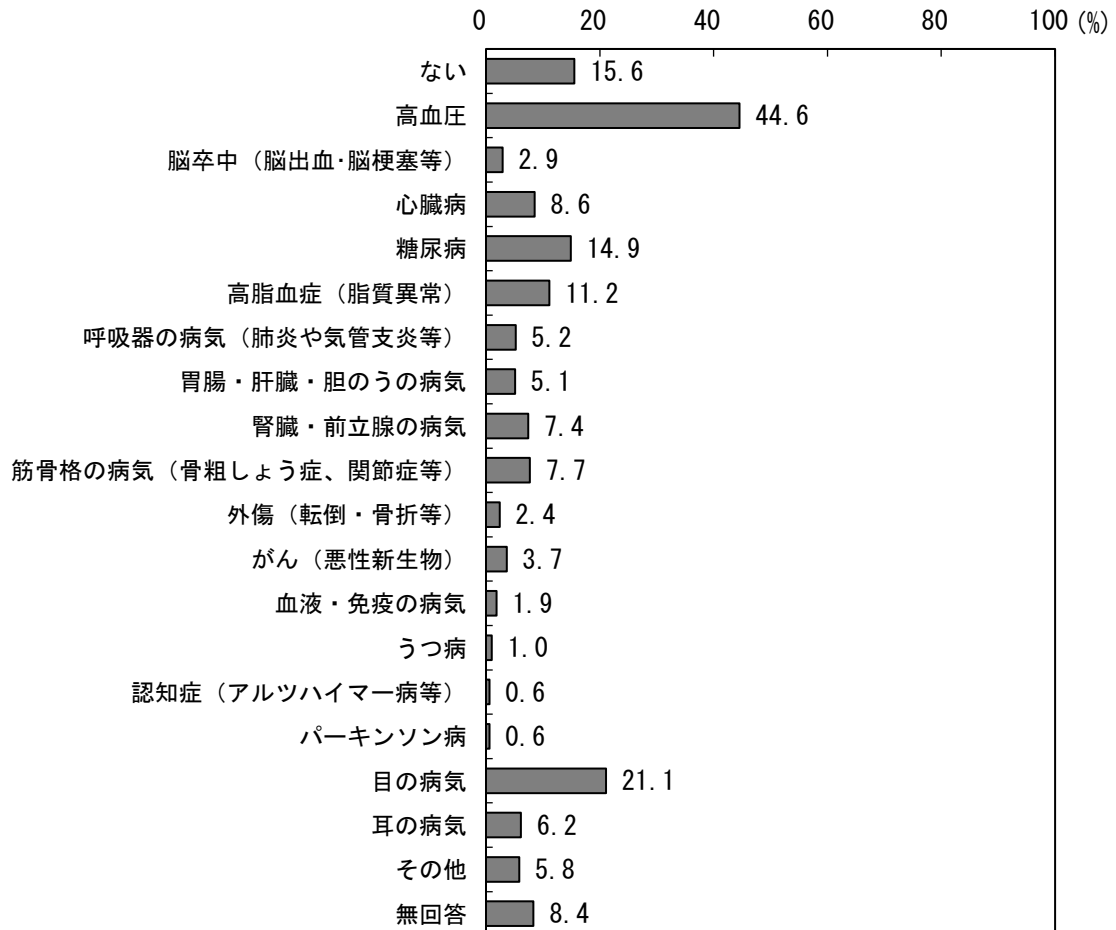


8-5 現在治療中、または後遺症のある病気

問7(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

n=958

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」(44.6%)が最も高く、次いで「目の病気」(21.1%)、「糖尿病」(14.9%)、「高脂血症(脂質異常)」(11.2%)、「心臓病」(8.6%)となっています。また、「ない」は15.6%となっています。



8-6 市が開催している健康づくり・介護予防教室等について

問7 (10) 津島市では、高齢者の健康づくりや介護予防のための教室や講座を開催しています。以下のような教室を知っていますか。また、今後、参加したいと思いますか。
(○は1つずつ)

n=958

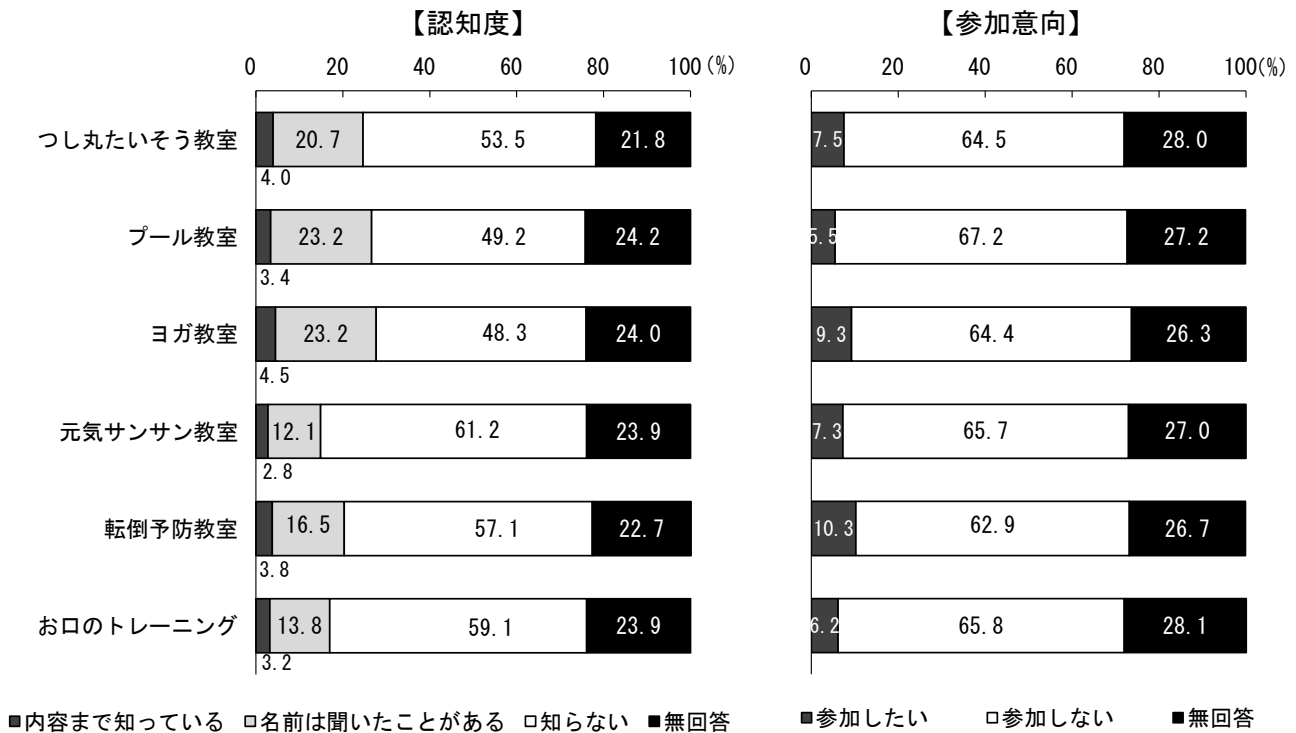
市が開催している高齢者の健康づくりや介護予防のための教室や講座について、「内容まで知っている」はいずれの教室・講座においても1割未満となっています。『知っている』（「内容まで知っている」「名前は聞いたことがある」の計）の割合は、「ヨガ教室」（27.7%）、「プール教室」（26.6%）、「つし丸たいそう教室」（24.7%）で高くなっています。

教室や講座への参加意向については、「参加したい」は「転倒予防教室」（10.3%）で最も高く、次いで「ヨガ教室」（9.3%）、「つし丸たいそう教室」（7.5%）で高くなっています。

前回調査と比べると、認知度は多くの項目でやや高くなっています。参加意向は、「元気サンサン教室」でやや増加していますが、他の項目ではやや減少しています。

性別でみると、認知度と参加意向ともに全ての項目で女性の方が高くなっています。

年齢別でみると、65～74歳では「ヨガ教室」の参加意向が他の年齢よりも高くなっています。



【認知度】

単位：%

		件数	つし丸たいそう教室	プール教室	ヨガ教室	元気サンサン教室	転倒予防教室	お口のトレーニング
全体		958	24.6	26.6	27.7	14.9	20.3	17.0
性別	男	447	16.3	19.7	19.7	9.8	12.5	11.2
	女	503	31.8	33.0	34.6	19.1	27.0	22.1
年齢	65～74歳	427	24.8	27.2	28.6	14.1	17.8	14.5
	75～84歳	417	26.1	26.4	28.3	15.6	22.1	19.4
	85歳以上	106	17.0	26.4	20.8	14.2	22.6	17.0
認定	認定なし	884	24.9	26.9	28.4	14.7	20.1	17.0
	要支援・事業対象者	66	19.7	24.2	16.7	15.2	21.2	16.7

【参加意向】

単位：%

		件数	つし丸たいそう教室	プール教室	ヨガ教室	元気サンサン教室	転倒予防教室	お口のトレーニング
全体		958	7.5	5.5	9.3	7.3	10.3	6.2
性別	男	447	4.9	5.1	6.0	4.3	5.1	2.7
	女	503	9.7	6.0	12.3	10.1	15.1	9.3
年齢	65～74歳	427	9.1	7.3	13.8	8.7	11.0	8.2
	75～84歳	417	7.0	5.0	6.5	6.7	9.6	4.6
	85歳以上	106	2.8	0.9	2.8	4.7	11.3	4.7
認定	認定なし	884	7.9	5.8	10.0	7.8	10.7	6.4
	要支援・事業対象者	66	1.5	3.0	1.5	1.5	6.1	3.0

【認知度】

【参加意向】

単位：%

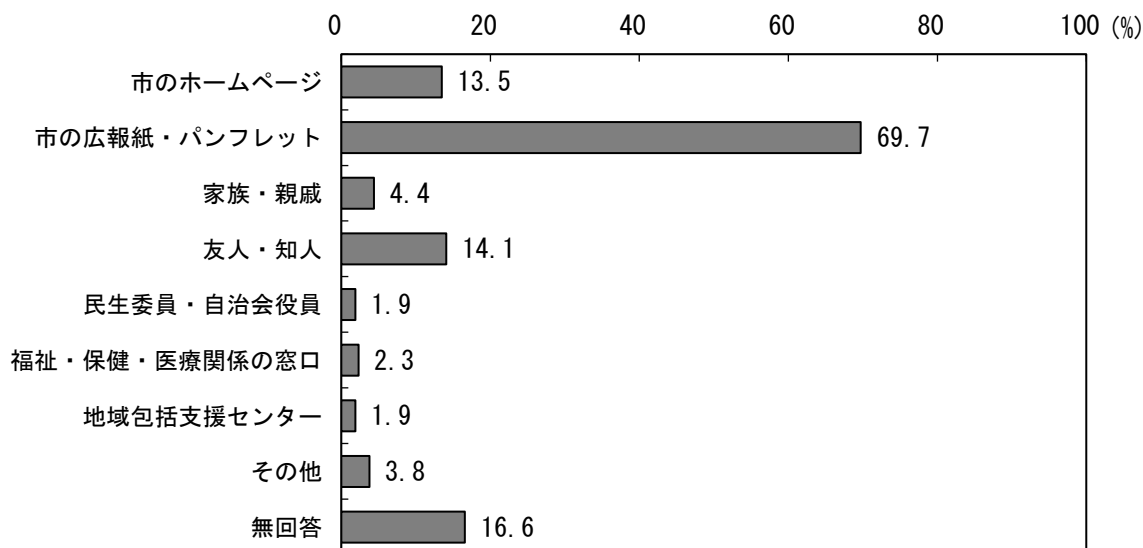
	知っている割合		参加したい割合	
	前回調査 (R1)	今回調査 (R4)	前回調査 (R1)	今回調査 (R4)
つし丸たいそう教室	21.9	24.6	10.0	7.5
プール教室	28.4	26.6	6.4	5.5
ヨガ教室	26.1	27.7	10.3	9.3
元気サンサン教室	11.8	14.9	6.5	7.3
転倒予防教室	17.5	20.3	12.3	10.3
お口のトレーニング	11.6	17.0	6.9	6.2

問7 (11) あなたは、津島市で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集していますか。(〇はいくつでも)

n=958

市で行っている各種教室や講座の情報の入手先は、「市の広報紙・パンフレット」(69.7%)が最も高く、次いで「友人・知人」(14.1%)、「市のホームページ」(13.5%)、「家族・親戚」(4.4%)となっています。

年齢別、世帯別でも概ね同様の結果となっています。



単位：%

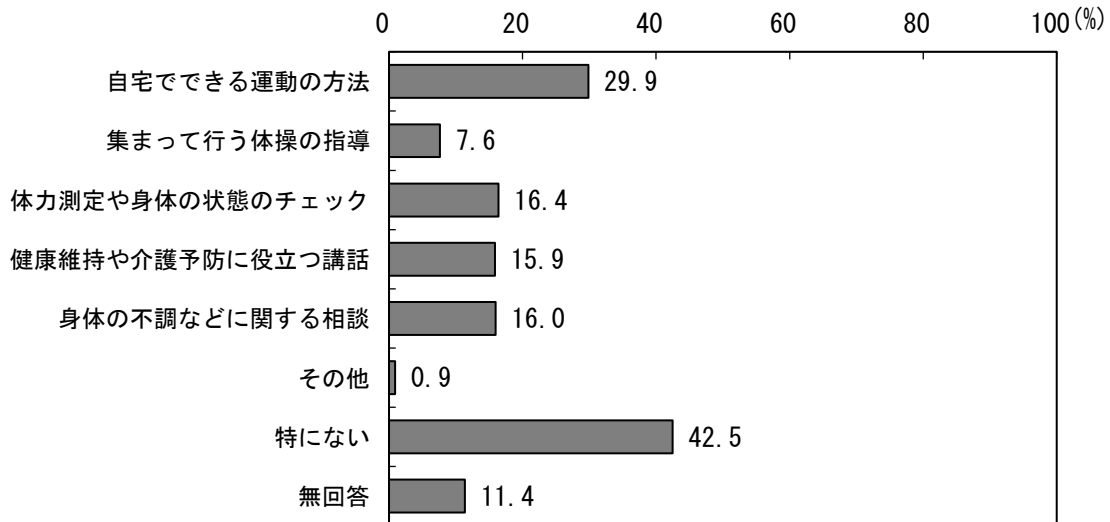
		件数	市のホームページ	市の広報紙・パンフレット	家族・親戚	友人・知人	民生委員・自治会役員	福祉・保健・医療関係の窓口	地域包括支援センター	その他	無回答
全体		958	13.5	69.7	4.4	14.1	1.9	2.3	1.9	3.8	16.6
年齢	65～74歳	427	12.2	75.9	3.5	11.7	1.6	1.9	0.0	4.7	12.9
	75～84歳	417	13.9	65.0	5.0	17.3	2.4	2.9	2.4	3.6	19.9
	85歳以上	106	17.0	65.1	4.7	11.3	0.9	1.9	6.6	0.9	18.9
世帯	1人暮らし	166	15.1	69.3	3.0	15.7	3.0	2.4	4.2	2.4	16.9
	高齢者のみ	379	13.5	71.0	4.2	13.7	1.3	2.4	1.6	3.2	15.3
	その他	242	12.0	66.9	6.2	14.9	1.2	1.7	0.4	2.9	18.2

問7 (12) リハビリ専門職からどのような助言・支援を受けたいですか。(〇はいくつでも)

n=958

リハビリ専門職から受けたい助言・支援は、「特にない」(42.5%)が最も高く、具体的な項目としては「自宅でできる運動の方法」(29.9%)、「体力測定や身体の状態のチェック」(16.4%)、「身体の不調などに関する相談」(16.0%)、「健康維持や介護予防に役立つ講話」(15.9%)となっています。

また、認定別でみると、要支援・事業対象者では「集まって行う体操の指導」「身体の不調などに関する相談」などが認定なしの方よりも高くなっています。



単位：%

	件数	自宅でできる運動の方法	集まって行う体操の指導	体力測定や身体の状態のチェック	健康維持や介護予防に役立つ講話	身体の不調などに関する相談	その他	特にない	無回答	
全体	958	29.9	7.6	16.4	15.9	16.0	0.9	42.5	11.4	
年齢	65～74歳	427	30.7	5.6	17.1	16.4	15.7	1.2	44.3	9.1
	75～84歳	417	29.5	8.6	15.3	15.1	16.8	1.0	42.4	11.8
	85歳以上	106	29.2	10.4	18.9	16.0	13.2	0.0	35.8	18.9
認定	認定なし	884	29.9	6.9	16.3	15.5	15.3	0.9	43.9	11.1
	要支援・事業対象者	66	31.8	15.2	19.7	19.7	24.2	1.5	24.2	15.2

9 地域の社会資源について

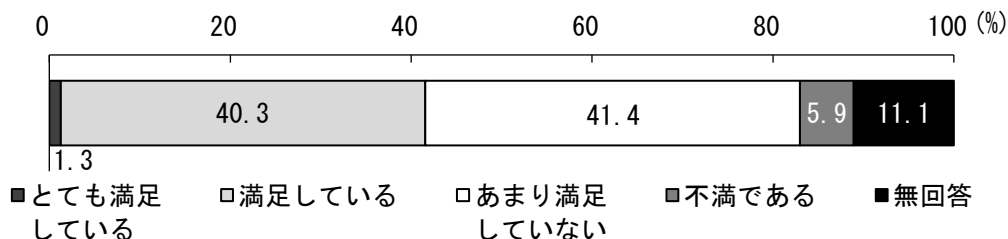
9-1 市の住みやすさに対する満足度

問8(1) あなたは、「住みやすいまち」として、津島市に満足されていますか。(〇は1つ)

n=958

「住みやすいまち」としての津島市に対する評価は、『満足している』(「とても満足している」「満足している」の計)の割合は41.6%となっています。一方、『満足していない』(「あまり満足していない」「不満である」の計)の割合は47.3%となっています。

前回調査と比べると、『満足している』は5.2ポイント増加しています。



単位：%

	件数	とても満足している	満足している	あまり満足していない	不満である	無回答
今回調査 (R4)	958	1.3	40.3	41.4	5.9	11.1
前回調査 (R1)	978	2.0	35.1	46.6	8.3	8.0

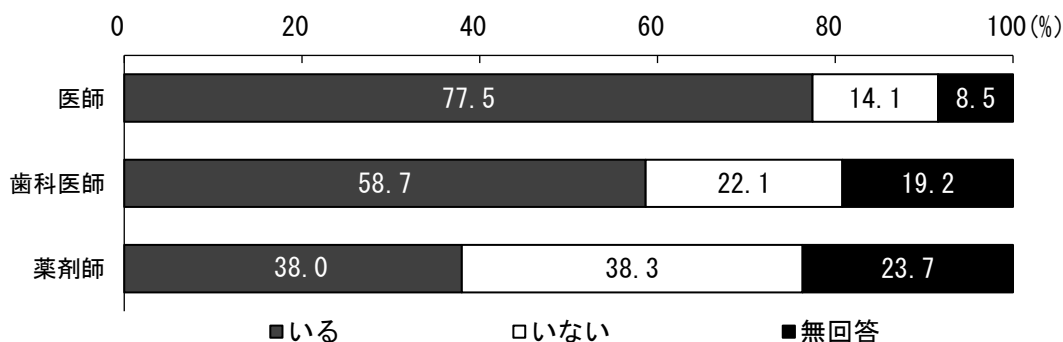
9-2 かかりつけ医の有無

問8(2) あなたには、いつでも気軽に相談できるかかりつけ医などがいますか。(〇は1つずつ)

n=958

かかりつけ医などについては、「いる」は「医師」で77.5%、「歯科医師」で58.7%、「薬剤師」で38.0%となっています。

前回調査と比べると、特に「歯科医師」、「薬剤師」が減少しています。



単位：%

	「いる」の割合	
	前回調査 (R1)	今回調査 (R4)
医師	79.1	77.5
歯科医師	67.9	58.7
薬剤師	51.1	38.0

9-3 市の地域包括支援センターの理解度

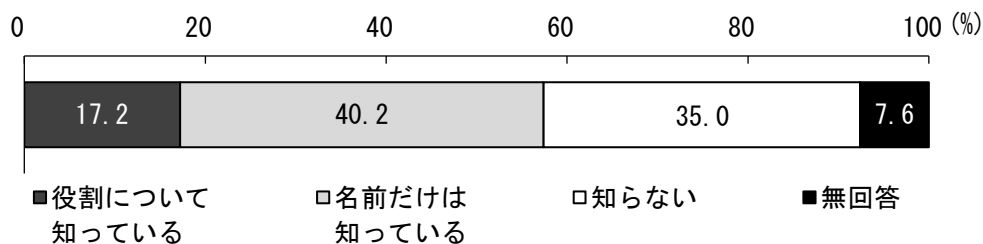
問8(3) あなたは、高齢者への総合的な生活支援の相談窓口である地域包括支援センターが、津島市にあることを知っていますか。(○は1つ)

n=958

地域包括支援センターについて、「役割について知っている」は17.2%、「名前だけは知っている」は40.2%となっています。また、「知らない」は35.0%となっています。

年齢別でみると、85歳以上では「名前だけは知っている」が他の年齢よりも高くなっています。

前回調査と比べると、概ね同様となっています。



単位：%

		件数	役割について知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		958	17.2	40.2	35.0	7.6
年齢	65～74歳	427	16.2	38.4	38.2	7.3
	75～84歳	417	18.2	39.1	34.8	7.9
	85歳以上	106	17.0	50.9	24.5	7.5
圏域	暁・神守	479	19.4	38.2	35.1	7.3
	天王・藤浪	471	14.9	42.0	35.2	7.9

単位：%

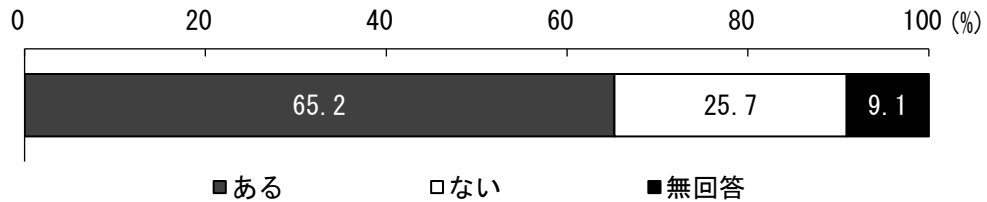
		件数	役割について知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
今回調査 (R4)		958	17.2	40.2	35.0	7.6
前回調査 (R1)		978	17.3	42.6	36.2	3.9

9-4 気軽に外出できる自宅近くの場所の有無

問8 (4) 気軽に外出できる場所はありますか。(○は1つ)

n=958

自宅の近くに気軽に外出できる場所が「ある」人は65.2%となっています。
 年齢別で見ると、85歳以上では「ない」が他の年齢よりも高くなっています。
 認定別で見ると、要支援・事業対象者は「ない」が認定なしの方よりも高くなっています。



単位：%

		件数	ある	ない	無回答
全体		958	65.2	25.7	9.1
年齢	65～74歳	427	71.4	20.1	8.4
	75～84歳	417	63.5	26.6	9.8
	85歳以上	106	48.1	43.4	8.5
圏域	暁・神守	479	63.7	26.7	9.6
	天王・藤浪	471	67.1	24.4	8.5
認定	認定なし	884	67.5	23.5	8.9
	要支援・事業対象者	66	36.4	53.0	10.6

9-5 住民が主体となって運営する場について

問8 (5) 住民が主体となって運営する場について、どのような場であれば参加したいですか。(〇はいくつでも)
 (6) 住民が主体となって運営する場で、どのようなことをしたいですか。(〇はいくつでも)

n=958

住民が主体となって運営する場について、どのような場であれば参加したいかをたずねたところ、「家から通いやすい場所にある」(38.7%)が最も高く、次いで「自分の好きな時間に参加できる」(29.9%)、「実施内容に興味・関心がある」(24.6%)となっています。

また、何をしたいかについては、「健康づくりに関する知識を学ぶ」(22.2%)、「趣味・創作活動を行う」(17.6%)、「参加者どうしが交流(会話)をする」(15.1%)などが高くなっています。

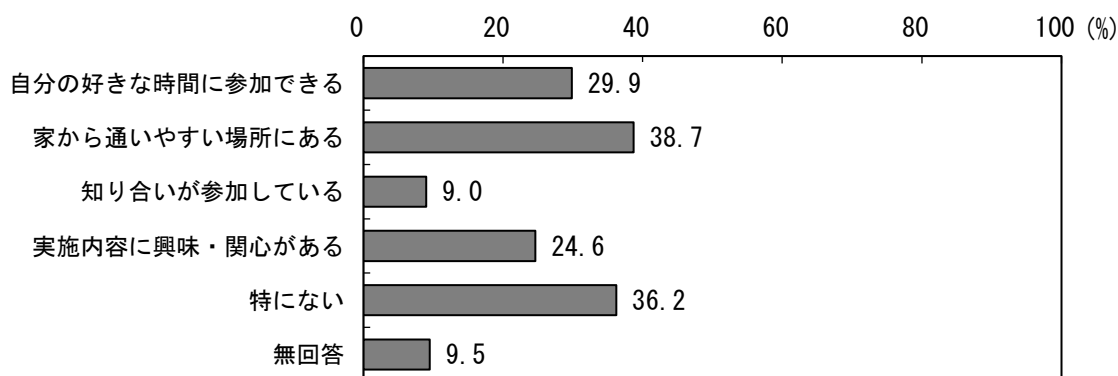
どのような場であれば参加したいかを性別で見ると、女性は「家から通いやすい場所にある」「自分の好きな時間に参加できる」などが男性よりも高くなっています。

また、世帯別で見ると、1人暮らしでは「家から通いやすい場所にある」が他の世帯よりも高くなっています。

どのようなことをしたいかを性別で見ると、女性では「健康づくりに関する知識を学ぶ」「参加者どうしが交流(会話)をする」などが男性よりも高くなっています。

また、世帯別で見ると、1人暮らしでは「困りごとを相談する」が他の世帯よりも高くなっています。

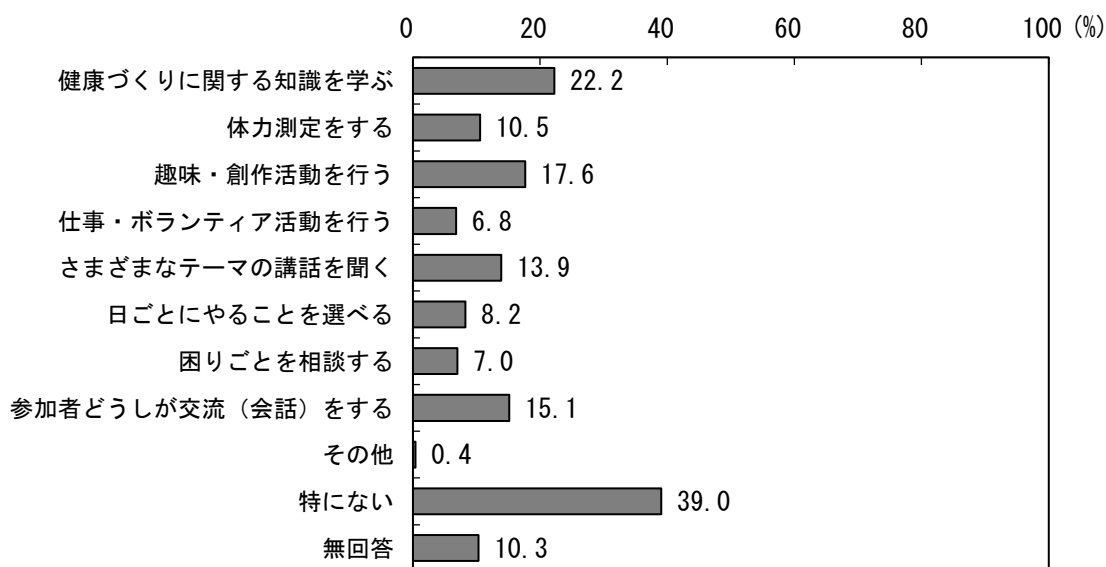
【どのような場であれば参加したいか】



単位：%

		件数	に自 参加 分の で好 きな 時間	場家 所か ら通 い やす い	し知 てり い合 いが 参加	・実 施内 容に 興味	特 に な い	無 回 答
全体		958	29.9	38.7	9.0	24.6	36.2	9.5
性別	男	447	25.7	26.2	7.6	23.7	44.3	10.1
	女	503	33.6	50.1	10.1	25.6	28.8	8.9
世帯	1人暮らし	166	28.3	45.8	10.8	22.3	30.7	9.6
	高齢者のみ	379	30.9	39.3	9.8	27.4	36.1	8.2
	その他	242	30.6	36.8	8.3	20.2	38.4	9.9

【どのようなことをしたいか】



単位：%

		件数	健康づくりに関する知識を学ぶ	体力測定をする	趣味・創作活動を行う	仕事・ボランティア活動を行う	さまざまなテーマの講話を聞く	日ごとにやることを選べる	困りごとを相談する	参加者どうしが交流（会話）をする	その他	特にない	無回答
全体		958	22.2	10.5	17.6	6.8	13.9	8.2	7.0	15.1	0.4	39.0	10.3
性別	男	447	16.6	9.4	15.7	6.5	11.0	6.3	6.0	8.9	0.7	46.5	11.4
	女	503	27.4	11.7	19.5	7.0	16.5	10.1	8.0	20.7	0.2	32.2	9.3
世帯	1人暮らし	166	22.9	9.0	18.1	7.2	16.3	8.4	12.7	18.7	0.0	34.9	10.8
	高齢者のみ	379	24.0	11.1	19.8	8.2	15.3	10.0	6.3	16.9	0.0	38.5	7.9
	その他	242	22.3	13.2	14.9	4.5	12.8	7.0	7.0	11.6	0.8	39.7	12.4

10 今後の介護・高齢者施策について

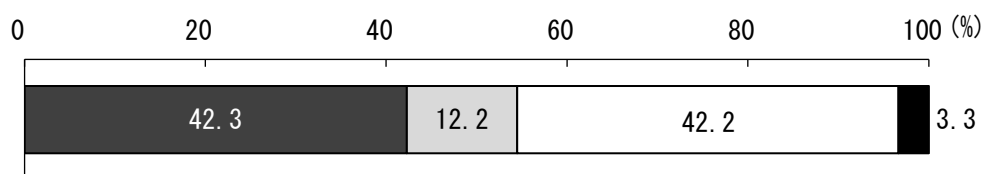
10-1 自身が受けたい介護

問9(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

n=958

自身が受けたい介護は、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が42.3%、「自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所(入居)して生活したい」が12.2%、「今のところ、よくわからない」が42.2%となっています。

前回調査と比べると、「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が増加しています。



- できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい
- 自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所(入居)して生活したい
- 今のところ、よくわからない
- 無回答

単位：%

	件数	できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい	自宅以外の「介護施設」や「高齢者向けの住まい」に入所(入居)して生活したい	今のところ、よくわからない	無回答	
今回調査 (R4)	958	42.3	12.2	42.2	3.3	
前回調査 (R1)	978	36.0	10.6	45.0	8.4	
(今年齢)	65~74歳	427	40.0	12.2	44.7	3.0
	75~84歳	417	42.9	12.7	40.5	3.8
	85歳以上	106	49.1	11.3	36.8	2.8

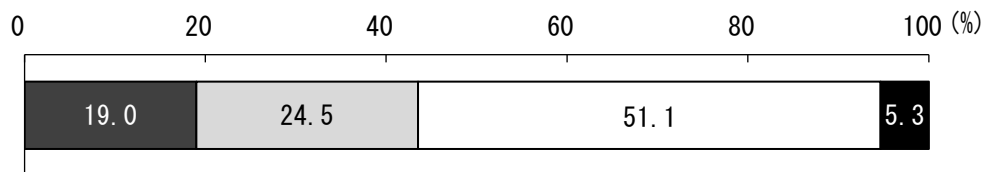
10-2 介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方

問9(2) 介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。(○は1つ)

n=958

介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方をたずねたところ、「どちらとも言えない」(51.1%)が最も高く、次いで「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」(24.5%)、「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい」(19.0%)となっています。

前回調査と比べると、「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が増え、「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい」よりも多くなっています。



- 介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい
- 給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方がよい
- どちらとも言えない
- 無回答

単位：%

	件数	介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスがよい	給付される介護サービスは低い方がよい	どちらとも言えない	無回答
今回調査 (R4)	958	19.0	24.5	51.1	5.3
前回調査 (R1)	978	24.9	19.0	46.9	9.1

10-3 市に望む介護体制の充実

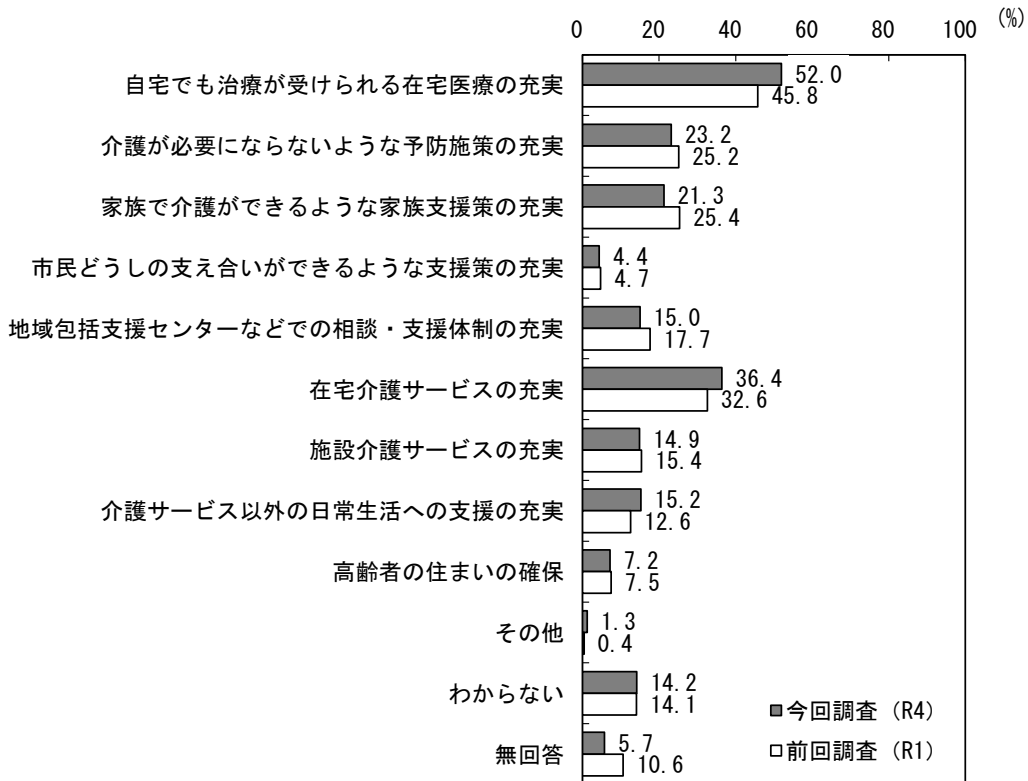
問9 (3) 高齢者への介護体制の充実のため、津島市にどのようなことを希望しますか。
(○は3つまで)

n=958

市に望む高齢者への介護体制の充実は、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」(52.0%)が最も高く、次いで「在宅介護サービスの充実」(36.4%)、「介護が必要にならないような予防施策の充実」(23.2%)、「家族で介護ができるような家族支援策の充実」(21.3%)が高くなっています。

世帯別でみると、1人暮らしでは「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」「高齢者の住まいの確保」が他の世帯よりも高くなっています。

前回調査と比べると、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」「在宅介護サービスの充実」などが増加しています。



単位：%

	件数	在宅でも治療が受けられる	介護が必要な予防施策の充実	家族で介護ができるような	市民どうしの支え合いの充実	地域の相談・支援センターなど	在宅介護サービスの充実	施設介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活	高齢者の住まいの確保	その他	わからない	無回答	
		充実	の充実	充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実	の充実
全体	958	52.0	23.2	21.3	4.4	15.0	36.4	14.9	15.2	7.2	1.3	14.2	5.7	
年齢	65～74歳	427	50.1	22.7	18.7	4.2	14.5	37.2	16.4	16.4	7.7	2.1	17.3	4.9
	75～84歳	417	53.7	24.0	23.7	5.0	15.6	35.3	13.2	14.4	7.2	0.2	12.0	6.5
	85歳以上	106	54.7	22.6	21.7	0.9	14.2	38.7	15.1	13.2	4.7	1.9	9.4	6.6
世帯	1人暮らし	166	48.8	24.1	8.4	7.2	16.9	30.7	13.9	22.3	12.7	1.2	11.4	7.8
	高齢者のみ	379	56.7	21.9	22.7	4.7	17.9	40.4	14.2	14.0	5.0	1.3	12.7	5.8
	その他	242	53.7	23.1	28.1	2.9	12.0	40.5	13.6	14.5	5.8	0.8	13.2	3.3

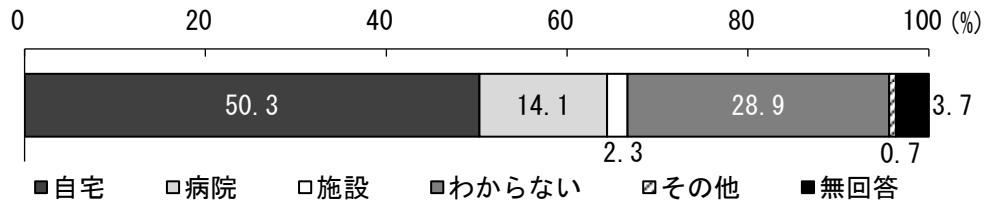
10-4 最期を迎えたい場所

問9(4) あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(○は1つ)

n=958

最期を迎えたい場所は、「自宅」(50.3%)が最も高く、次いで「わからない」(28.9%)、「病院」(14.1%)、「施設」(2.3%)となっています。

前回調査と比べると、「自宅」がやや増加しています。



単位：%

	件数	自宅	病院	施設	わからない	その他	無回答
今回調査 (R4)	958	50.3	14.1	2.3	28.9	0.7	3.7
前回調査 (R1)	978	45.0	13.0	3.0	29.7	0.5	8.9

10-5 人生会議の実施状況

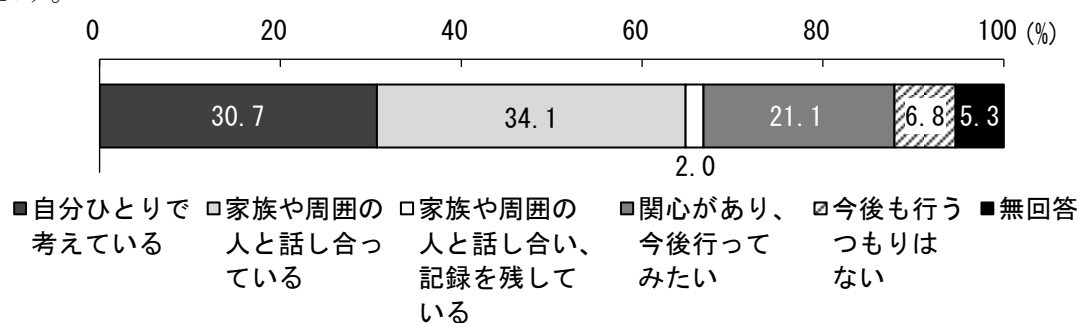
問9(5) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、話し合うこと(人生会議)を行っていますか。(○は1つ)

n=958

万が一のために話し合うこと(人生会議)を行っているかは、「自分ひとりで考えている」(30.7%)、「家族や周囲の人と話し合っている」(34.1%)、「家族や周囲の人と話し合い、記録を残している」(2.0%)、「関心があり、今後行ってみたい」(21.1%)となっており、これらを合わせると87.9%となっています。

年齢別で見ると、85歳以上では「関心があり、今後行ってみたい」が他の年齢よりも高くなっています。

世帯別で見ると、1人暮らしでは「自分ひとりで考えている」が他の世帯よりも高くなっています。



単位：%

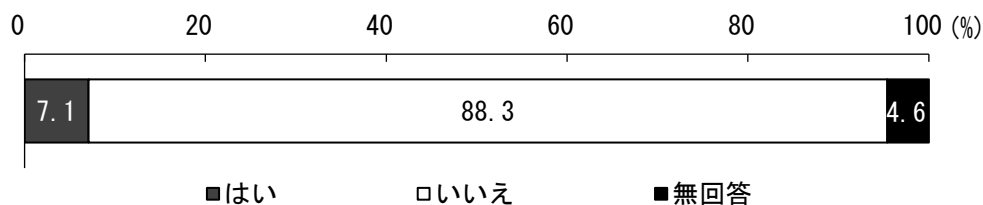
		件数	自分ひとりで考えている	家族や周囲の人と話し合っている	家族や周囲の人と話し合い、記録を残している	関心があり、今後行ってみたい	今後行うつもりはない	無回答
全体		958	30.7	34.1	2.0	21.1	6.8	5.3
年齢	65~74歳	427	31.6	34.0	1.4	21.3	7.3	4.4
	75~84歳	417	30.2	36.2	1.7	19.9	6.2	5.8
	85歳以上	106	26.4	28.3	5.7	24.5	7.5	7.5
世帯	1人暮らし	166	41.6	24.7	4.8	15.7	6.0	7.2
	高齢者のみ	379	26.1	36.7	1.6	24.8	6.6	4.2
	その他	242	28.9	38.8	1.2	20.7	6.2	4.1

10-6 家族における認知症の症状の有無

問9(6) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

n=958

自身または家族に認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が7.1%となっています。



10-7 認知症の相談窓口について

問9(7) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

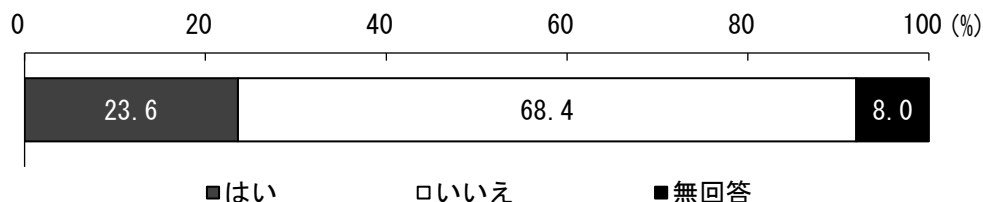
n=958

認知症に関する相談窓口を知っているかどうかについては、「はい」が23.6%となっています。

性別でみると、男性では「いいえ」が女性よりも高くなっています。

年齢別でみると、85歳以上では「はい」が他の年齢よりも高くなっています。

前回調査と比べると、「はい」はやや減少しています。



単位：%

		件数	はい	いいえ	無回答
全体		958	23.6	68.4	8.0
性別	男	447	17.4	75.2	7.4
	女	503	29.4	61.8	8.7
年齢	65~74歳	427	21.8	71.4	6.8
	75~84歳	417	23.7	68.3	7.9
	85歳以上	106	32.1	53.8	14.2

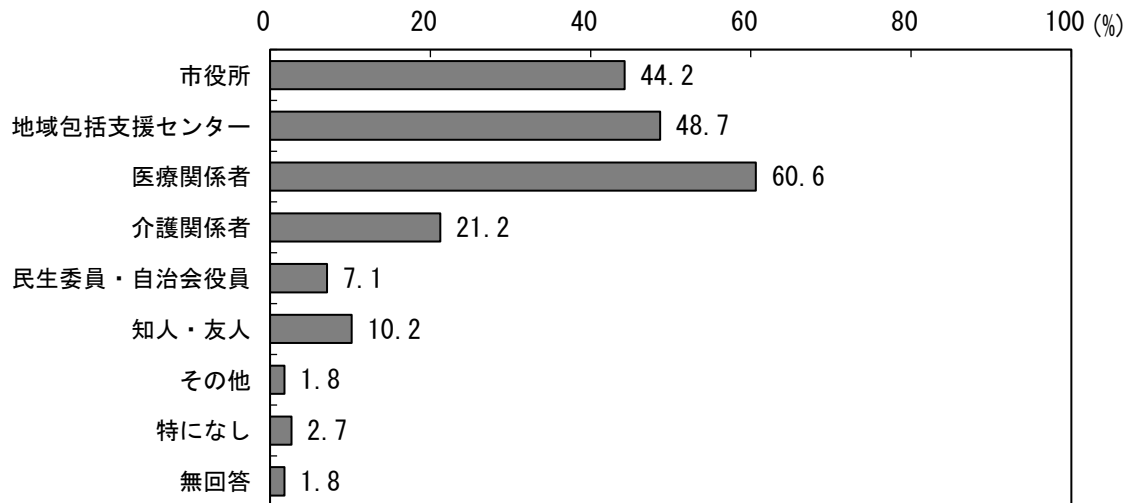
単位：%

	件数	はい	いいえ	無回答
今回調査 (R4)	958	23.6	68.4	8.0
前回調査 (R1)	978	26.4	70.4	3.2

(問9(7)で「1 はい」を選んだ方に)
問9(7)-①認知症についてどこに相談したいですか。(〇はいくつでも)

n=226

認知症について相談したい所は、「医療関係者」(60.6%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(48.7%)、「市役所」(44.2%)、「介護関係者」(21.2%)、「知人・友人」(10.2%)となっています。



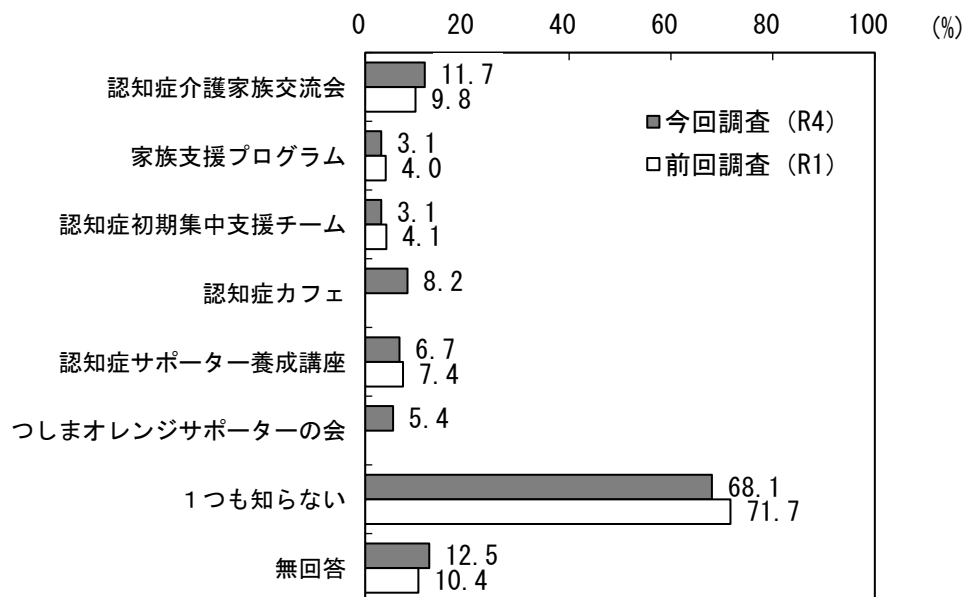
10-8 津島市の認知症施策の認知度

問9 (8) 認知症に関する以下の取組について知っていますか。(〇はいくつでも)

n=958

津島市の認知症施策について知っているものは、「認知症介護家族交流会」(11.7%)、「認知症カフェ」(8.2%)、「認知症サポーター養成講座」(6.7%)、「つしまオレンジサポーターの会」(5.4%)となっています。なお、「1つも知らない」は68.1%となっています。

性別でみると、女性では「認知症介護家族交流会」「認知症カフェ」などが男性よりも高くなっています。



※前回調査では「認知症カフェ」「つしまオレンジサポーターの会」は項目として含まれていません。

単位：%

		件数	認知症介護家族交流会	家族支援プログラム	支援チーム	認知症初期集中	認知症カフェ	養成講座	認知症サポーター	つしまオレンジサポーターの会	1つも知らない	無回答
全体		958	11.7	3.1	3.1	8.2	6.7	5.4	68.1	12.5		
性別	男	447	6.5	1.6	2.5	4.5	5.1	2.7	75.8	10.3		
	女	503	16.5	4.6	3.6	11.5	8.2	8.0	60.8	14.7		
年齢	65～74歳	427	11.2	2.6	0.7	8.9	7.5	6.1	71.7	9.1		
	75～84歳	417	13.7	3.8	5.3	8.6	6.5	5.3	63.5	15.1		
	85歳以上	106	6.6	2.8	3.8	3.8	4.7	3.8	69.8	17.0		

10-9 認知症チェックリスト

愛知県及び国立長寿医療研究センターによる「認知症チェックリスト」を参考に認知症の発症リスクの高い方の人数を集計しました。認知症チェックリストの12項目中3項目以上に該当する人は33.7%、4項目以上に該当する人は21.4%となっています。前回調査と比べると概ね同様となっています。

単位：%

		件数	該4項目以上	3項目該当	2項目該当	1項目該当	該当なし
今回調査 (R4)		958	21.4	12.3	19.4	18.5	28.4
前回調査 (R1)		977	22.5	11.4	15.9	21.2	29.1
(今年 回) 年齢	65～74歳	427	17.1	11.5	18.0	20.8	32.6
	75～84歳	417	22.3	11.8	18.9	18.7	28.3
	85歳以上	106	34.9	17.0	24.5	9.4	14.2

なお、今回集計対象とした12項目は以下のとおりです。

- ①物忘れが多いと感じますか
- ②今日が何月何日かわからない時がありますか
- ③同じことを言ったり聞いたりするとと言われることがありますか
- ④慣れた所で道に迷ったことがありますか
- ⑤蛇口・ガス栓の締め忘れがなく、火の用心ができますか
- ⑥複雑なテレビドラマが理解できますか
- ⑦日課をしなくなりましたか
- ⑧だらしなくなったと感じることがありますか
- ⑨最近、よく身の回りの物がなくなったと感じることがありますか
- ⑩この1か月間、怒りっぽくなったと感じることはありましたか
- ⑪夜中に急に起きだして、大声を出したことはありましたか
- ⑫この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

10-10 介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問9(9) その他、介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

介護・高齢者福祉に対して、下記のような意見・要望を170件いただきました。

No	内 容	件数
1	移動・交通について	25
2	相談・情報提供について	21
3	介護予防・集いの場・教室について	19
4	経済的負担について	16
5	在宅介護について	12
6	施設サービスについて	9
7	在宅生活について	7
8	地域・助け合いについて	6
9	将来の不安について	4
10	終活・終末ケアについて	3
11	高齢者福祉全般について	22
12	その他	26

1 移動・交通について

○公共交通全般

- 運転できなくなった後に公共の乗物がない。本数が少なかったり、停留所が近くにない。(4件)
- 交通手段がない。名鉄バスのパス券も高額で(名古屋市のように)安い交通パスがほしい。名鉄バス、三重バス、名古屋バス、地下鉄バスなど。健康維持の継続のため。
- 免許返納後の移動手段として巡回バスもいいが、タクシー等の割安なチケットなどを考えていただけると助かる。

○ふれあいバス

- ふれあいバスの本数を増やしてほしい。(5件)
- ふれあいを無料にしてほしい。
- ふれあいバスの大型スーパーの乗降場所を考えてほしい。帰りの荷物を持って道路沿いのバス停で待つのは苦痛なので、玄関口で乗降できるようにしてほしい。(2件)
- 妻も超高齢のため運転免許を返納したいが、足腰が悪く自転車に乗れず、不便な所で移動手段がない。近くにコンビニやスーパーもなく、買物難民。市民病院への通院も不便なので、市の巡回バス停が近くにあると助かる。

○その他

- おでかけタクシーの利用範囲を広げてほしい。(5件)
- 介護タクシーの充実と、病院へ行く時のタクシーの割引等があれば嬉しい。
- 運転免許証について、3年か5年に一度更新があるが、高齢者(75才以上)は毎年認知症検査を警察にて受けるのはどうなのか。
- 車の免許を返納したので、買物等で弟、娘に頼んでいる。乗り合い車など家の前までしてもらえるとありがたい。電話予約制など考えてもらいたい。インターネットなし、ガラケー(携帯)での生活は今後不安を感じている。
- 特に道路について不満がある。凹凸、劣化が著しい路面と幅が狭くて不安。歩車分離を徹底。

横断歩道への照明灯設置と運転者への法令遵守の徹底化。自転車走行者への法令遵守と歩道逆走等の罰則強化。

- 後期高齢者になり今後の自身の健康に不安があり、自宅は車がないと生活できない場所にある。そういったことについて相談できるところがほしい。高齢者向けの講座のある会場へふれあいバスか乗合タクシーがあったら、参加者が多くなると思う。

2 相談・情報提供について

○相談窓口

- 介護などについて相談できる窓口がほしい。わかりやすく周知してほしい。(5件)
- 80才以上の高齢者宅に専門家が訪問し、介護サービス等について話してもらいたい。個人にあった介護サービス受け方を教えてもらいたい。
- 市役所の高齢課は、こちらから質問しないと教えてくれないので、進んで教えてほしい。知らない事が多すぎ、損をする事がないようにしてほしい。
- 職員の資質向上を望む。困っている人に寄り添う態度でいてほしい。高齢者でも、きちんと一人の人間として対応してほしい。
- 今後の夫婦の健康状態を考えておかなければいけないと思った。以前、父のことで地域包括支援センターへ相談し、本当に親切に寄り添って話を聞いてもらえたことを、心から感謝している。
- 高齢者にとって、安心安全な相談の場があるというだけで、大変心強いと思う。出来るだけ世話をかけないよう、日々健康に気を付けたい。
- 妻と姉 87才と同居しているが、姉に有料施設で3~4ヶ月間生活してもらいたい拒否されている。他に手伝いがいなく困っている。市の窓口はどこか。
- 高齢者が一人の時に体調が急変した場合、どこに連絡していいかわからない。かかりつけ医の電話が通じないときなど困る。

○情報提供

- 市から高齢者や介護に関する情報や資料を提供してほしい。(4件)
- 高齢者施設の紹介、種類、制度などを広報などで取り上げてほしい。高齢になるほど病気や体力、気力の衰えが目立つようになるので、家族、地域、施設、ボランティア、行政がそれぞれ行っていること、充実していこうとする方向性を示してほしい。限りある資源、原資、人材のなかで自助、共助、公助の住み分けが必要。
- 全般的にPR不足の感あり。今般のアンケートも遅いように思う。実行の度合が不明のため、アンケートのみでは解決されない。いかに前進させるかを良く考えていただきたい。
- 津島市の公の場所があちこちにあるので利用しにくい。家に居るだけでは情報が届かず、人から聞く場合が多い。インターネットもやらないし、地域の民生委員も知らない。これでもっと体が動かなくなったら不安。マイナンバーカードもよくわからない。皆がネットを見ている訳ではないので、もっとわかりやすくしてほしい。
- 認知症に関連することや施設を知らなかったことに気付いた。
- 自分が余りにも無知であり、自身が高齢者にもかかわらず勉強不足で何もわかっていないことを知った。もう少し勉強しなければいけない。

3 介護予防・集いの場・教室について

- 高齢者が気軽に集まることのできる場を設けてほしい。(7件)
- 色々な教室があるが、なかなか2回目の出席ができない。
- 雨天でも利用出来るグラウンドを希望する。
- 一日でも長く健康で過ごせるよう、食事・運動に気を付けて楽しい人生を送りたい。

- 軽い体操やカラオケ、折り紙等をして楽しく過ごしたい。
- 現在、北包括センターの方が週1回ラジオ体操、月1回第3水曜日に認知症(月によってテーマは違う)の話が聞ける。ラジオ体操はもう少し増やしてほしい。
- 高齢になり年々体力が落ちる事が自分でよくわかる。
- 子供から老人までできるトレーニングジムを作り、市民の交流と要介護に至らないようにする場として整備してほしい。
- コロナにて中止となったオアシスサロンを再開してほしい。
- 市民による熟年大学講座や、神社仏閣で盆栽、陶芸等の発表展示会があるといい。
- 精神面や健康面で支えになる場として、とても大切だと感じる。支援をしてほしいし、協力できることがあればと思う。心の持ち方、楽しみの見つけ方等、毎日の小さな発見があるといい。
- 耐震性等のため施設(公民館、伝承の館)がなくなり、趣味のサークルを行う場所がない。高齢のため、人とのつながりが心身共に支えになるので、施設・設備を確保してほしい。市としての文化向上を考えて、陶芸の窯や美術館を整備してほしい。
- 体操教室やウォーキング等の中で体力測定も行ったらどうか。効果があるとわかれば、やる気もおきるはず。

4 経済的負担について

- 介護保険料が高い。(10件)
- 医療費がかかり、先が心配。
- 夫が亡くなり、今後の収入の減少、家賃や物価等の値上りにより、生活に不安がある。
- 低所得者(特に国民年金加入者)に対する支援(金、物品)を厚くする。
- もっと経済的に支援してほしい。
- 年金受給者より保険料徴収は止めるべし。
- 様々なことを介護保険でまかなってほしい。

5 在宅介護について

○在宅介護の状況

- 3年前まで夫の母を在宅介護していたことにより、家族介護の限界を知った。介護を受ける側もする側も、互いに寄り添う姿勢が大事で、ケアマネジャーを味方にするのが大切とも感じた。これからのことを考えると不安が大きい。
- 介護でおむつを使用しており、市役所から年1回支給があるが、テープ止め伸縮タイプを取入れてほしい。近くに知り合いもおらず、老老介護のため、これから先の事がとても不安。
- 家族の世話になっており、本当に申し訳ないと言っている。
- 主人の母親が、脳梗塞から認知症になり約10年間介護施設へ通い、ウォーキングに参加する時は泊りを入れて、息抜きが出来た。要介護4で施設に入所でき、3年間お世話になった。
- 早く死にたいと毎日文句ばかり言って、介護認定の担当の方や地域支援センターの人を門前払いして怒鳴っている。(同居している娘が本人の様子を見て代理で記入している。)
- 介護保険を利用しながら、要介護3の夫と生活している。自分自身の時間がなかなか持てないが、唯一趣味の園芸に救われている。
- 夫に介護の期待はできない。ホームに入ることになるだろうが心配は尽きない。今はまだ畑仕事も出来ている。介護については友人にアドバイスをもらったりしている。
- 夫の介護を約20年している。多くの方々に支えられ協力して頂きやってこれた事に感謝している。しかし、全介護(胃ろう)なので、突然の助けを得られないのは、とても不安で厳

しい。

○在宅サービス

- いつでもどこでも安く介護支援を受けられるようにしてほしい。
- 要支援1のため、介護保険を利用して送迎型のリハビリに週1回行っている。職員方々の心遣いに感謝している。健康に注意し、楽しみながら充実した半日を送っている。
- ケアマネジャーの人格や介護施設の良し悪しに随分と差があるが、外からはわからない。
- デイサービスの充実をより多く望む。

6 施設サービスについて

- 介護施設に入所しやすい環境を作してほしい。(5件)
- 安全安心な施設が充実するとよい。
- 息子に介護してもらいよりも、入所できる場所があれば施設で世話になりたい。
- 入居者に対し施設内の対応が悲しかった。患者の質問に対し、暴言や無視をする。又、家族に入居者が薬を飲まない、寝ないと呼び出したり、寒さを訴えてもだめだと大声で怒鳴ったりする。言葉使いをもっと教育してほしい。施設にもよると思うが、心の通った対応が出来る場であってほしい。
- 低所得者の介護施設について考えてほしい。

7 在宅生活について

- 家から歩いて行ける眼科医院と美容院を教えてください。
- 一人住まいの高齢者は、家の物を整理や助けを必要とする時はどうすればいいのかわからない。ごみの集積所が遠く、車もないので何往復もするのは大変。
- カード利用は便利だが、高齢者はついていけず困っている。
- 子供と生活しているが、日中は仕事でおらず、何かを頼むことも難しい。
- 突然のひざ痛のため、ゴミ出しに苦労している。子供が来る時にゴミ出しをしてもらいたいが、出せる曜日が決まっているため、物置きに貯まる一方。ひざが早く良くなってほしいが、今はとても困っている。
- 自宅の近くにスーパーがないため、生鮮食料品の移動販売をしてほしい。周りは一人暮らしが多いので、近所同志の交流にもなり、いいと思う。
- 日常の家事サポートが充実してほしい。関係のない別居している子供に介護内容についてすべてサインさせるのは心苦しい。

8 地域・助け合いについて

- 高齢者の一人家庭の状況に応じて、地域で声かけをすると良いと思う。
- 民生委員の高齢者宅への訪問を、年に何回か実施してほしい。
- 地域、行政と、自分との関わり合いがわからない。
- 一人暮らしのため、今後、介護、高齢者福祉、民生委員、地域包括支援の方に色々相談し、健康寿命で生きていけるよう心がけて、毎日を楽しく過ごしていきたい。
- 民生委員の電話訪問があり、ありがたい。
- 若い人は高齢者に気を付けてほしい。優しさを持って接してほしい。最近では高齢者一人での買物を見かけることが多くなった。

9 将来の不安について

- 現在75才、パート(週3日程)で働いているが、いずれ認知症になるのではという不安が

常にある。

- 夫婦ともに病気で毎月医者通いしている。今はどうにか暮らしているが、先の事はあまり考えたくない。いつか相談するときはよろしくお願ひしたい。
- いずれ何らかの形で福祉のお世話になると思うが、夫婦どちらかが一人になる時の事を考えると漠然とした不安を感じる。私自身は義父母をそれぞれ在宅介護し、よかったと思っているが、別居の息子達に自分たちの介護を背負わせたくはない。出来る限り健康で、今の生活を続けられるよう、住みやすい、安心安全な市であるように願ひたい。
- 自分が1人で行動できなくなった時、悩みを気軽に聞いてくれる人がいてほしい。

10 終活・終末ケアについて

- 自宅で最期を迎えたいが、死後の手続きが面倒。病院だとスムーズに順に行える。
- 天涯孤独なので葬儀を津島市で頼みたい。東京都足立区では区役所が葬儀をやってくれるとのこと。生きているうちに葬儀代金を前払いし、区役所に金銭的負担はないそう。一度検討してほしい。
- 身寄りのない高齢者の身元保証や死後事務委任契約等についての情報や、行政の取り組みを知りたい。

11 高齢者福祉全般について

- 詳しくは知らないが、津島市には期待できないように思っている。高い税金を払っているのに、心配にならないよう頑張ってもらいたい。
- あまり期待しない。
- このアンケートが今後の参考になればありがたい。いずれお世話になると思うが、夫より先に死にたくない。
- 今のところは健康だが、いずれお世話になると思う。介護体制の充実を希望している。
- 介護、高齢者福祉のためには、現状程度に留めて、次の時代を担う子供達のためにお金を使う世の中にしてほしい。
- 介護、福祉等、市の援助は誠に有難く、感謝している。不自由な身ではあるが、津島市の発展を祈ってやまない。
- 介護・福祉について何も知らない事ばかり。まだまだ勉強しなければと思った。
- 介護福祉に対する意見・要望等は、市民の税金から給与を得ている津島市役所職員一人一人の考え方なので、今後、何が本当に市民に役立つ市政なのか、新しい考え方を追求してほしい。
- 近隣市町村の高齢者福祉に対するサービスに比べ、本市の低さを感じている。
- 健康な高齢者に対して、何らかの補助があってもよいと思う。
- いつ介護生活が始まっても、スムーズに介護支援が受けられる社会になってほしい。
- どのような努力をしているのかを、まず津島市から発信してほしい。健康増進と認知症の防止の方法等の結果、報告を出してほしい。
- 介護保険料の支払いが少なくてもかなりの介護サービスを受けられる人もいるが、そうでない人もいる。その人にとって本当に必要なサービスなのかどうかも含め、不公平感満載の制度ではないかと考える。
- 1人住まいの高齢者宅を度々訪問して会話をしあわせてほしい。
- 介護に携わってくださる方々の収入が安定することが大切。
- おむつの支給を要介護1から行ってほしい。
- 九十歳のお祝い品をもらった人はあまり喜んでいなかったもので、辞退したい。メッセージカ

ードか商品券だったらほしい。

- 高齢者の長寿祝いは最小限にし、祝い金等を若者への支援金に使ってほしい。
- 難病患者に手厚い保障やサービスがほしい。難病患者の見舞金は津島市には無いのか。
- 自分が孤独死した時のことを考えることがある。市の「一人暮らし登録」した場合どのような支援が受けられるのか詳しく知りたい。
- 避難介助の申請をすると、どのような介助をしてもらえるのか説明してほしいです。
- エレベーターのないマンションの独居老人のことが心配。1人住まいの人の今後や、友人についてなど、調査してほしい。

12 その他

○アンケート

- アンケートへの回答が負担である。(3件)
- アンケートは80才以上の人を対象にした方がいい。何でもできる71才の私がこのアンケートは答えるのはまだ早い。
- 財がないのだから、アンケートを外部に委託するのではなく、市の職員が立案してやるべき。高齢者に対し子供支援並みの対応を取られたらいいのではないか。津島市に住んで良かった事が少ない。
- このアンケートが、介護、高齢者福祉の改善策に役立つ質問なのか素人にはわからない。
- 調査だけで終わらないように切望する。
- 現在肺ガンで通院中。先月から抗ガン剤も使えなくなり、今後は自身の治癒力頼りになった。無作為に選ばれたようだが、考慮してほしかった。非常に不愉快なアンケートだ。

○回答者の状況

- あまり深刻にならず穏やかに過ごしたい。
- なるべく自分の力で、自宅で過ごしたい。
- 現在、夫のガン治療に付き添っているため、他の事に頭が回らない。
- 高齢者夫婦だが、今のところ心配なことがなく、まだ困っていない。
- 小さな畑だが毎日手入れができています。物忘れは増えているが、気をつけている。少しでも長く元気に過ごしたい。
- いつまでも自分は若いと思っている人が多いが、周りは老人を少しバカにしているようにも思える。そんなことを感じている。
- それぞれの事情によって、人と会いたい会いたくない、関わりたい関わらないがある。介護も本当に必要な人が施設を利用できるといい。
- 毎日迷惑かけないようにしているが、その時が来たら介護の方のお世話になる。

○その他

- 片足切断の夫が要支援2となり、介護度が下がった。かならず付き添いが必要なのに、残念だ。
- 認知症にならないためには、どのように毎日を過ごしたらよいか。だんだん物覚えも悪くなり、疲れやすくなっている。
- 認知症に早く気付く事とサポートする事とを実施する。
- 介護は、今後必ずお世話になるので、今から家族で勉強していきたい。
- まだ介護の必要はしていないが、これからの自分が心配なので介護関係の皆さんと関わっていきたくと思う。
- 今後は関心を持ちたいと思う。
- 現在介護施設で勤務しているが、その場にならないとわからない。もう少し年をとって身体

的に相談しなければならない時がきたら、考えてみたいと思う。

- この機会に介護について改めて考えたい。
- まだ直面していないので、どのようにしたいかわからない。生きがいなので、80 才までは元気に働きたい。
- 息子がいるので不安は感じていないが、これから先はわからない。健康で長く暮らせるようにと思っている。

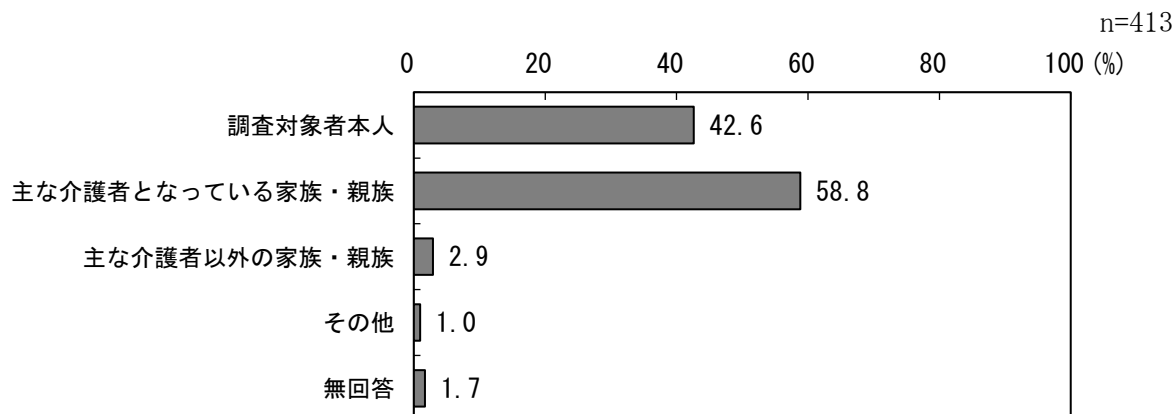
Ⅲ 在宅介護実態調査

Ⅲ 在宅介護実態調査

1 対象者の属性

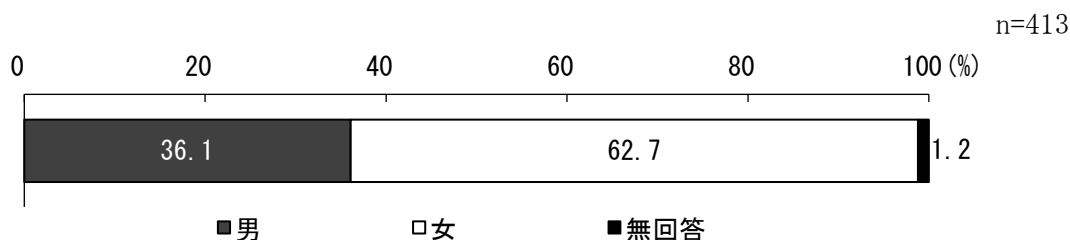
1-1 調査票の記入者

調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」が 58.8%、「調査対象者本人」が 42.6%となっています。



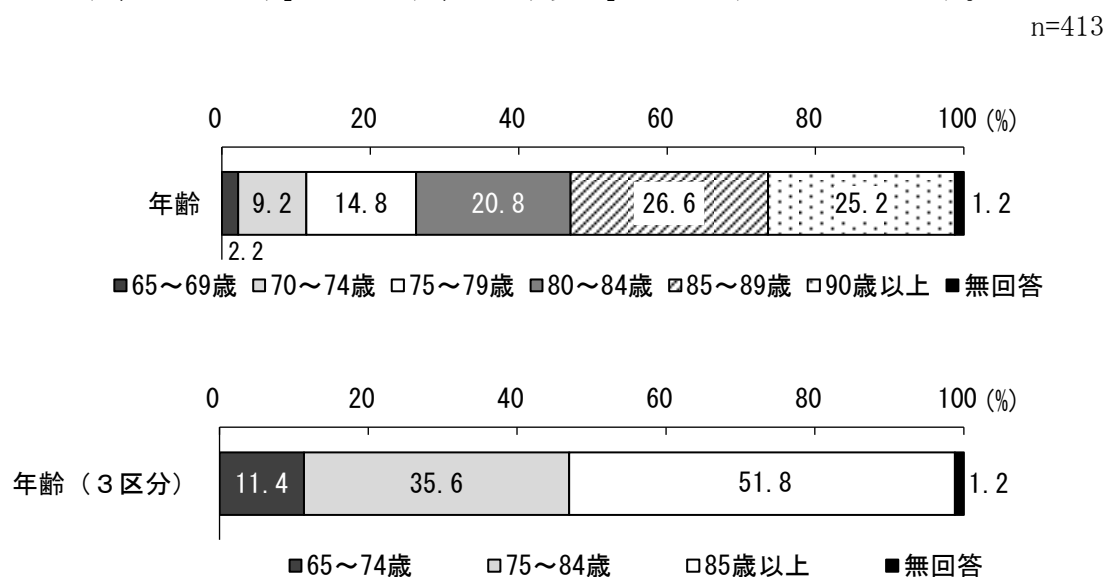
1-2 性別

調査対象者本人の性別は、「男」が 36.1%、「女」が 62.7%となっています。



1-3 年齢

対象者本人の年齢は、「85～89歳」(26.6%)が最も高くなっています。3区分では、「65～74歳」が 11.4%、「75～84歳」が 35.6%、「85歳以上」が 51.8%となっています。

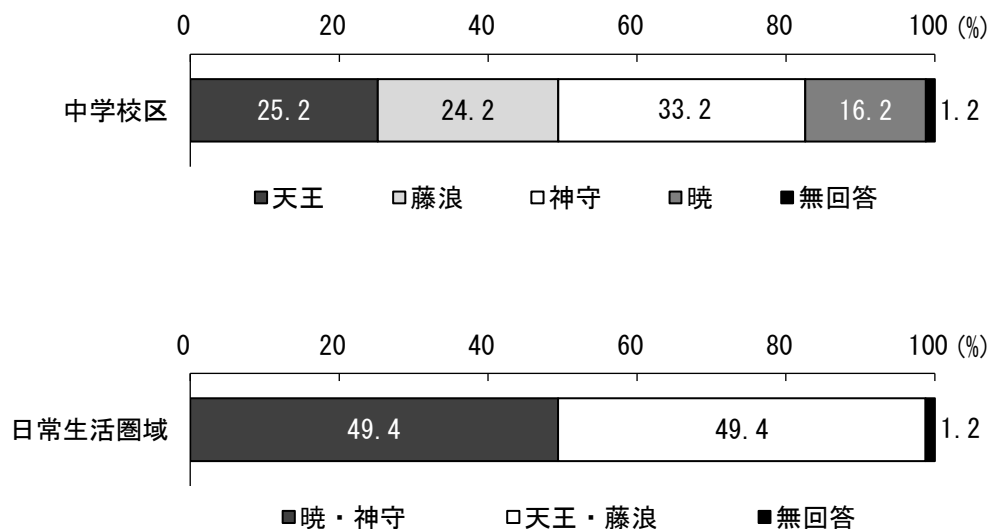


1-4 居住地区

居住地区（中学校区）は、「天王」が25.2%、「藤浪」が24.2%、「神守」が33.2%、「暁」が16.2%となっています。

日常生活圏域は、「暁・神守」が49.4%、「天王・藤浪」が49.4%となっています。

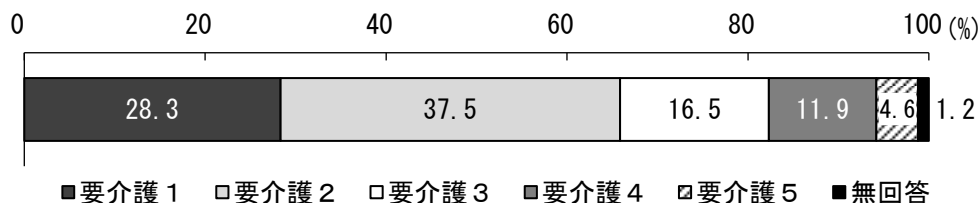
n=413



1-5 要介護度

要介護度は、「要介護1」が28.3%、「要介護2」が37.5%、「要介護3」が16.5%、「要介護4」が11.9%、「要介護5」が4.6%となっています。

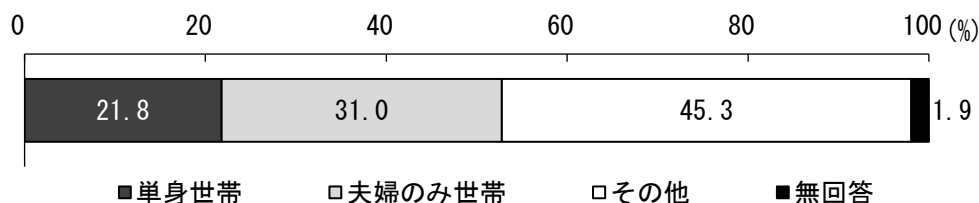
n=413



1-6 世帯類型

世帯類型は、「単身世帯」が21.8%、「夫婦のみ世帯」が31.0%、「その他」が45.3%となっています。

n=413

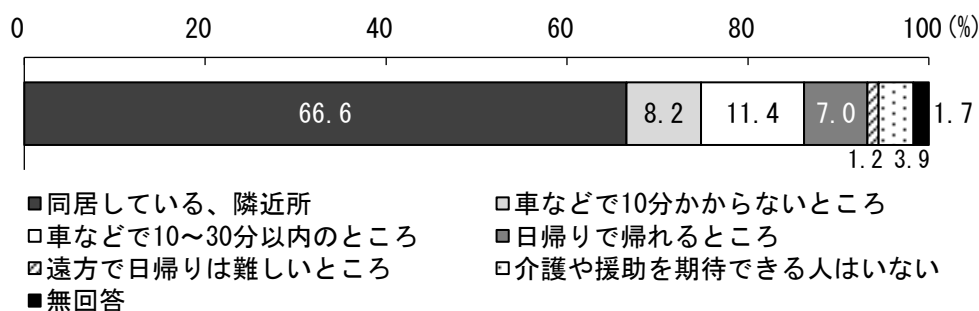


1-7 主となって介護や援助をしてくれる人の居住

主な介護・援助者の居住場所については、「同居している、隣近所」(66.6%)が最も高く、次いで「車などで10~30分以内のところ」(11.4%)、「車などで10分かからないところ」(8.2%)、「日帰りで帰れるところ」(7.0%)、「介護や援助を期待できる人はいない」(3.9%)となっています。

世帯別でみると、単身世帯で「同居している、隣近所」「車などで10分かからないところ」「車などで10~30分以内のところ」を合計すると67.8%となっています。

n=413



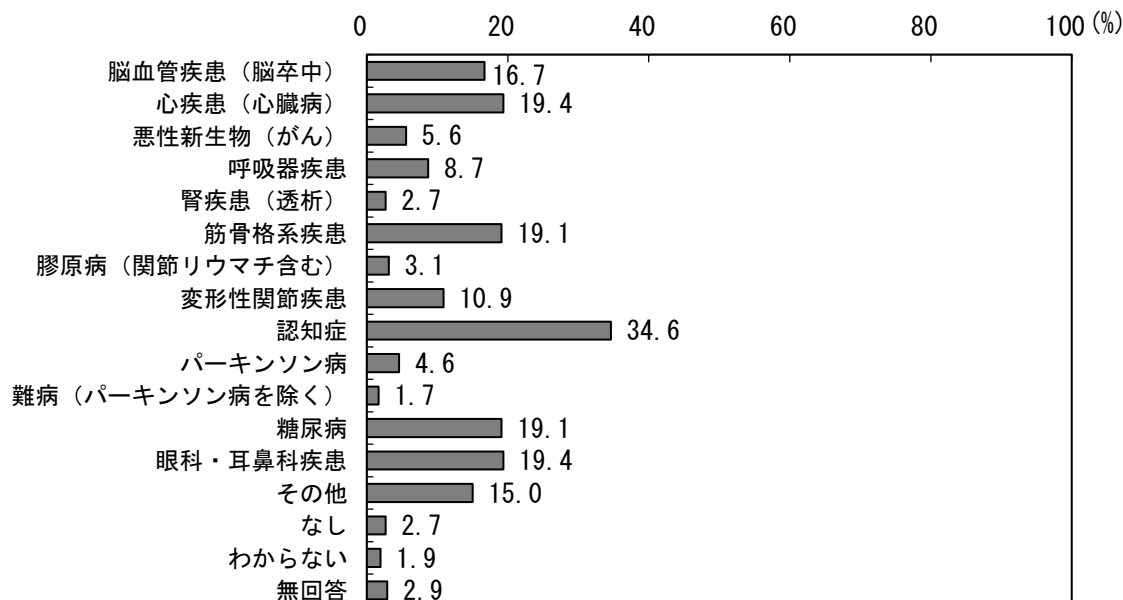
単位：%

世帯	件数	同居している、隣近所	車などで10分以内のところ	車などで10~30分以内のところ	日帰りで帰れるところ	難しい方で日帰りは	遠方では日帰りが	介護や援助を期待できる人はいない	無回答
全体	413	66.6	8.2	11.4	7.0	1.2	3.9	1.7	
単身世帯	90	25.6	17.8	24.4	20.0	3.3	8.9	0.0	
夫婦のみ世帯	128	63.3	10.9	14.1	4.7	1.6	3.9	1.6	
その他	187	90.4	2.1	3.7	2.1	0.0	1.1	0.5	

1-8 現在抱えている傷病

現在抱えている傷病は、「認知症」(34.6%)が最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」(19.4%)、「眼科・耳鼻科疾患」(19.4%)、「筋骨格系疾患」(19.1%)、「糖尿病」(19.1%)となっています。

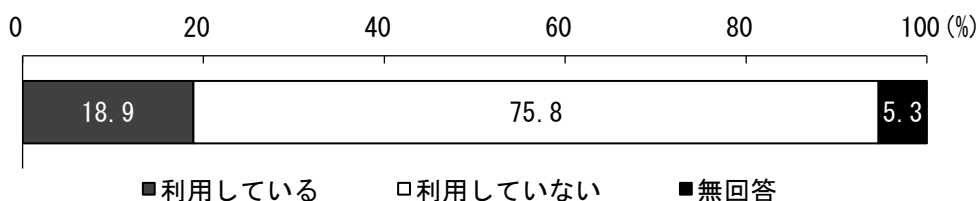
n=413



1-9 訪問診療の利用状況

現在、訪問診療を「利用している」人は18.9%となっています。要介護度が上がるにつれて利用している割合が増加しています。世帯別で見ると、単身世帯では「利用している」が他の世帯よりもやや高くなっています。

n=413



■利用している □利用していない ■無回答

単位：%

		件数	利用している	利用していない	無回答
全体		413	18.9	75.8	5.3
要介護度	要介護1	117	9.4	81.2	9.4
	要介護2	155	18.1	77.4	4.5
	要介護3	68	25.0	73.5	1.5
	要介護4	49	26.5	69.4	4.1
	要介護5	19	47.4	47.4	5.3
世帯	単身世帯	90	23.3	71.1	5.6
	夫婦のみ世帯	128	19.5	75.8	4.7
	その他	187	16.6	78.6	4.8

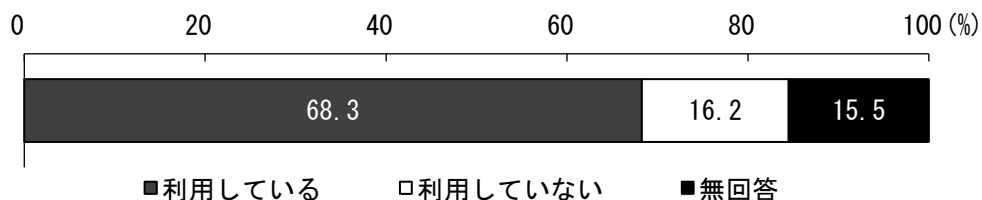
2 必要な介護やサービスの利用などについて

2-1 介護保険サービスの利用状況

問2(1) 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ)

n=413

現在、介護保険サービスを「利用している」人は68.3%となっています。
世帯別でみると、単身世帯では「利用していない」が他の世帯よりもやや高くなっています。



単位：%

		件数	利用している	利用していない	無回答
全体		413	68.3	16.2	15.5
要介護度	要介護1	117	63.2	20.5	16.2
	要介護2	155	70.3	13.5	16.1
	要介護3	68	77.9	13.2	8.8
	要介護4	49	61.2	16.3	22.4
	要介護5	19	63.2	26.3	10.5
世帯	単身世帯	90	61.1	21.1	17.8
	夫婦のみ世帯	128	71.1	14.1	14.8
	その他	187	70.6	15.5	13.9

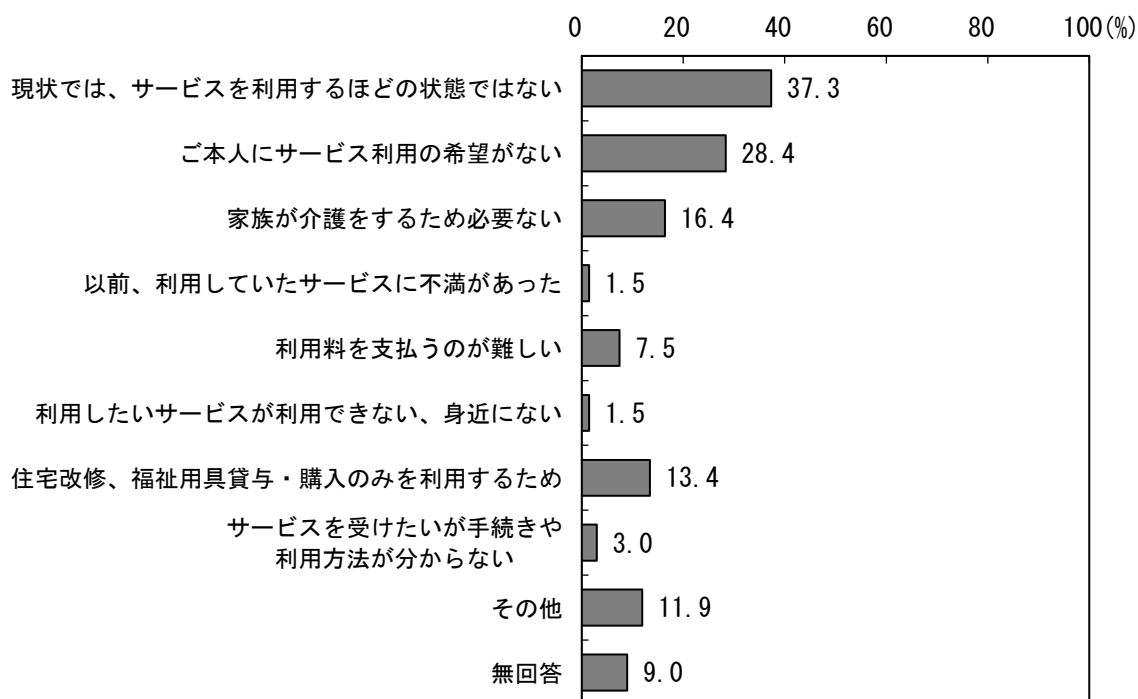
2-2 介護保険サービスを利用していない理由

(問2(1)で「2 利用していない」を選んだ方に)

問2(1)-①介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n=67

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(37.3%)が最も高く、次いで「ご本人にサービス利用の希望がない」(28.4%)、「家族が介護をするため必要ない」(16.4%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(13.4%)となっています。



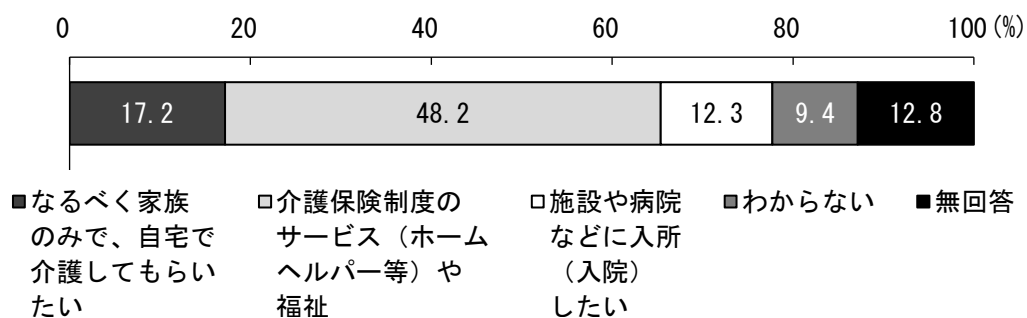
2-3 今後受たい介護

問2(2) ご本人は今後、どのような介護を受けたいですか。(○は1つ)

n=413

今後、どのような介護を受けたいかは、「介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉」（48.2%）が最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」（17.2%）、「施設や病院などに入所（入院）したい」（12.3%）となっています。

世帯別で見ると、夫婦のみ世帯では「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」が他の世帯よりも高くなっています。



単位：%

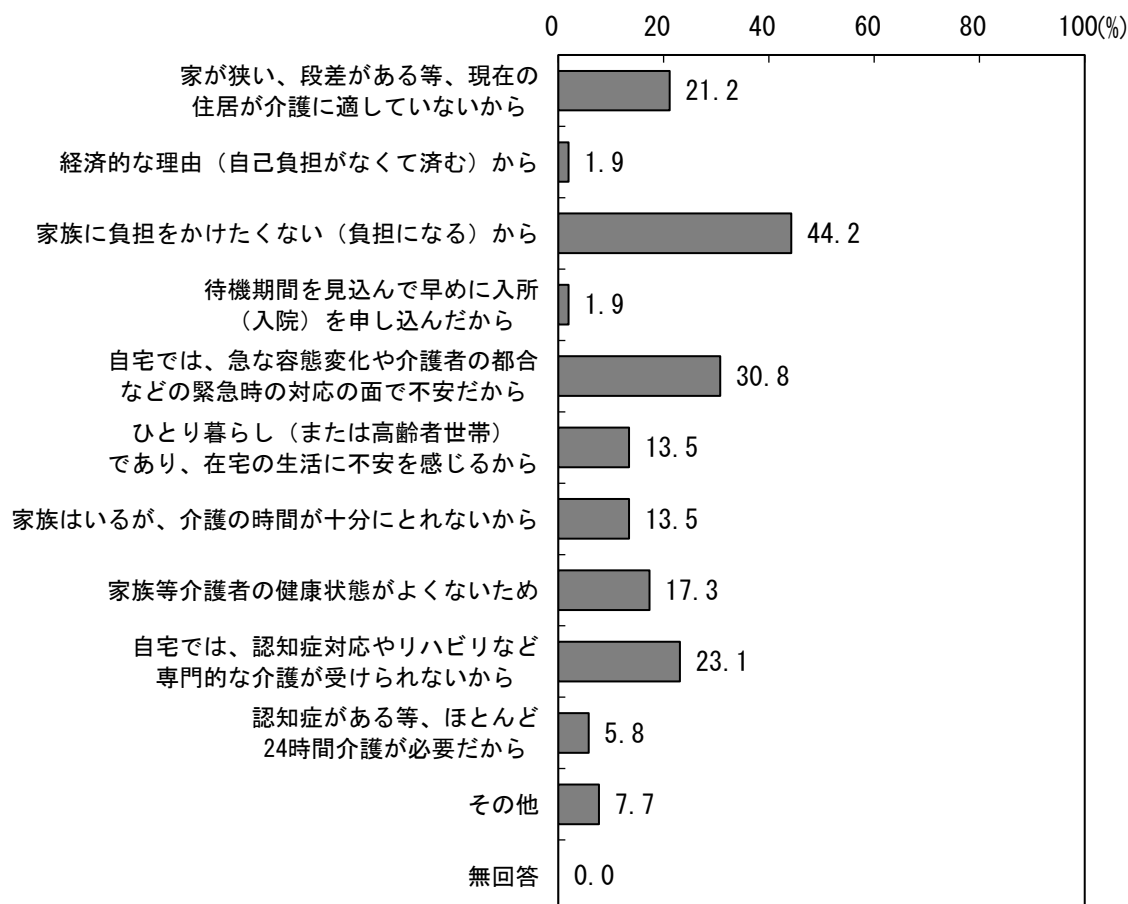
		件数	なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい	介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉	施設や病院などに入所（入院）したい	わからない	無回答
全体		413	17.2	48.2	12.3	9.4	12.8
要介護度	要介護1	117	23.9	43.6	7.7	7.7	17.1
	要介護2	155	17.4	45.8	12.3	12.9	11.6
	要介護3	68	7.4	57.4	19.1	7.4	8.8
	要介護4	49	16.3	49.0	18.4	4.1	12.2
	要介護5	19	15.8	52.6	5.3	10.5	15.8
世帯	単身世帯	90	11.1	40.0	16.7	16.7	15.6
	夫婦のみ世帯	128	23.4	47.7	13.3	4.7	10.9
	その他	187	16.6	54.0	9.6	9.1	10.7

2-4 施設等に入所・入院したい理由

(問2(2)で「3 施設や病院などに入所(入院)したい」を選んだ方に)
問2(2)-①その理由は何ですか。(〇は2つまで)

n=52

施設や病院等に入所(入院)したい理由は、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」(44.2%)が最も高く、次いで「自宅では、急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」(30.8%)、「自宅では、認知症対応やリハビリなど専門的な介護が受けられないから」(23.1%)となっています。



2-5 施設等への入所・入居の検討状況

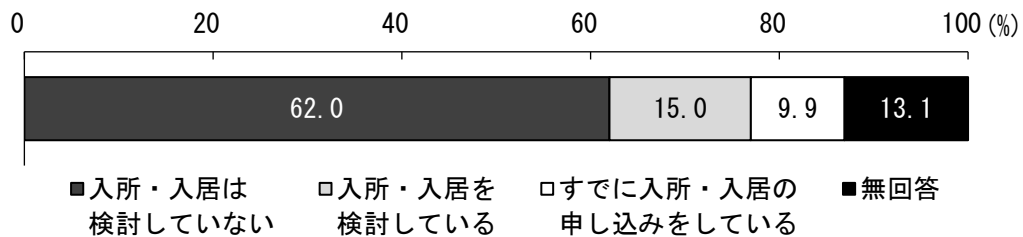
問2(3)-① 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(○は1つ)

n=413

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が62.0%「入所・入居を検討している」が15.0%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が9.9%となっています。

要介護度別でみると、要介護4では「入所・入居を検討している」が、要介護5では「すでに入所・入居申し込みをしている」が他の介護度よりも高くなっています。

前回調査と比べると、「入所・入居は検討していない」が増加し、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」がやや減少しています。



単位：%

		件数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居の申し込みをしている	無回答
全体		413	62.0	15.0	9.9	13.1
要介護度	要介護1	117	63.2	11.1	11.1	14.5
	要介護2	155	65.2	16.8	4.5	13.5
	要介護3	68	63.2	14.7	10.3	11.8
	要介護4	49	55.1	22.4	12.2	10.2
	要介護5	19	36.8	10.5	36.8	15.8

単位：%

		件数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居の申し込みをしている	無回答
今回調査 (R4)		413	62.0	15.0	9.9	13.1
前回調査 (R1)		485	55.5	18.6	13.8	12.2

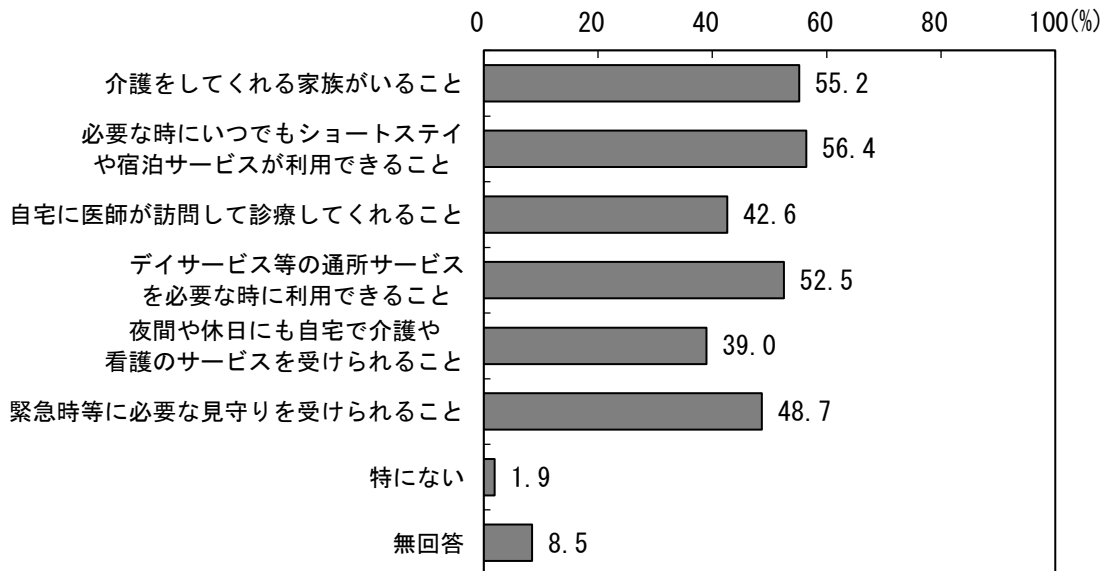
2-6 今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容

問2(4) ずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思いますか。(〇はいくつでも)

n=413

今後の在宅生活の継続に必要な支援の内容は、「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」(56.4%)が最も高く、次いで「介護をしてくれる家族がいること」(55.2%)、「デイサービス等の通所サービスを必要な時に利用できること」(52.5%)となっています。

要介護度が上がるにつれて「夜間や休日にも自宅で介護や看護のサービスを受けられること」「自宅に医師が訪問して診療してくれること」などが高くなっています。



単位：%

		件数	介護をしてくれる家族がいること	必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること	自宅に医師が訪問して診療	デイサービス等の通所サービスを利用できること	夜間や休日にも自宅で介護や看護のサービスを受けられること	緊急時等に必要な見守りを受けられること	特にない	無回答
全体		413	55.2	56.4	42.6	52.5	39.0	48.7	1.9	8.5
要介護度	要介護1	117	49.6	49.6	29.1	41.9	34.2	40.2	3.4	12.8
	要介護2	155	58.1	61.3	45.2	58.7	37.4	54.2	1.9	5.8
	要介護3	68	61.8	55.9	47.1	57.4	44.1	50.0	0.0	5.9
	要介護4	49	53.1	55.1	55.1	53.1	42.9	46.9	2.0	10.2
	要介護5	19	57.9	63.2	57.9	42.1	57.9	52.6	0.0	10.5
世帯	単身世帯	90	30.0	53.3	34.4	54.4	40.0	53.3	4.4	11.1
	夫婦のみ世帯	128	58.6	51.6	39.8	46.9	36.7	48.4	0.8	9.4
	その他	187	66.3	63.6	49.2	56.7	41.2	48.1	1.1	5.9

2-7 介護保険サービス等以外のサービスの利用状況

問2 (5) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)
 (6) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

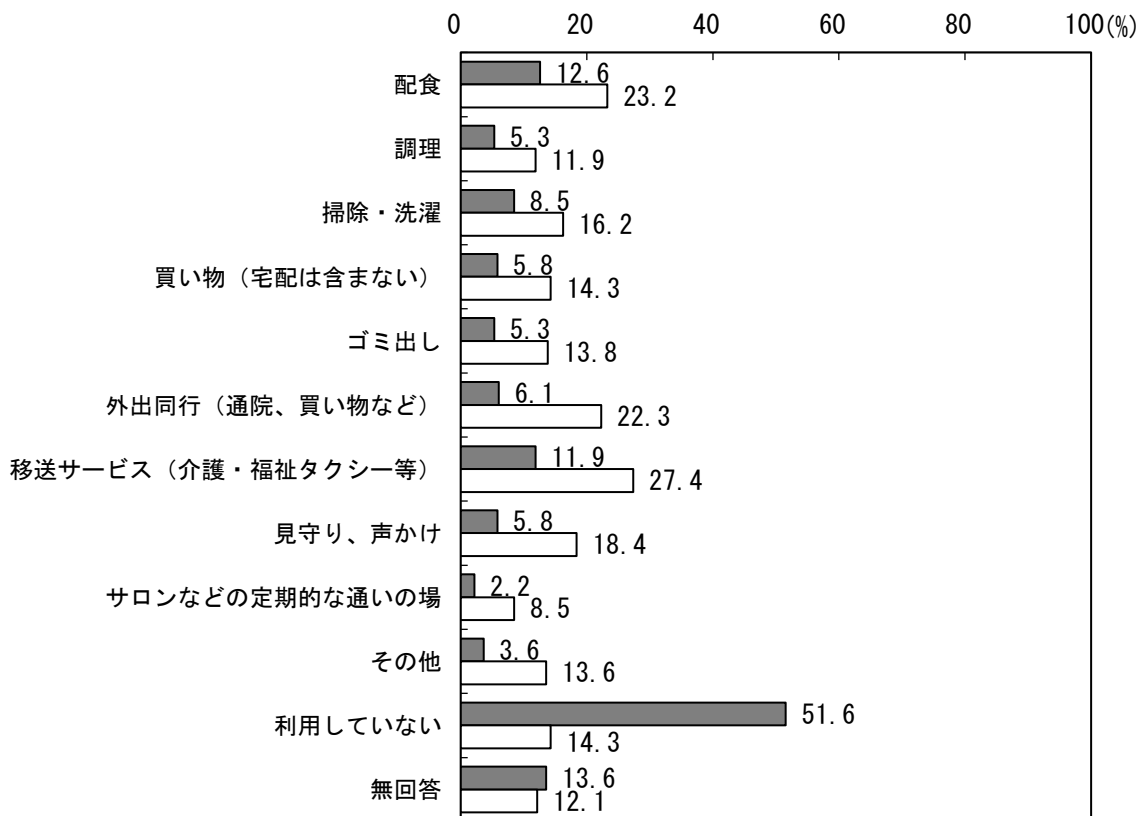
n=413

「介護保険サービス・介護予防・日常生活支援総合事業以外」のサービスの利用状況を見ると、「利用していない」(51.6%)が最も高く、次いで「配食」(12.6%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(11.9%)となっています。

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスは、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(27.4%)が最も高く、次いで「配食」(23.2%)、「外出同行(通院、買い物など)」(22.3%)、「見守り、声かけ」(18.4%)、「掃除・洗濯」(16.2%)となっています。また、「利用していない」は14.3%となっています。

現在利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、要介護度別でみると、要介護2～4では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が他の介護度よりも高くなっています。世帯別でみると、単身世帯では「配食」「掃除・洗濯」などが他の世帯よりも高くなっています。

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、世帯別でみると、単身世帯では「配食」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」が他の世帯よりも高くなっています。



■現在利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス
 □今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

【現在利用中の「介護保険サービス以外」の支援・サービス】

単位：％

		件数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		413	12.6	5.3	8.5	5.8	5.3	6.1	11.9	5.8	2.2	3.6	51.6	13.6
要介護度	要介護1	117	18.8	6.8	6.8	6.8	6.0	4.3	5.1	6.8	2.6	2.6	54.7	10.3
	要介護2	155	10.3	5.8	11.6	5.2	6.5	6.5	14.2	6.5	1.9	3.9	47.1	16.1
	要介護3	68	13.2	2.9	8.8	7.4	2.9	10.3	16.2	4.4	2.9	1.5	55.9	8.8
	要介護4	49	10.2	6.1	6.1	6.1	6.1	4.1	18.4	6.1	0.0	8.2	46.9	14.3
	要介護5	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	57.9	31.6
世帯	単身世帯	90	30.0	7.8	15.6	11.1	11.1	7.8	5.6	10.0	4.4	2.2	34.4	10.0
	夫婦のみ世帯	128	12.5	6.3	9.4	7.8	6.3	7.0	18.0	6.3	0.8	2.3	44.5	20.3
	その他	187	4.3	3.2	4.3	1.6	1.6	4.3	11.2	3.2	1.6	4.3	66.3	9.1

【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

単位：％

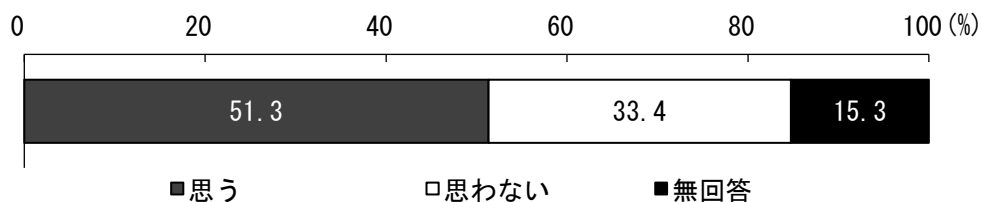
		件数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		413	23.2	11.9	16.2	14.3	13.8	22.3	27.4	18.4	8.5	13.6	14.3	12.1
要介護度	要介護1	117	25.6	10.3	17.9	14.5	12.0	14.5	23.1	19.7	10.3	14.5	16.2	8.5
	要介護2	155	20.6	11.0	15.5	13.5	14.2	24.5	30.3	20.0	6.5	12.9	12.9	14.2
	要介護3	68	26.5	16.2	17.6	19.1	14.7	26.5	27.9	19.1	8.8	13.2	14.7	10.3
	要介護4	49	24.5	18.4	16.3	16.3	16.3	26.5	34.7	14.3	8.2	10.2	12.2	14.3
	要介護5	19	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	21.1	15.8	5.3	5.3	21.1	21.1	21.1
世帯	単身世帯	90	41.1	17.8	27.8	20.0	27.8	28.9	25.6	27.8	8.9	7.8	6.7	13.3
	夫婦のみ世帯	128	21.9	14.1	14.8	17.2	11.7	21.9	26.6	15.6	3.1	15.6	12.5	12.5
	その他	187	16.0	7.5	11.8	9.6	9.1	19.3	29.9	16.6	11.8	15.0	19.3	10.2

2-8 在宅生活の継続のための在宅医療の利用意向

問2(7) あなたは、在宅医療（通院が困難な方の自宅に医師が訪問して行う医療）を利用して、自宅での生活を継続したいと思いますか。（○は1つ）

n=413

在宅医療を利用して在宅生活を継続したいと「思う」人は、51.3%となっています。
要介護度別でみると、要介護4・5では「思う」が他の介護度よりも高くなっています。



単位：%

		件数	思う	思わない	無回答
全体		413	51.3	33.4	15.3
要介護度	要介護1	117	47.0	36.8	16.2
	要介護2	155	47.7	39.4	12.9
	要介護3	68	52.9	33.8	13.2
	要介護4	49	69.4	10.2	20.4
	要介護5	19	63.2	15.8	21.1
世帯	単身世帯	90	48.9	36.7	14.4
	夫婦のみ世帯	128	53.1	28.1	18.8
	その他	187	52.9	35.8	11.2

2-9 在宅医療を利用したいと思わない理由

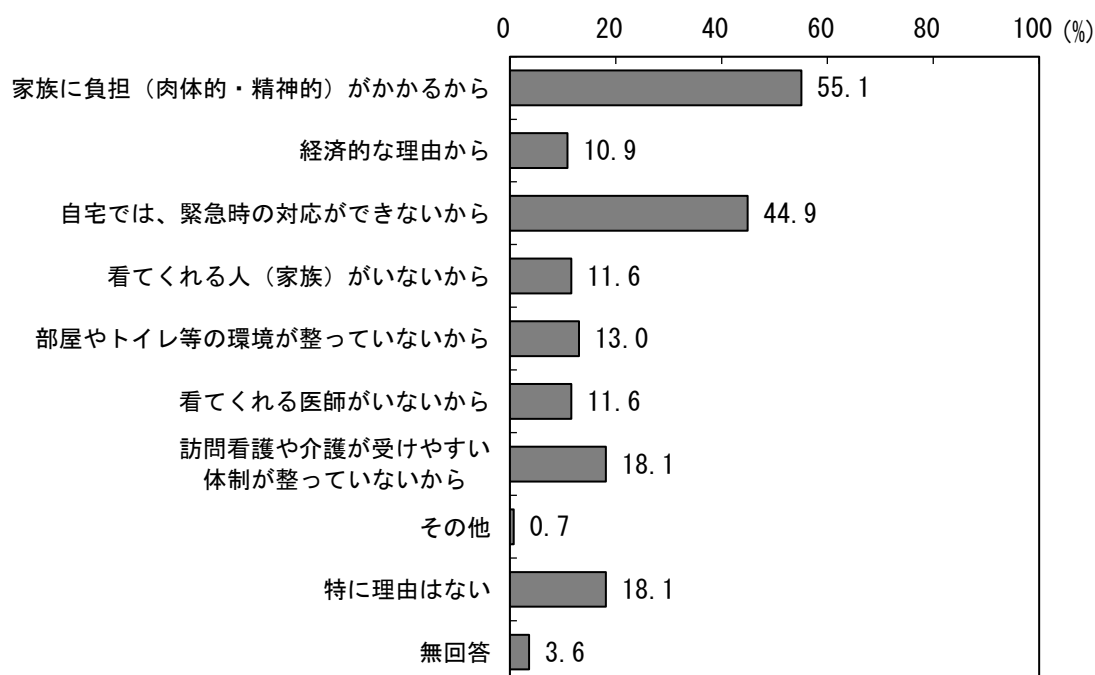
(問2(7)で「2 思わない」を選んだ方に)

問2(7)-①在宅医療を利用したいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

n=138

在宅医療を利用したいと思わない理由は、「家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから」(55.1%)が最も高く、次いで「自宅では、緊急時の対応ができないから」(44.9%)、「訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから」(18.1%)となっています。

世帯別でみると、単身世帯では「見てくれる人(家族)がいないから」が、夫婦のみ世帯では「訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから」が他の世帯よりも高くなっています。



単位: %

	件数	家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから	経済的な理由から	自宅では、緊急時の対応ができないから	見てくれる人(家族)がいないから	部屋やトイレ等の環境が整っていないから	見てくれる医師がいないから	訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから	その他	特に理由はない	無回答	
全体	138	55.1	10.9	44.9	11.6	13.0	11.6	18.1	0.7	18.1	3.6	
要介護度	要介護1	43	44.2	9.3	30.2	4.7	9.3	4.7	7.0	2.3	25.6	7.0
	要介護2	61	59.0	11.5	52.5	13.1	16.4	14.8	21.3	0.0	13.1	3.3
	要介護3	23	65.2	8.7	47.8	8.7	8.7	4.3	21.7	0.0	17.4	0.0
	要介護4	5	60.0	20.0	60.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	要介護5	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
世帯	単身世帯	33	54.5	12.1	42.4	21.2	15.2	9.1	15.2	3.0	12.1	0.0
	夫婦のみ世帯	36	44.4	16.7	47.2	8.3	8.3	16.7	27.8	0.0	27.8	5.6
	その他	67	59.7	7.5	44.8	9.0	14.9	9.0	14.9	0.0	16.4	4.5

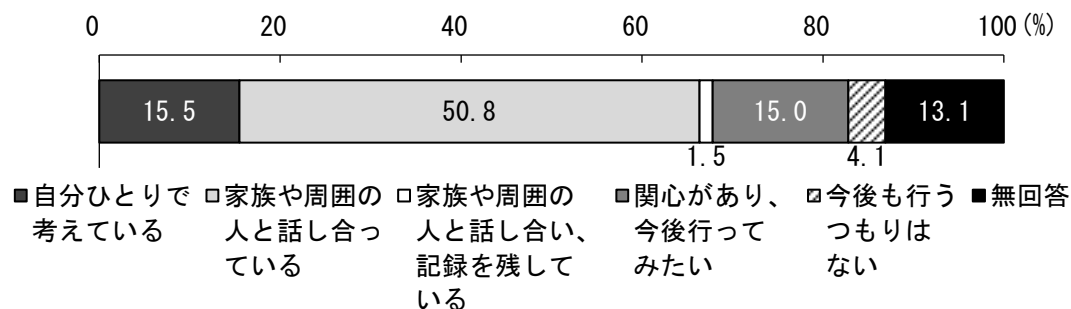
2-10 人生会議の実施状況

問2(8) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、話し合うこと(人生会議)を行っていますか。(○は1つ)

n=413

人生会議の実施状況は、「自分ひとりで考えている」(15.5%)、「家族や周囲の人と話し合っている」(50.8%)、「家族や周囲の人と話し合い、記録を残している」(1.5%)、「関心があり、今後行ってみたい」(15.0%)となっており、これらを合わせると82.8%となっています。

世帯別で見ると、単身世帯では「自分ひとりで考えている」が他の世帯よりも高く、「関心があり、今後行ってみたい」が他の世帯よりも低くなっています。



単位：%

		件数	自分ひとりで考えている	家族や周囲の人と話し合っている	家族や周囲の人と話し合い、記録を残している	関心があり、今後行ってみたい	今後も行うつもりはない	無回答
全体		413	15.5	50.8	1.5	15.0	4.1	13.1
要介護度	要介護1	117	21.4	44.4	0.9	14.5	3.4	15.4
	要介護2	155	15.5	49.7	1.9	14.2	2.6	16.1
	要介護3	68	8.8	60.3	0.0	16.2	11.8	2.9
	要介護4	49	10.2	57.1	2.0	20.4	0.0	10.2
	要介護5	19	15.8	47.4	5.3	10.5	5.3	15.8
世帯	単身世帯	90	26.7	53.3	0.0	7.8	2.2	10.0
	夫婦のみ世帯	128	11.7	51.6	2.3	13.3	6.3	14.8
	その他	187	13.4	49.2	1.1	19.8	3.7	12.8

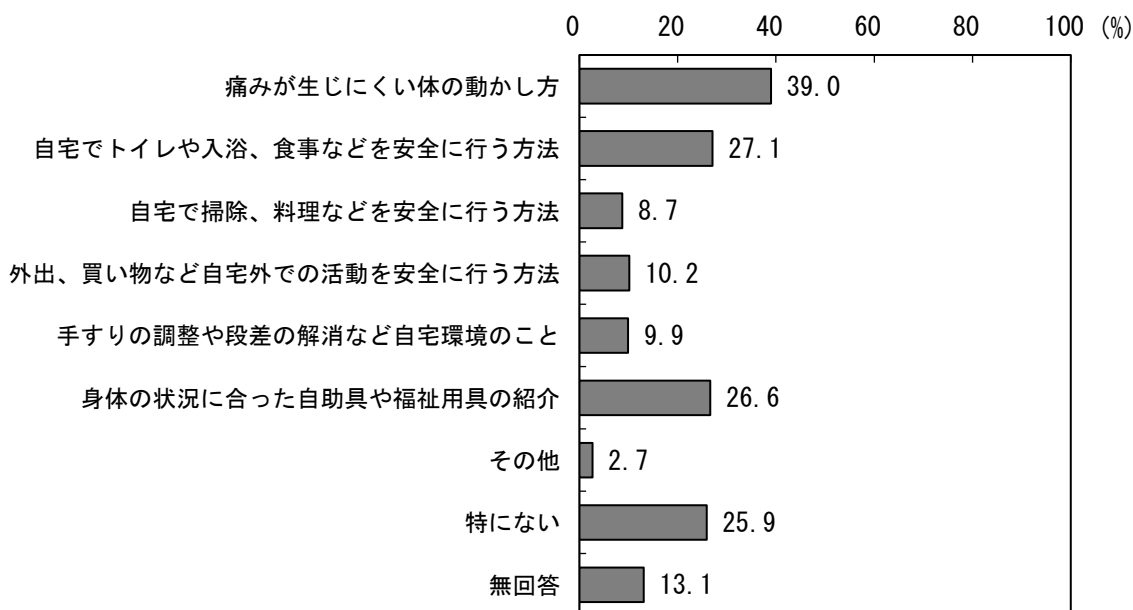
2-11 リハビリ専門職からの助言・支援

問2(9) リハビリ専門職からどのような助言・支援を受けたいですか。(〇はいくつでも)

n=413

リハビリ専門職から受けたい助言・支援は、「痛みが生じにくい体の動かし方」(39.0%)が最も高く、次いで「自宅でトイレや入浴、食事などを安全に行う方法」(27.1%)、「身体状況に合った自助具や福祉用具の紹介」(26.6%)となっています。

要介護度別で見ると、要介護2～4では「自宅でトイレや入浴、食事などを安全に行う方法」「身体状況に合った自助具や福祉用具の紹介」が他の要介護度よりも高くなっています。



単位：%

	件数	痛みが生じにくい	自宅でトイレや入浴、食事などを安全に行う方法	自宅で掃除、料理などを安全に行う方法	外出、買い物を安全に行う方法	手すりの調整や段差の解消など自宅環境のこと	身体状況に合った自助具や福祉用具の紹介	その他	特になし	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
全体	413	39.0	27.1	8.7	10.2	9.9	26.6	2.7	25.9	13.1	
要介護度	要介護1	117	34.2	16.2	8.5	12.8	6.0	17.1	1.7	35.9	12.0
	要介護2	155	40.0	27.7	7.1	10.3	9.7	30.3	3.2	22.6	14.8
	要介護3	68	42.6	35.3	8.8	10.3	8.8	32.4	2.9	20.6	10.3
	要介護4	49	40.8	40.8	14.3	6.1	24.5	34.7	2.0	20.4	16.3
	要介護5	19	31.6	15.8	0.0	0.0	0.0	15.8	5.3	31.6	10.5

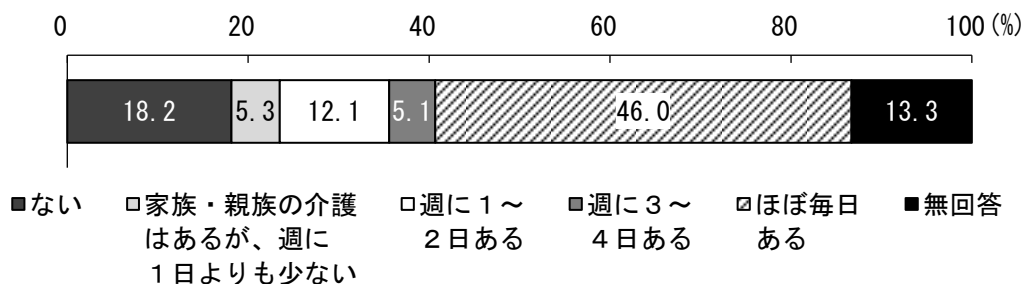
2-12 家族介護の頻度

問2 (10) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

n=413

家族・親族からの介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」（46.0%）が最も高くなっています。また、「ない」は18.2%となっています。

世帯別で見ると、単身世帯では「ない」が24.4%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」が23.3%、「ほぼ毎日ある」が20.0%となっています。



単位：%

		件数	ない	週に1～2日あるが、 家族・親族の介護は 少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体		413	18.2	5.3	12.1	5.1	46.0	13.3
要介護度	要介護1	117	23.9	6.8	10.3	6.0	35.9	17.1
	要介護2	155	15.5	7.1	11.0	5.8	47.7	12.9
	要介護3	68	17.6	1.5	17.6	1.5	55.9	5.9
	要介護4	49	8.2	2.0	14.3	8.2	53.1	14.3
	要介護5	19	31.6	0.0	10.5	0.0	42.1	15.8
世帯	単身世帯	90	24.4	11.1	23.3	10.0	20.0	11.1
	夫婦のみ世帯	128	21.1	3.1	12.5	4.7	41.4	17.2
	その他	187	13.9	3.2	7.0	3.2	63.1	9.6

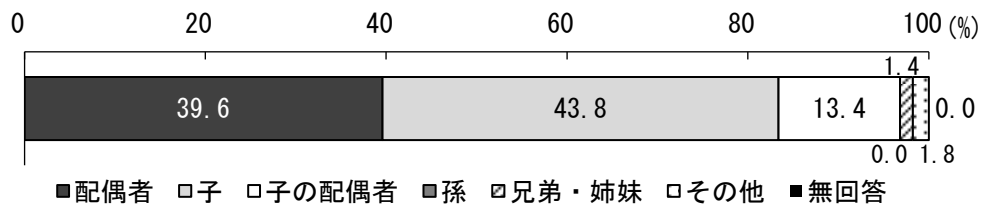
3 主な介護者の方について《介護者への質問》

3-1 主な介護者の続柄

問3 (1) 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(○は1つ)

n=283

主な介護者は、「子」(43.8%)が最も高く、次いで「配偶者」(39.6%)、「子の配偶者」(13.4%)が高くなっています。

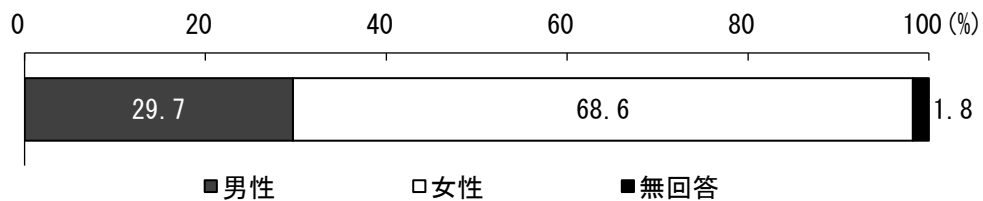


3-2 主な介護者の性別

問3 (2) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

n=283

主な介護者の性別は、「男性」が29.7%、「女性」が68.6%で、女性の割合が男性の約2倍となっています。



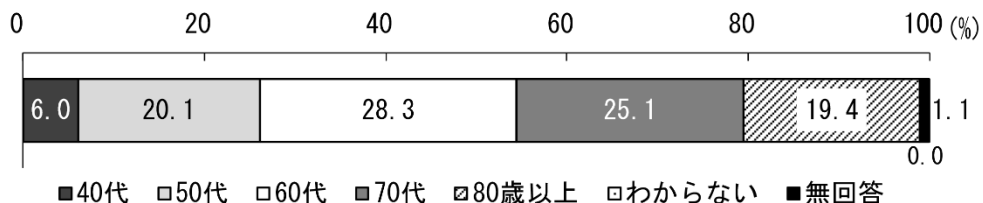
3-3 主な介護者の年齢

問3 (3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

n=283

主な介護者の年齢は、「60代」(28.3%)が最も高く、次いで「70代」(25.1%)、「50代」(20.1%)が高くなっています。『70歳以上』(「70代」「80歳以上」の計)が44.5%を占めています。

本人が85歳以上で介護者が「80歳以上」の方は20.5%となっています。



単位：%

		件数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		283	0.0	0.0	0.0	6.0	20.1	28.3	25.1	19.4	0.0	1.1
本人の年齢	65～74歳	32	0.0	0.0	0.0	15.6	0.0	25.0	46.9	6.3	0.0	6.3
	75～84歳	97	0.0	0.0	0.0	9.3	29.9	3.1	35.1	22.7	0.0	0.0
	85歳以上	151	0.0	0.0	0.0	2.0	18.5	44.4	13.9	20.5	0.0	0.7

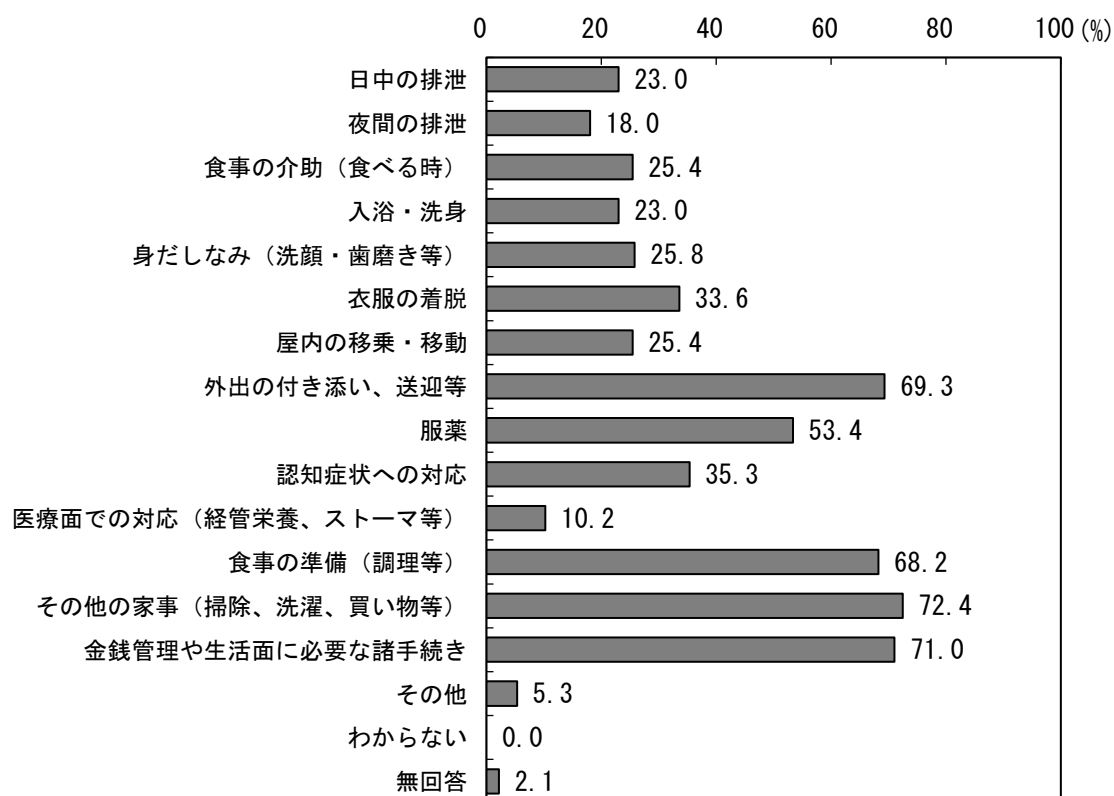
3-4 現在行っている介護

問3(4) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はい、くつでも)

n=283

主な介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」(72.4%)が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(71.0%)、「食事の準備（調理等）」(68.2%)と生活援助の項目が高くなっています。身体介護の項目では、「外出の付き添い、送迎等」(69.3%)、「服薬」(53.4%)、「衣服の着脱」(33.6%)、「認知症状への対応」(35.3%)が3割以上と高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が上がるにつれて、排泄、食事、入浴といったADL項目が高くなっていますが、調理、金銭管理などの生活支援項目は、どの要介護度でも高くなっています。



単位：%

		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		283	23.0	18.0	25.4	23.0	25.8	33.6	25.4	69.3	53.4	35.3
要介護度	要介護1	69	5.8	7.2	13.0	11.6	8.7	20.3	11.6	69.6	53.6	50.7
	要介護2	111	16.2	11.7	20.7	26.1	20.7	27.0	17.1	73.9	47.7	27.0
	要介護3	52	36.5	15.4	32.7	21.2	30.8	44.2	36.5	65.4	48.1	34.6
	要介護4	38	47.4	50.0	44.7	36.8	57.9	60.5	55.3	73.7	73.7	31.6
	要介護5	10	60.0	60.0	60.0	30.0	60.0	50.0	40.0	30.0	70.0	40.0
		件数	栄養、医療面での対応（経管 ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、他の家事（掃除、 買い物等）	必要な諸手続き 生活面に	その他	わからない	無回答			
全体		283	10.2	68.2	72.4	71.0	5.3	0.0	2.1			
要介護度	要介護1	69	5.8	60.9	71.0	72.5	5.8	0.0	2.9			
	要介護2	111	10.8	64.9	70.3	67.6	8.1	0.0	2.7			
	要介護3	52	9.6	71.2	76.9	71.2	3.8	0.0	0.0			
	要介護4	38	13.2	84.2	76.3	81.6	0.0	0.0	2.6			
	要介護5	10	30.0	80.0	70.0	60.0	0.0	0.0	0.0			

3-5 不安を感じる介護

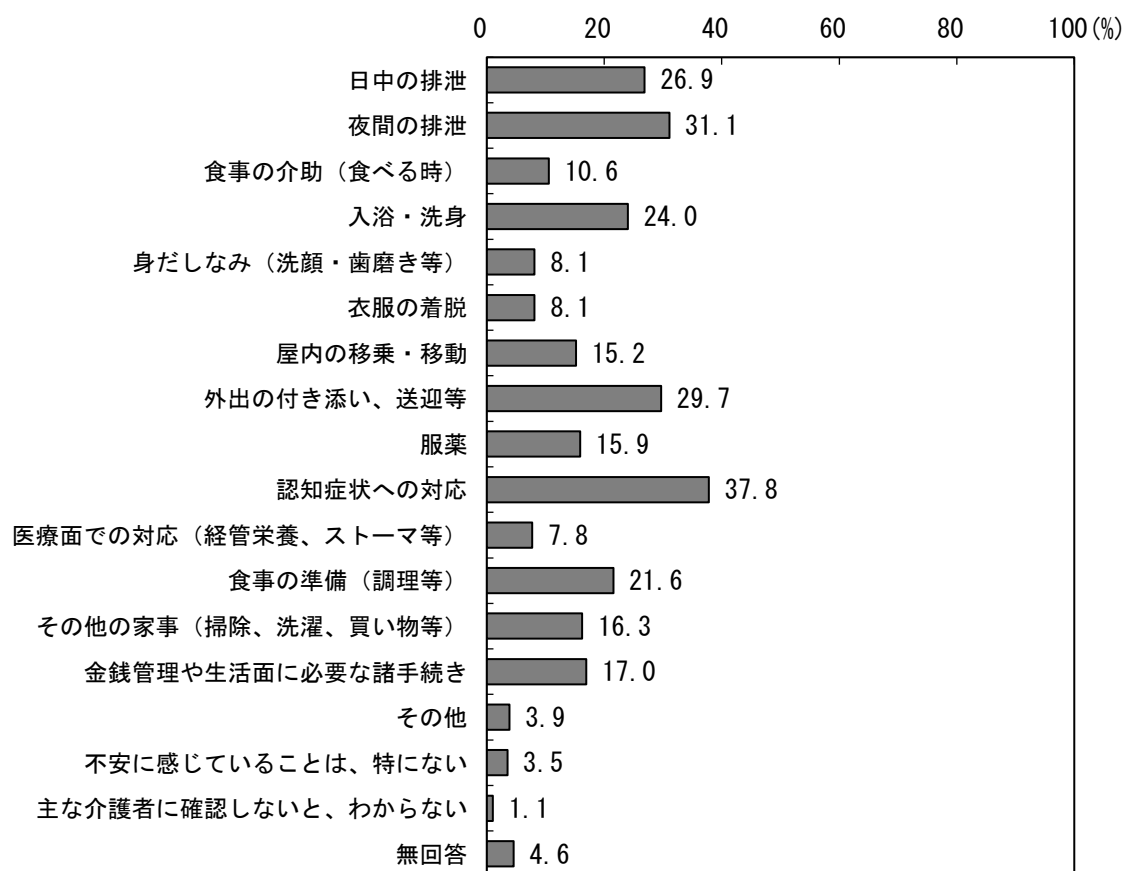
問3(5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(〇は3つまで)

n=283

在宅生活の継続にあたり、主な介護者が不安を感じる介護は、「認知症状への対応」が37.8%で最も高く、次いで「夜間の排泄」(31.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(29.7%)、「日中の排泄」(26.9%)が高くなっています。

要介護度が上がるにつれて「日中の排泄」「夜間の排泄」は高くなっています。

前回調査と比べると、「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」「その他の家事」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」などの不安が増加しています。



単位：%

		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		283	26.9	31.1	10.6	24.0	8.1	8.1	15.2	29.7	15.9	37.8
要介護度	要介護1	69	18.8	24.6	2.9	20.3	5.8	2.9	8.7	26.1	26.1	49.3
	要介護2	111	25.2	31.5	12.6	26.1	9.9	8.1	16.2	34.2	13.5	31.5
	要介護3	52	28.8	26.9	15.4	23.1	5.8	13.5	15.4	30.8	13.5	44.2
	要介護4	38	36.8	39.5	10.5	23.7	7.9	10.5	26.3	26.3	7.9	28.9
	要介護5	10	50.0	50.0	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
		件数	医療面での対応 (栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	不安に感じて いることは、特 にない	主な介護者に 確認し、わか らない	無回答		
全体		283	7.8	21.6	16.3	17.0	3.9	3.5	1.1	4.6		
要介護度	要介護1	69	5.8	18.8	15.9	14.5	1.4	5.8	1.4	4.3		
	要介護2	111	7.2	24.3	18.0	16.2	3.6	2.7	0.9	5.4		
	要介護3	52	7.7	25.0	15.4	23.1	7.7	3.8	1.9	1.9		
	要介護4	38	13.2	15.8	15.8	15.8	5.3	2.6	0.0	7.9		
	要介護5	10	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

単位：%

		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、 送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (栄養、ストーマ等)
今回調査 (R4)		283	26.9	31.1	10.6	24.0	8.1	8.1	15.2	29.7	15.9	37.8	7.8
前回調査 (R1)		329	24.9	32.2	12.2	25.2	1.5	6.1	10.9	24.9	8.5	31.3	4.3
		件数	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活 面に必要な諸 手続き	その他	不安に感じて いることは、 特にない	主な介護者に 確認し、わか らない	無回答				
今回調査 (R4)		283	21.6	16.3	17.0	3.9	3.5	1.1	4.6				
前回調査 (R1)		329	14.3	9.4	11.6	5.2	0.3	0.0	5.5				

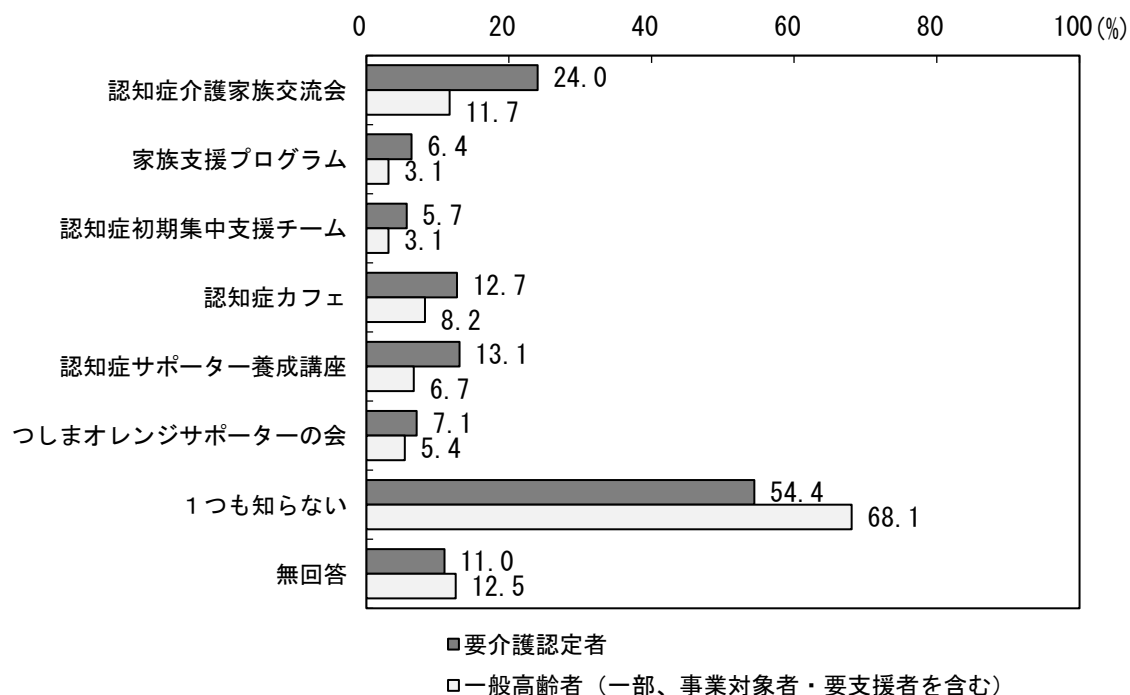
3-7 津島市の認知症施策の認知度

問3 (7) 認知症に関する以下の取組について知っていますか。(〇はいくつでも)

n=283

津島市の認知症施策について知っているものは、「認知症介護家族交流会」(24.0%)、「認知症サポーター養成講座」(13.1%)の順で高くなっています。なお、「1つも知らない」が54.4%となっています。

一般高齢者(再掲:介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の対象者)と比べると、「認知症介護家族交流会」などで認知度が高くなっています。



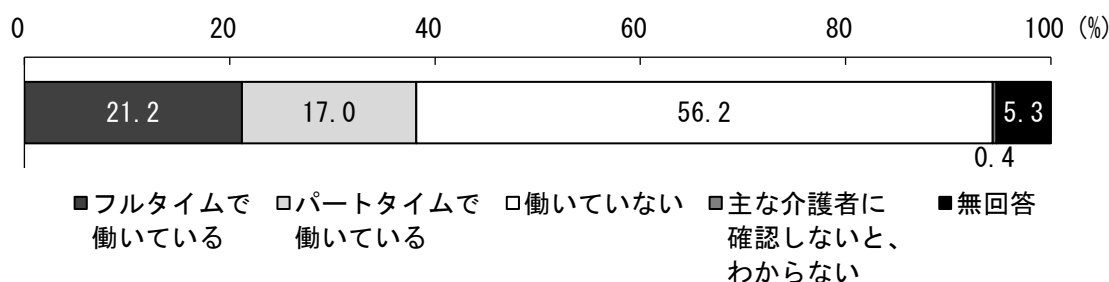
4 主な介護者の就労について《介護者への質問》

4-1 主な介護者の勤務形態

問4(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

n=283

主な介護者の現在の勤務形態は、『働いている』（「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の計）は38.2%となっています。一方、「働いていない」は56.2%となっています。



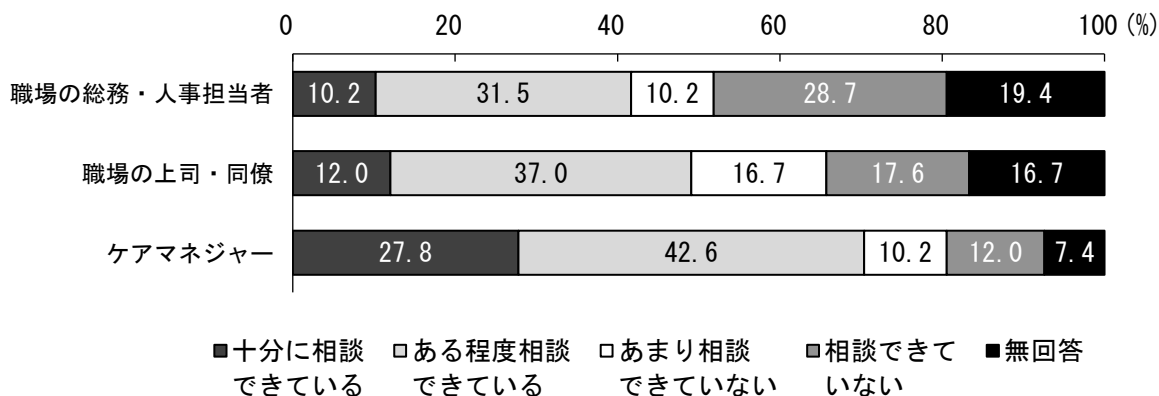
4-2 仕事と介護の両立に関する相談状況

(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)

問4(1)-① 主な介護者の方は、仕事と介護の両立について次の人と相談していますか。(○はそれぞれ1つ)

n=108

仕事と介護の両立についての相談状況について、『相談できていない』（「相談できていない」「あまり相談できていない」の計）は、「職場の総務・人事担当者」が38.9%、「職場の上司・同僚」が34.3%、「ケアマネジャー」が22.2%となっています。



単位：%

	件数	職場の総務・人事担当者	職場の上司・同僚	ケアマネジャー	
全体	108	38.9	34.3	22.2	
要介護度	要介護1	29	37.9	31.0	17.2
	要介護2	46	37.0	32.6	28.3
	要介護3	21	47.6	42.9	19.0
	要介護4	12	33.3	33.3	16.7
	要介護5	0	0.0	0.0	0.0

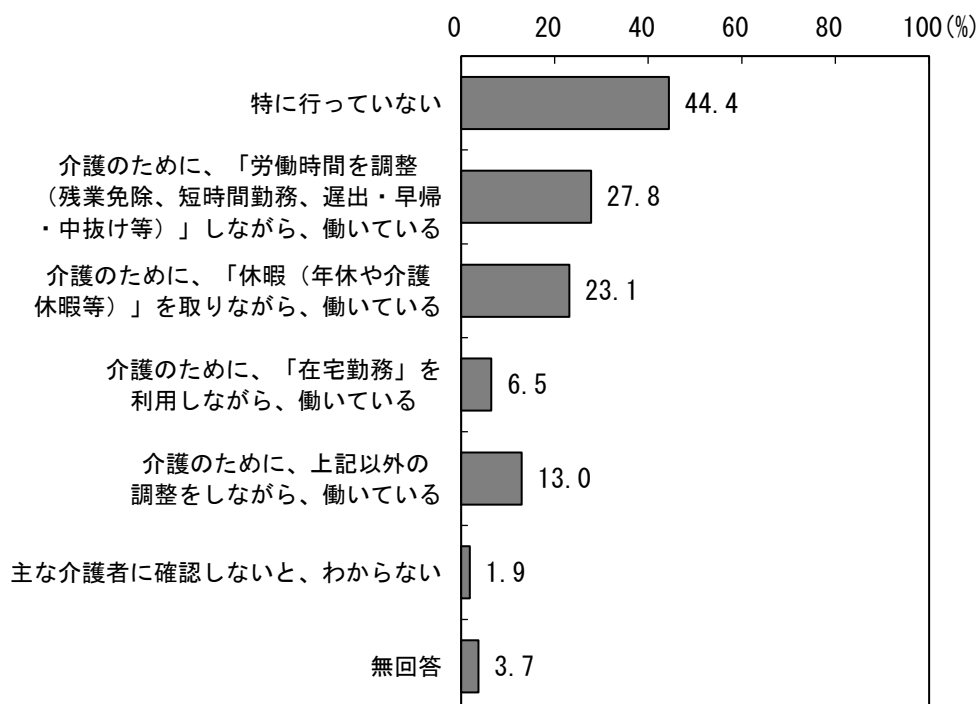
4-3 働き方の調整状況

(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)

問4(1)-②主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(〇はいくつでも)

n=108

主な介護者の働き方の調整については、「特に行っていない」(44.4%)が最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」(27.8%)、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」(23.1%)となっています。



4-4 仕事と介護の両立について、今後の見込み

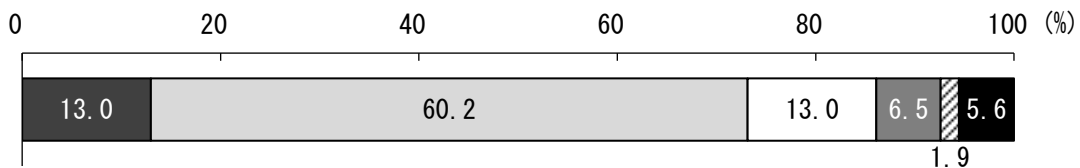
(問4(1)で「1 フルタイムで働いている」または「2 パートタイムで働いている」を選んだ方に)

問4(1)-③主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

n=108

主な介護者の就労継続の可否に係る意識は、『続けていける』(「問題はあるが、何とか続けていける」「問題なく、続けていける」の計)は73.2%となっています。一方、『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計)は19.5%となっています。

前回調査と比べると、「続けていくのは、かなり難しい」がやや減少しています。



問題なく、続けていける
 問題はあるが、何とか続けていける
 続けていくのは、やや難しい
 続けていくのは、かなり難しい
 主な介護者に確認しないと、わからない
 無回答

単位：%

		件数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	やや難しい	かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		108	13.0	60.2	13.0	6.5	1.9	5.6
要介護度	要介護1	29	17.2	75.9	3.4	3.4	0.0	0.0
	要介護2	46	13.0	63.0	8.7	4.3	4.3	6.5
	要介護3	21	4.8	42.9	28.6	14.3	0.0	9.5
	要介護4	12	16.7	41.7	25.0	8.3	0.0	8.3
	要介護5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：%

		件数	問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	やや難しい	かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
今回調査 (R4)		283	13.0	60.2	13.0	6.5	1.9	5.6
前回調査 (R1)		119	14.3	58.8	12.6	10.1	1.7	2.5

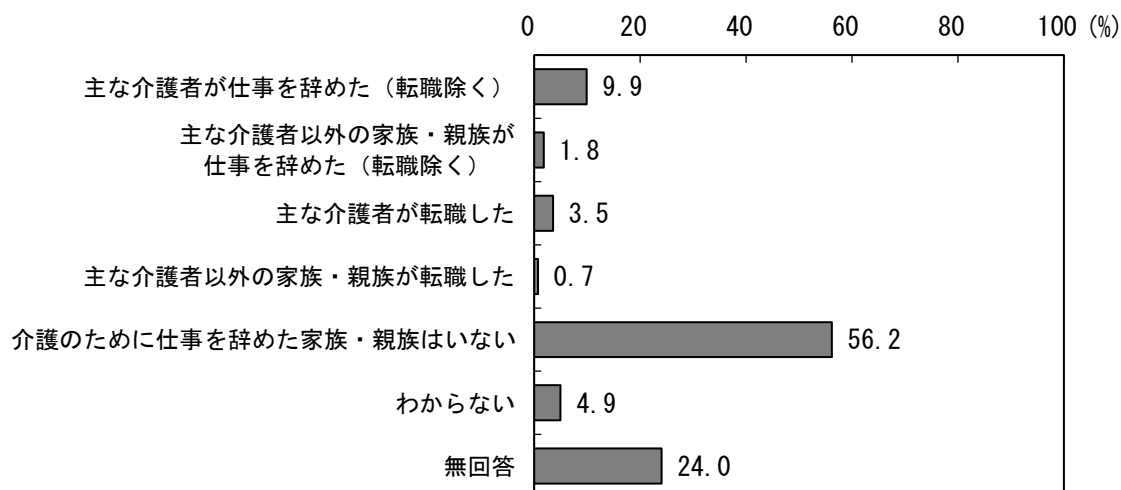
4-5 介護を理由とした家族等の離職の有無

問4(2) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)

n=283

過去1年間に介護離職の状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.2%で最も高く、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は9.9%、「主な介護者が転職した」は3.5%となっています。

前回調査と比べると、概ね同様となっています。



		単位: %						
	件数	辞めた介護者が仕事を (転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が 仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の 家族・親族が転職した	介護のために仕事を 辞めた家族・親族 はいない	わからない	無回答
今回調査 (R4)	283	9.9	1.8	3.5	0.7	56.2	4.9	24.0
前回調査 (R1)	329	7.3	1.8	1.5	0.0	58.4	2.4	28.6

4-6 介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問4(3) その他、主な介護者の方からの介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

介護・高齢者福祉に対して、下記のような意見・要望を79件いただきました。

No	内容	件数
1	在宅介護について	33
2	相談・情報提供について	8
3	施設サービスについて	8
4	認知症について	7
5	経済的負担について	4
6	移動・交通について	3
7	高齢者福祉全般について	6
8	その他	10

1 在宅介護について

○在宅介護の状況

- 老老介護で負担が大きく、今後が心配である。(6件)
- 現在、長期入院療養中。ケアマネジャーの対応も早く、サービスも利用施設数もよくあり、津島市は高齢者でも住みやすいと感じている。
- 親、配偶者の介護は基本的には当事者ができることである。その認識が欠如、役所任せになりがちである。時代とはいえ、親の面倒を見ない姿勢が蔓延すると敬う気持ちがなくなり、決していい社会にならないのではないかと。
- 娘2人で介護している。2人とも大阪に住んでおり距離があるため大変だが、デイサービスを利用し、助けてもらいながら母は日々過ごしている。今後、ゴミ出し等も出来なくなると思う。
- 介護者の急な体調不良や、本人が急変したときなど、おそらく連絡が出来ないので不安。
- 介護者の基礎疾患や家族の障がい、基礎疾患により、本人の介護だけに力を注ぐことが困難。介護者を社会が支え続ける仕組みをよりよく継続してほしいと思う。心の負担が軽くなれば、穏やかに今の暮らしを続けられるような気がする。
- 介護者を介護する負担は、徐々に大きくなっているが、デイサービス、ショートステイを利用しながら何とかしのいでいる。今後、要介護度が進行していくのが不安。
- 介護の年数が長くなると、介護認定も何度も変わり状況もいろいろなので、負担に思う気持ちが強くなってきている。
- 金銭がかかるので補助があれば助かる。主に、おしめ、とろみ、食事面です。数日間旅行に行くなどの連続した自由時間がほしい。
- コロナ感染も心配なため、在宅医療が充実できたらよいと思う。状態が安定したら定期受診はリモートでも可能になるとよい。
- 本人は言葉が出ないが、自宅で家族の顔を見て過ごしている時は幸せそうだ。介護しているこちらは体力的に不安がある。
- 妻が認知症のため、こちらの言う事を聞かなく困っている。週1回の訪問看護師の注射(糖尿病)や食事の見守りも、自分で出来るからいらないうい張り、困る。
- 同居の嫁(60歳すぎ)がパートしながら介護している。ケアマネジャーと相談しながらショートステイ、訪問看護を受けているが、認知症の義父の面倒を見続けているのは大変。か

わいそうだとは思いますが、自分のための時間がほしい。

- なるべく自宅で見送りたいと思うが、どうしても難しくなった時、施設にすぐに入れるとよい。
- 夫婦二人で生活しているが寂しいので、週1回でいいので子供たちの顔が見られたらと思う。

○在宅サービス

- 今のところケアマネジャーがサポートしてくれているのでよい。
- 現在は長期間ショートステイを利用させてもらえたので大変助かっている。
- コロナ禍でも利用できる介護タクシーを手配してほしい。感染リスクを理由に介護サービス提供を拒否され、施設変更を余儀なくされた。不当だと思う。
- ショートの日にちをもっと長く1ヶ月間、使えるようにしてもらいたい。
- デイサービス週3回有り。
- デイサービスの回数を増やしてほしい。デイサービスで運動を増やしてほしい。
- デイサービスの利用時間がもう少し遅くまでになればと思う。夕方の帰宅時間が早すぎる。出掛けても夕方までに帰らなければと思いゆっくりできない。
- デイサービスや介護用具など介護保険を利用して、大変助かっている。
- 入浴、散髪、入歯の調整など訪問してもらえるので助かっている。
- ヘルパーが不足しているので増やしてほしい。緊急で病院に行く際、ヘルパーの都合がつかないと、1人では連れて行けない。病院も人手不足でヘルプしてもらえない。市役所の職員が動ける仕組みを作ってほしい。病院同行に介護保険を使えるようにしてほしい。
- 要介護者を2人抱えて、1人はショートステイの長期利用、介護度が軽い方の介護者となんとか自宅で生活ができています。親身になってくれるケアマネジャーや利用しやすい施設、対応してくれる医療関係施設がいつまでも多く存在してほしい。
- 介護タクシー業者の料金やサービスの見直しをしてほしい。
- 介護タクシーの料金を見直してほしい。自由に料金を設定しているので業者によって3倍の金額差がある。介護車両をレンタル、購入時に補助があれば利用したい。

2 相談・情報提供について

- 老いても地域でなるべく変わらない生活が送れるための支援や、その相談ができると良いが、現状では対応も出来ないし時間もなく、難しい。
- 介護者も高齢で、いつ病気になるか、介護を受けることになるかわからない。そうなった時どうしたら良いのかわからない。
- 日中、一人のときに、転倒したり困ったとき、緊急の場合など、どこに連絡したら助けてもらえるのかわからない。
- 老老介護の家庭。何かの時にすぐに相談出来る窓口があればありがたい。
- 介護・高齢者福祉のサービスがよくわからず、どんなサービスがありどこまで受けられるかもわからない。
- 今後、動きにくくなった時、在宅医療を受けられるか、その手続きができるかが不安。往診を受ける方法がわかりにくい。公報で簡単に判りやすく説明してほしい。
- 施設の特徴、紹介等の勉強会を開いてほしい。
- 認知症に関する取組で、現在、津島市で実施されている物について知りたい。

3 施設サービスについて

- 介護施設で働く人間のレベル・知能が低すぎる。もっと可視化しないと人が死ぬ。せめて日

本語を話せる人を雇ってほしい。

- 多発性脊髄腫の父は転倒に対して特に注意をしなくてはならず、自宅介護では不安があり、住宅型有料老人ホームに入居している。費用は安くないが、介護のプロの判断で対処してもらえる期待もある。「特養」の入所待ちをなくす方法を考えてほしい。
- 親が施設に入居している。本人が欲しい物を買って持って行くこともある。
- 住宅型有料老人ホームへ入居中。
- 働きながら介護しているが、精神的にも肉体的にも限界である。特養への入所を希望しているが順番がなかなか回ってこない。すぐに受入れ可能な特養を増してほしい。
- 1人で抱えるのが大変。母に施設に入ってもらっているが、それぞれとコミュニケーションをとるのが大変。私の家族とのコミュニケーションもいろいろ複雑。
- 老人ホームへの入居が難しい。年金の範囲内の料金の所がない。
- 一部の介護スタッフの良かれと思っての対応が、結果的に本人の負担となってしまった。施設担当者がケアマネジャーに相談したが、認知症を理由にされた。トラブルになりやすい対応をもう少し専門職として考えて対応できるよう、知ってほしい。

4 認知症について

- 今は認知症でも物忘れがひどいくらいで健康面などは心配ない。今後、認知症が進行すると自宅での介護は無理になるので施設に入居させる事を考える。
- 認知症の介護は、介護者が精神的にかなり疲れる。もっと気軽にショートステイが安価に利用できるいいと思う。土日祝に利用出来る高齢者の娯楽施設があればいい。
- 認知症介護家族でなくても、介護家族交流会があったらいろいろ体験談など聞きたい。
- 認知症が進行しているが施設の料金が高いのでなかなか入所ができない。
- 認知症のため、急に人格が変わる時があり、介護抵抗が強いため困っている。ヘルパーにも抵抗し、デイサービスやショートステイも利用できない。自宅で介護する時は大変だが、介護保険サービス等の支援があり助かっている。ヘルパー不足で利用しづらい事があるので、増員してくれるとありがたい。
- 認知を疑う症状があるが、本人が嫌がるため病院に連れていけない。本人に知られることなく、症状を観察して診断してほしいが、そのシステムがない。そういった事に対応してほしい。
- 本当の認知症はわからないだろう。

5 経済的負担について

- 3割と負担割合が多くて大変。
- 金銭的援助をしてほしい。
- 母親のみ施設に入所しているが、父も入所することになると資金調達ができるか心配。
- もっといろいろと充実させてあげたいが、本人の年金が少なく、なかなか難しい。

6 移動・交通について

- 医師と話をする時は家族が側にいないと通じないので、いつも3人で行くことになる。そのため、車の運転を他の人に頼み、仕事を休んだりして調整してもらってるので、申し訳ない。予約をする時も相手の都合を考えないといけない。
- 精神障害者手帳3級だが、津島市はタクシーチケット補助がない。現在は名古屋医療センターまで電車と地下鉄で通院しているが、いずれタクシー利用に頼らなければならず経済的負担が大きい。身体障害者手帳と同じように補助してほしい。

- 病院帰りのタクシーがなかなか来ない、1時間待つのがあたり前になっているので、タクシーを増やしてほしい。

7 高齢者福祉全般について

- 介護の仕組みがややこしすぎるように感じる。
- 高齢者を介護している事は役所の方でわかるので、受けられるサービスがある時は、手続き不要ですぐに受けられるととても助かる。
- 老老世帯に目をむけてほしい。
- 介護に伴う安い配食宅配サービスと、その単価をもう少し安くしてほしい。
- 避難所がバリアフリーになっていない。車椅子のための災害の時の避難方法が知りたい。
- 夫婦ともに高齢のため、災害時の移動が大変不安。安心できる制度があるとありがたい。

8 その他

○アンケート

- アンケートがよくわからない。
- 主な介護者の定義がよくわからない。食事の用意や洗濯などは妻がやっているが、主な介護者にした。これらの意見はどこまで反映されるのか。アンケートをとって終わりにならず、成果を目で見て分かるようにしてほしい。
- このアンケートにある質問事項のうち、不安はあるかという項目は、ほぼ全部が不安。
- 現状に則してないため、非常に答えにくいアンケートだった。

○その他

- いつもありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。(娘)
- 主な介護者は夫(80才)。心筋梗塞のため病院へ20年通っている。高齢のため出来ることは少ない。
- 介護が必要になり、今まで通りの生活ができず大変な思いをする中、寄りそってくれる近所の方の存在はとてもありがたい。制度ではカバーしきれない部分は地域のつながりだと感じている。反面、心ない言葉やわざわざ気になったことを記録に残して手紙を送ってくる人もおり、ときどき気持ちが折れることもある。
- 高齢者が交流できるイベントを開催してほしい。高齢者が活躍できるボランティアを増やしてほしい。
- 自宅にこもりがちなので、人と話す場所がほしい
- それぞれの家の事情があるので、それぞれの家族にあったパターンで生活していくしかないと思う。

IV 事業者向けアンケート調査

IV 事業者向けアンケート調査

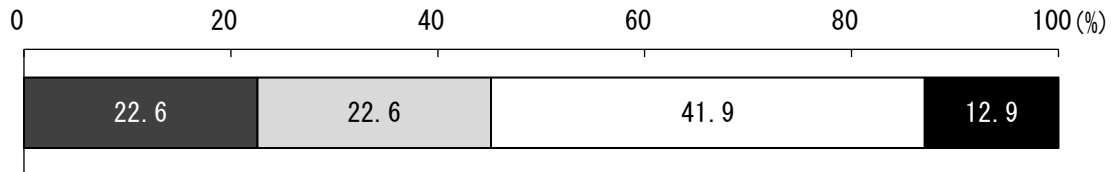
1 サービス整備・提供の意向等について

1-1 サービス提供の状況

問1 (1) 現在、貴法人におけるサービス提供はどのような状況ですか。(○は1つ)

n=31

サービス提供の状況については、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」(41.9%)が最も高く、次いで「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」(22.6%)、「利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある」(22.6%)となっています。



- 職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない
- 利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある
- サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている
- 無回答

1-2 介護サービスの実施状況と実施予定

問1(2) 貴法人における津島市内でのサービス提供の今後の予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

n=31

介護サービスの現在の実施状況をみると、今後、新たに実施予定のサービスは、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が2件、「(介護予防)訪問看護」、「通所介護（デイサービス）」がそれぞれ1件となっています。

今後、定員を変更する予定のサービスは、「(介護予防)福祉用具貸与」、「(介護予防)福祉用具販売」、「通所型サービスA」がそれぞれ2件、「(介護予防)訪問入浴介護」、「(介護予防)訪問看護」がそれぞれ1件となっています。

今後、廃止予定のサービスは、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「地域密着型通所介護」がそれぞれ1件となっています。

サービス種類	回答数（件）		
	新たに実施予定	定員を変更する予定	廃止予定
訪問介護（ホームヘルプサービス）	2	0	1
(介護予防)訪問入浴介護	0	1	0
(介護予防)訪問看護	1	1	0
(介護予防)訪問リハビリテーション	0	0	0
(介護予防)居宅療養管理指導	0	0	0
通所介護（デイサービス）	1	0	0
(介護予防)通所リハビリテーション	0	0	0
(介護予防)短期入所生活介護	0	0	0
(介護予防)短期入所療養介護	0	0	0
(介護予防)特定施設入居者生活介護	0	0	0
(介護予防)福祉用具貸与	0	2	0
(介護予防)福祉用具販売	0	2	0
居宅介護支援	0	0	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0
夜間対応型訪問介護	0	0	0
地域密着型通所介護	0	0	1
(介護予防)認知症対応型通所介護	0	0	0
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	0	0	0
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	0	0
介護老人福祉施設	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0
介護医療院（介護療養型医療施設）	0	0	0
訪問型サービスA	0	0	0
通所型サービスA	0	2	0
その他	0	0	0
特になし	27	25	29
無回答	0	0	0

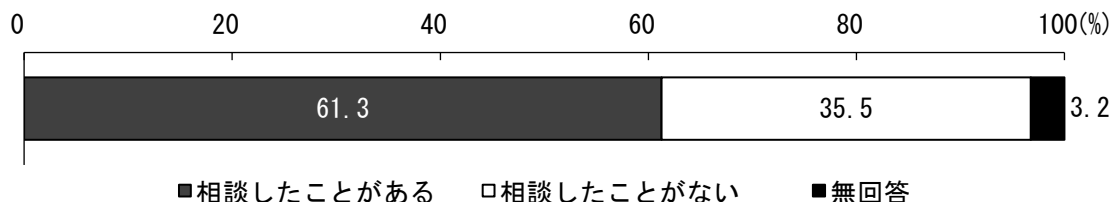
2 地域包括支援センターについて

2-1 地域包括支援センターへ相談について

問2(1) 地域包括支援センターへ相談をしたことがありますか。(○は1つ)

n=31

地域包括支援センターへの相談は、「相談したことがある」(61.3%)、「相談したことがない」(35.5%)となっています。



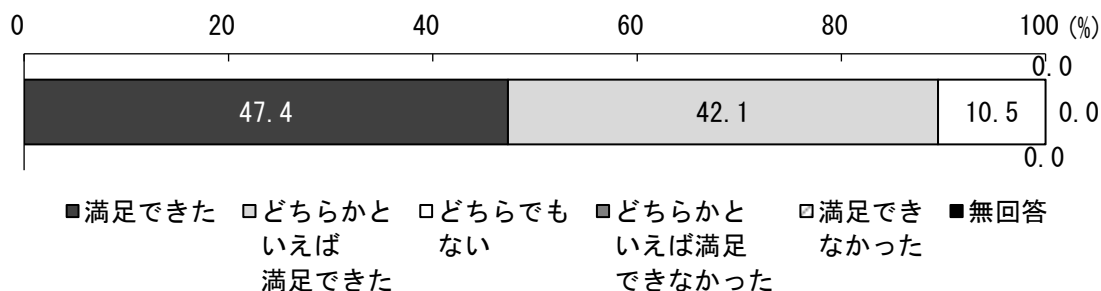
2-2 地域包括支援センターへの相談の満足度

(問2(1)で「2 相談したことがある」を選んだ方に)

問2(1)-①地域包括支援センターへ相談してみてもいいかでしたか。(○は1つ)

n=19

相談した感想は、「満足できた」(47.4%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足できた」(42.1%)、「どちらでもない」(10.5%)となっています。

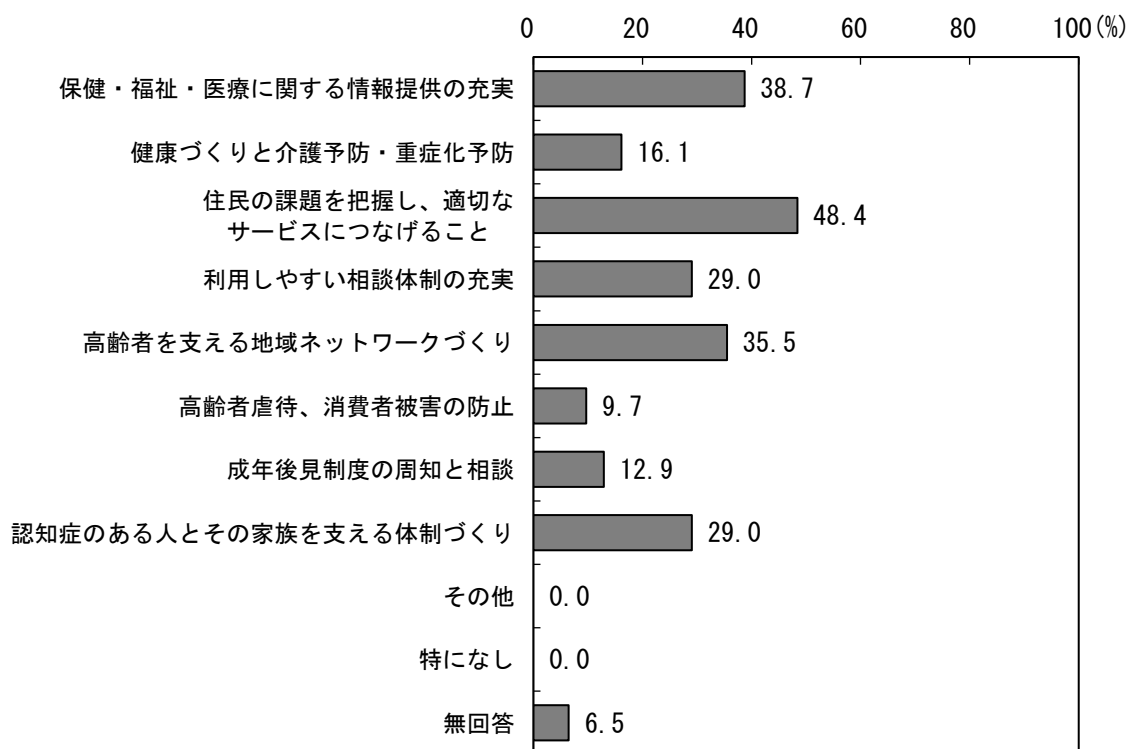


2-3 地域包括支援センターに力を入れてほしい役割

問2(2) 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい役割は何ですか。(〇は3つまで)

n=31

地域包括支援センターに特に力を入れてほしい役割は、「住民の課題を把握し、適切なサービスにつなげること」(48.4%)が最も高く、次いで「保健・福祉・医療に関する情報提供の充実」(38.7%)、「高齢者を支える地域ネットワークづくり」(35.5%)となっています。



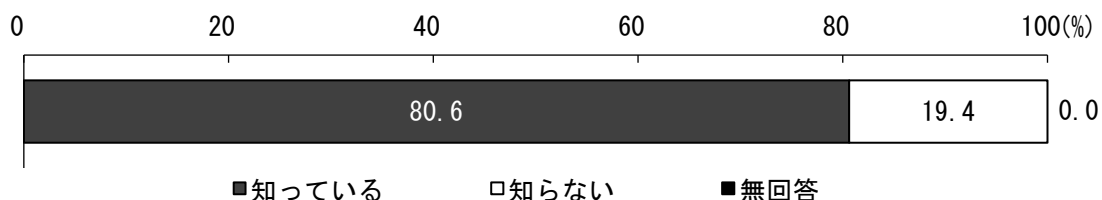
3 介護相談窓口・多職種連携について

3-1 生活支援コーディネーター（社協）への相談

問3（1）社会資源に関する相談を生活支援コーディネーター（社協）に相談できることを知っていますか。（○は1つ）

n=31

生活支援コーディネーターに相談できることを、「知っている」（80.6%）、「知らない」（19.4%）となっています。

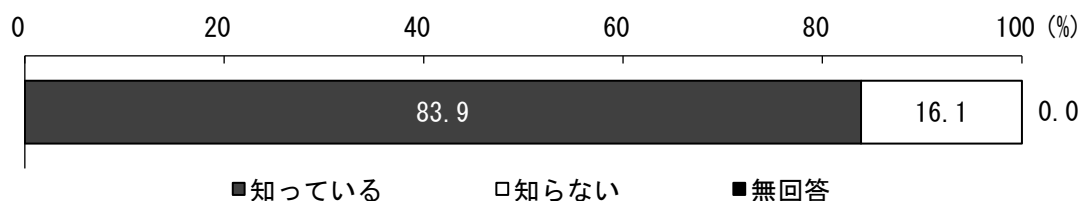


3-2 在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）の知名度

問3（2）海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（あまさぼ）を知っていますか。（○は1つ）

n=31

あまさぼの認知度は、「知っている」（83.9%）、「知らない」（16.1%）となっています。

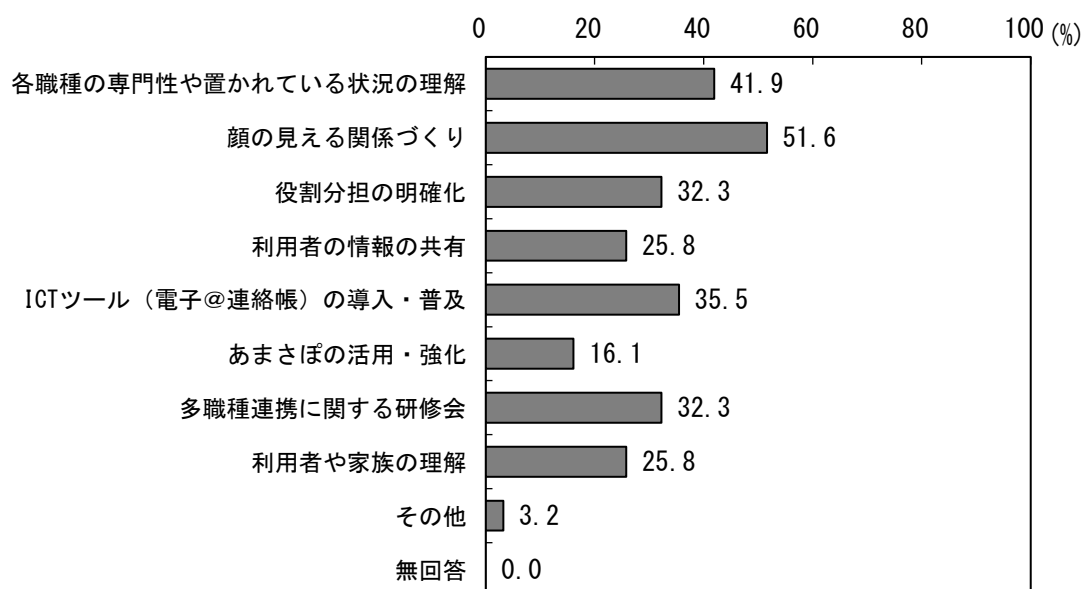


3-3 多職種の連携について

問3 (3) 多職種の連携を進めるために何が重要だと考えますか。(〇は3つまで)

n=31

多職種の連携を進めるために必要なことは、「顔の見える関係づくり」(51.6%)が最も高く、次いで「各職種の専門性や置かれている状況の理解」(41.9%)、「ICTツール(電子@連絡帳)の導入・普及」(35.5%)、「役割分担の明確化」(32.3%)、「多職種連携に関する研修会」(32.3%)となっています。



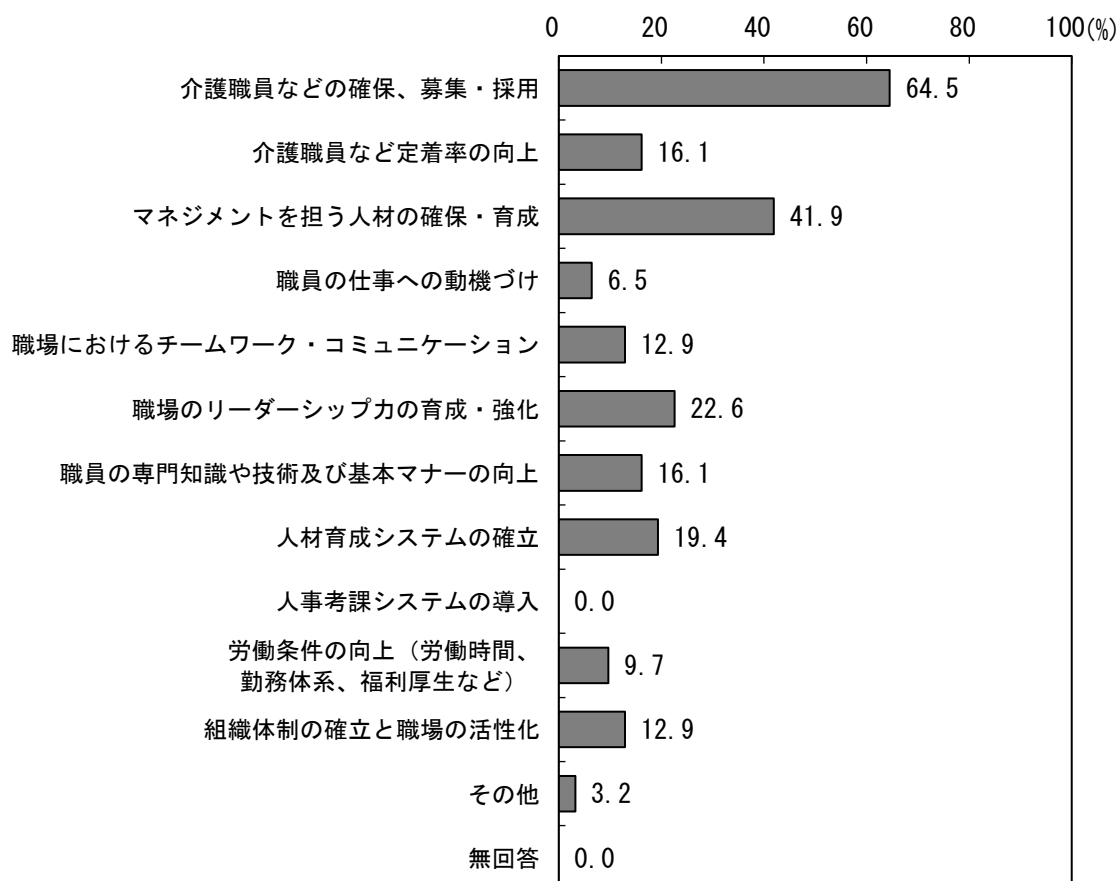
4 人材確保・育成について

4-1 人材マネジメント上、抱えている問題

問4（1）貴法人では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。（〇は3つまで）

n=31

人材マネジメント上で抱えている問題は、「介護職員などの確保、募集・採用」（64.5%）が最も高く、次いで「マネジメントを担う人材の確保・育成」（41.9%）、「職場のリーダーシップ力の育成・強化」（22.6%）となっています。

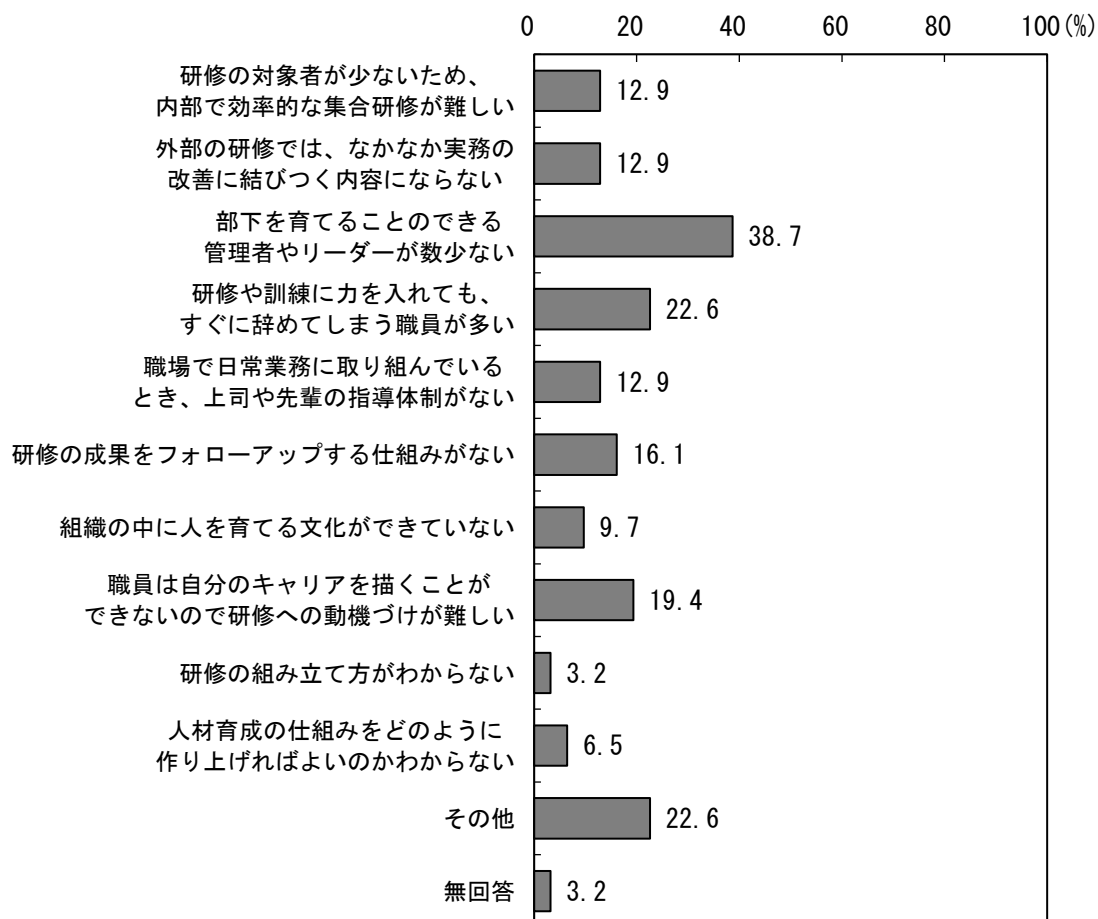


4-2 人材育成に取り組む際の問題点

問4(2) 貴法人では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。
(〇は3つまで)

n=31

人材の育成時の問題点は、「部下を育てることのできる管理者やリーダーが数少ない」(38.7%)が最も高く、次いで「研修や訓練に力を入れても、すぐに辞めてしまう職員が多い」(22.6%)、「職員は自分のキャリアを描くことができないので研修への動機づけが難しい」(19.4%)となっています。

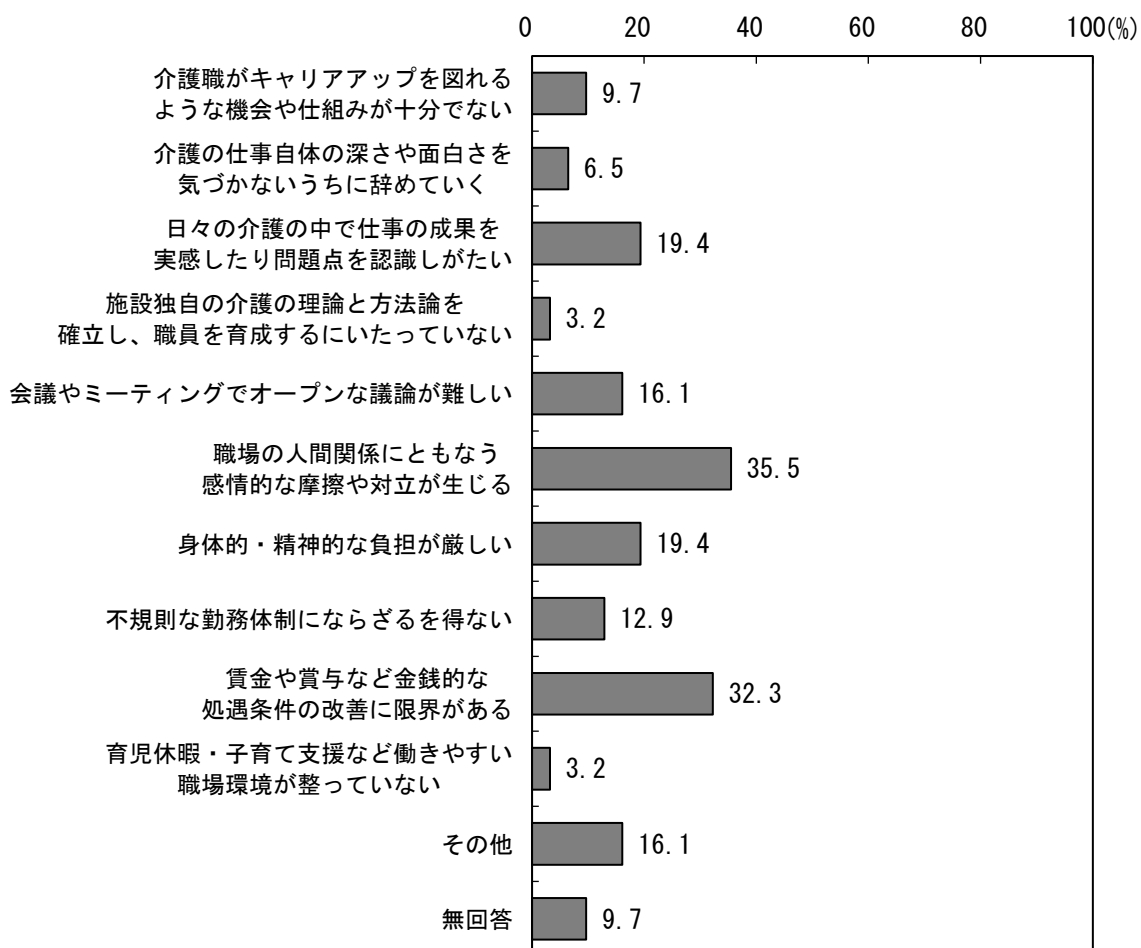


4-3 職員の確保と定着向上の問題点

問4(3) 貴法人では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

n=31

職員の確保と定着向上の問題点は、「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」(35.5%)が最も高く、次いで「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」(32.3%)、「日々の介護の中で仕事の成果を実感したり問題点を認識しがたい」(19.4%)、「身体的・精神的な負担が厳しい」(19.4%)となっています。



5 事業所運営について

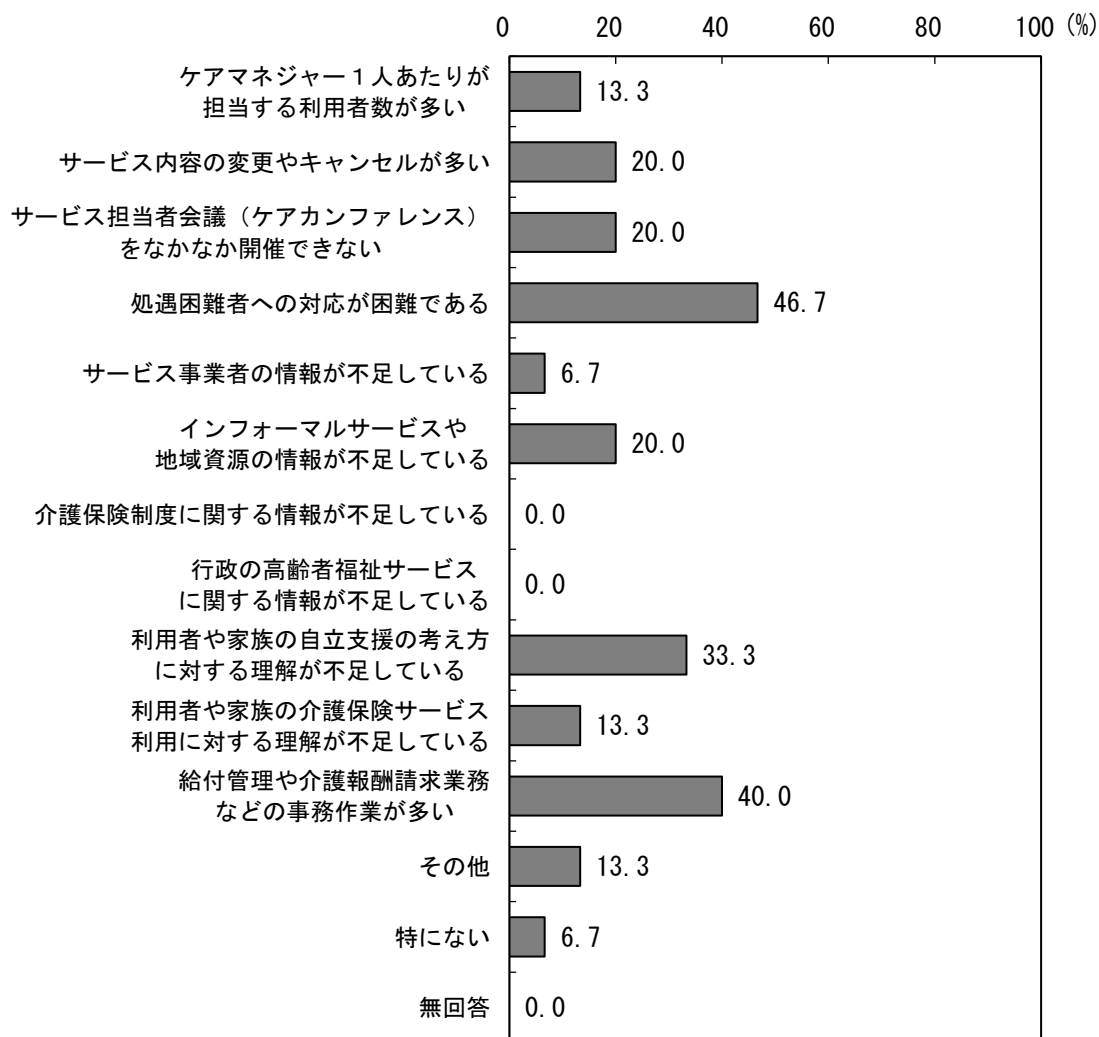
5-1 居宅介護サービス計画作成時の問題点

問5(1) 居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。

居宅介護サービス計画作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

n=15

居宅介護サービス計画作成の際の問題点は、「処遇困難者への対応が困難である」(46.7%)が最も高く、次いで「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」(40.0%)、「利用者や家族の自立支援の考え方に対する理解が不足している」(33.3%)となっています。

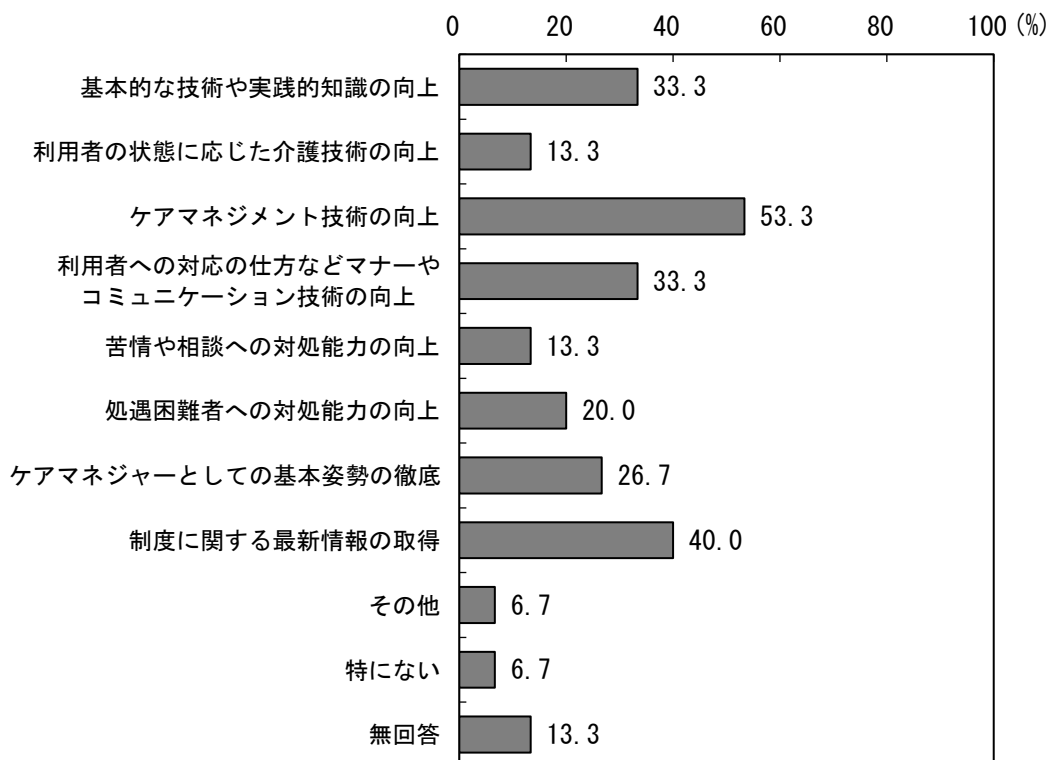


5-2 ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること

問5（2）居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみお聞きします。
 貴法人では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点に重視して取り組んでいますか。（〇は3つまで）

n=15

ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために重視する点は、「ケアマネジメント技術の向上」(53.3%)が最も高く、次いで「制度に関する最新情報の取得」(40.0%)、「基本的な技術や実践的知識の向上」(33.3%)、「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」(33.3%)となっています。



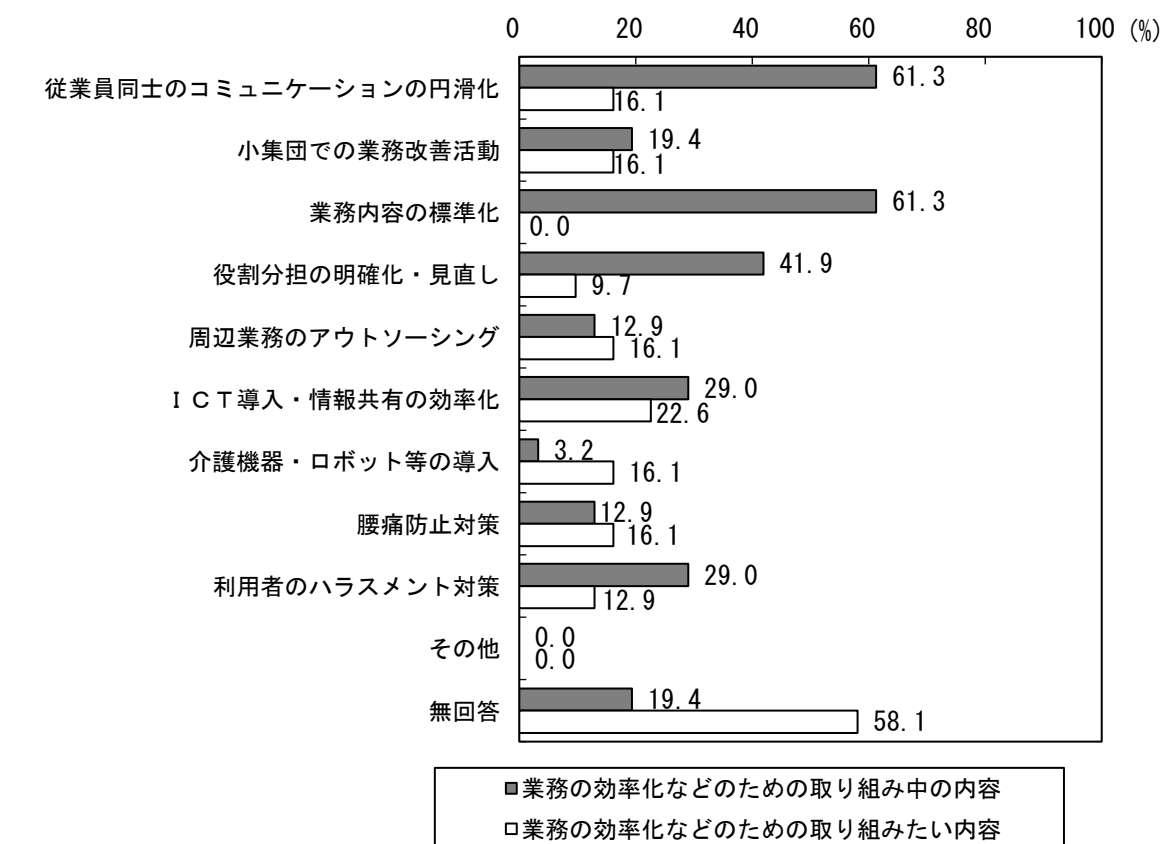
5-3 業務効率化に向けての取り組み

問5(3) 業務の効率化や生産性向上に向けて、すでに取り組んでいるものはありますか。またどのようなことに取り組みたいです。 (あてはまるものすべてに○)

n=31

業務の効率化などのための取り組み中の内容は、「従業員同士のコミュニケーションの円滑化」(61.3%)、「業務内容の標準化」(61.3%)が最も高く、次いで「役割分担の明確化・見直し」(41.9%)となっています。

業務の効率化などのための取り組みたい内容は、「ICT導入・情報共有の効率化」(22.6%)が最も高く、次いで「従業員同士のコミュニケーションの円滑化」(16.1%)、「小集団での業務改善活動」(16.1%)、「周辺業務のアウトソーシング」(16.1%)、「介護機器・ロボット等の導入」(16.1%)、「腰痛防止対策」(16.1%)となっています。

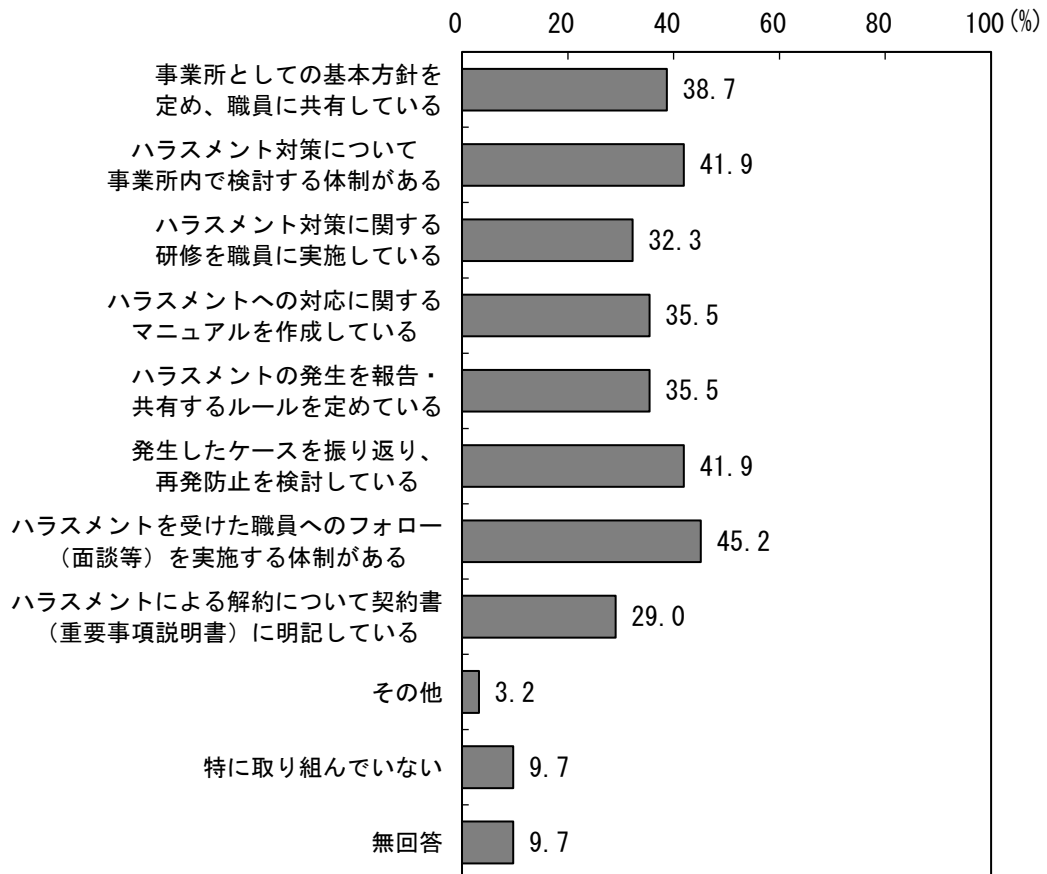


5-4 ハラスメント対策について

問5(4) 利用者等からのハラスメント対策として、どのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

n=31

ハラスメント対策の取組は、「ハラスメントを受けた職員へのフォロー（面談等）を実施する体制がある」（45.2%）が最も高く、次いで「ハラスメント対策について事業所内で検討する体制がある」（41.9%）、「発生したケースを振り返り、再発防止を検討している」（41.9%）、「事業所としての基本方針を定め、職員に共有している」（38.7%）となっています。

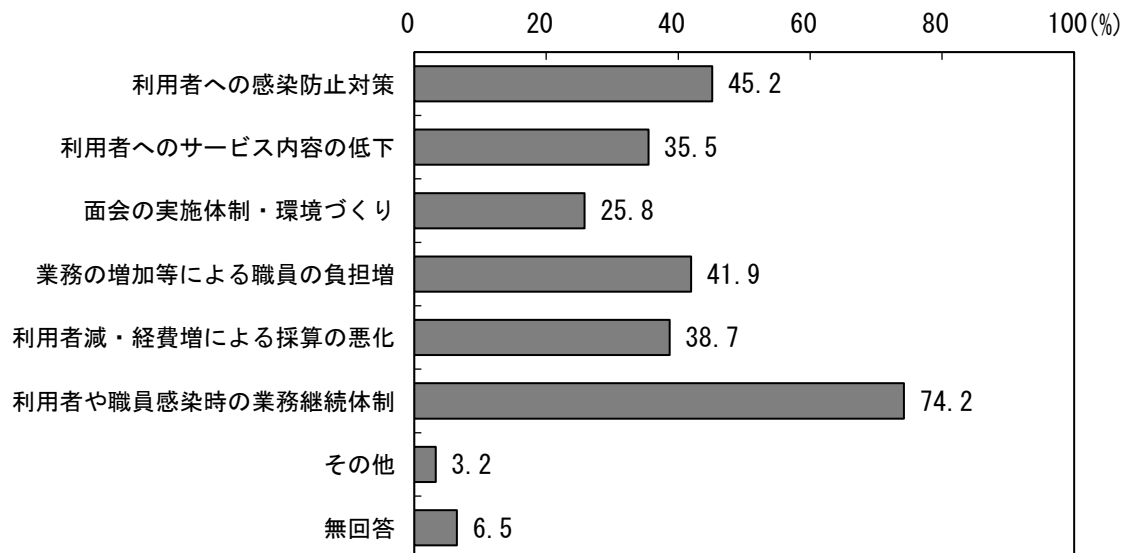


5-5 新型コロナウイルス感染症による運営上の課題

問5（5）新型コロナウイルス感染症による運営上の課題として当てはまるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

n=31

新型コロナウイルス感染症による運営上の課題は、「利用者や職員感染時の業務継続体制」（74.2%）が最も高く、次いで「利用者への感染防止対策」（45.2%）、「業務の増加等による職員の負担増」（41.9%）となっています。

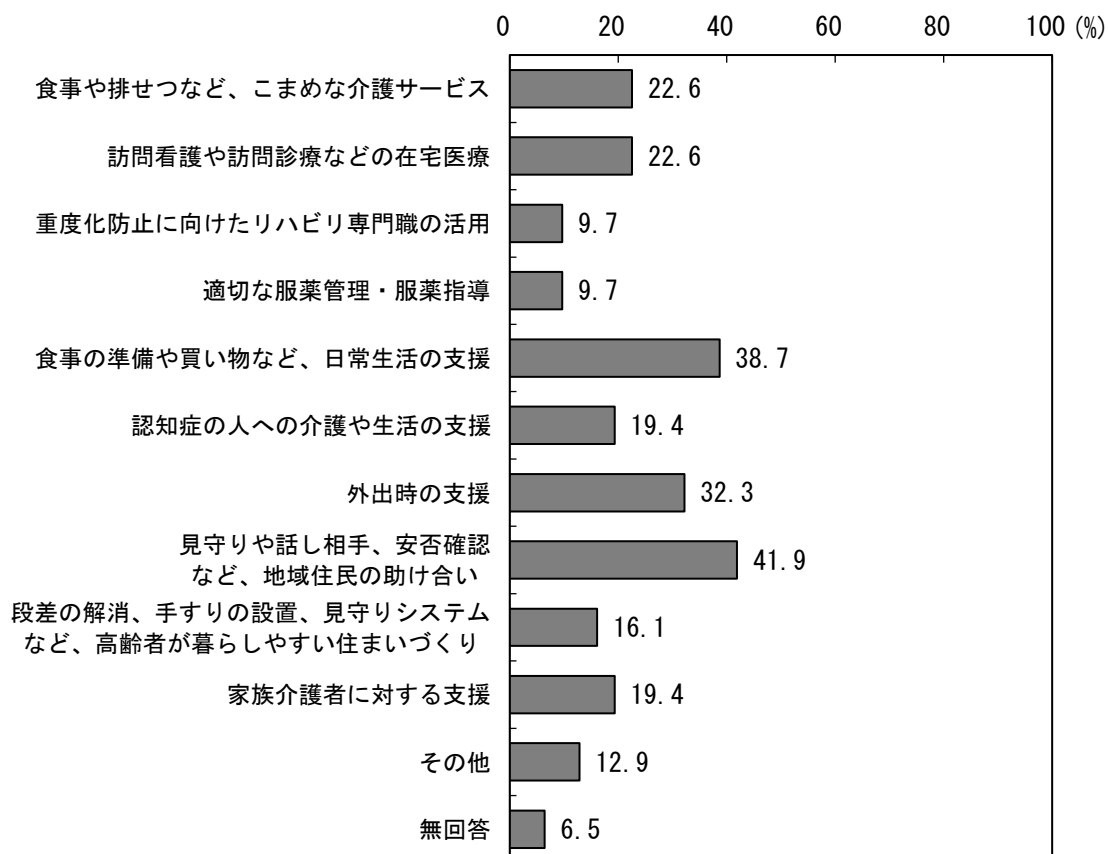


5-6 津島市で今後充実させる介護サービスの希望

問5(6) 介護を必要とする方ができる限り長く在宅生活を営むために、津島市では、第9期計画期間(令和6年度~令和8年度)に、特にどのようなことの充実を図る必要があるとお考えですか。(〇は3つまで)

n=31

第9期計画期間に、特に充実を図る必要がある支援は、「見守りや話し相手、安否確認など、地域住民の助け合い」(41.9%)が最も高く、次いで「食事の準備や買い物など、日常生活の支援」(38.7%)、「外出時の支援」(32.3%)となっています。



5-7 介護・高齢者福祉に関する意見

問5(7) その他、介護・高齢者福祉に関するご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

介護・高齢者福祉に対して、下記のような意見・要望いただきました。

主な意見

- 高齢者向けの講座のある会場へふれあいバスか乗合タクシーがあったら、参加者が多くなると思う。
- フレイル該当者をいち早く発見し、すぐに対応する仕組みを作り、介護になる前段階での行政の働きかけをもっと活発に行なってほしい。
- 住宅改修相見積もりのルールを明確にしてほしい。手すり1～3本5万円程度なら、相見積もり不要との話もあるが、あいまいである事と周知が全くなされていない。利益の少ないサービスであるのに負担だけ強いのはおかしい。窓口担当の考えで公平性に欠く取り組みになりかねない。退院前等急ぎで工事を行う必要があるケースでは、スピードが損なわれ、利用者市民の利益になっていない。
- 弊社は、在宅介護中心に運営している。独居老人や自宅での看取りに、地域全体で応援できる体制の強化を望んでいる。

V 調査結果より

V 調査結果より

1 在宅生活の継続に向けて

○介護に対する意識

- 一般高齢者の4割以上が「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」と回答し、前回調査から約6ポイント増加しました。また、「自宅」で最期を迎えたいと考える高齢者が前回調査よりも5ポイント増加しました。
- 要介護認定者においても、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」「介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」との回答が約7割でした。「施設や病院などに入所（入院）したい」と回答した理由としては、「家族に負担をかけたくない（負担になる）から」「自宅では、急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」などが上位となっていました。
- また、在宅生活の継続のため、在宅医療を「利用したい」との回答が5割以上でした。

○介護者の状況

- 要介護認定者の介護者のうち、約2割が80歳以上でした。
- 介護者の就労状況としては、働いている方が約4割で、今後も仕事を続けていけると回答した人が約7割、難しいと回答した人が約2割でした。
- 介護者が不安を感じる介護としては、「認知症状への対応」「夜間の排泄」「日中の排泄」などが上位にあがりました。前回調査と比べると、「服薬」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「その他の家事」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」などの不安が増加しました。
- 介護を断念し、入所を検討する理由としては、「認知症等による問題行動が多くなったとき」「排泄（の介護）がむずかしくなったとき」「夜間の介護負担が大きくなったとき」が上位にあがりました。

○在宅生活の継続に向けて必要な支援

- 今後の在宅生活の継続に必要なサービスの内容としては、「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」「デイサービス等の通所サービスを必要な時に利用できること」などが上位にあがりました。
- また、インフォーマルなサービスについては、「移送サービス」「配食」「外出同行」などが上位にあがりました。特に単身世帯においてこうした生活支援サービスのニーズが高い傾向がみられました。

■調査結果の考察

- 介護が必要になっても自宅で必要なサービスを利用しながら暮らし続け、最期も自宅で迎えたいと考える高齢者が多く、また、こうした傾向は前回よりも強くなっています。一方で、家族の介護負担や急変時の対応などへの不安から、施設入所を検討する方もおり、在宅介護に対する不安・負担を軽減するための取組が重要となります。
- また、介護者の高齢化に加え、仕事と介護の両立も課題となる中で、認知症や排泄に係る介護などに対して不安を感じる介護者は多く、これらが在宅介護を断念する理由の1つとなっています。
- 本人の望む暮らしの実現や介護者の不安・負担の軽減に向けて、ニーズに応じた介護保険サービスの整備・充実や医療と介護の連携を図るとともに、移送や配食をはじめとした生活支援の提供体制についても検討を進める必要があります。

2 介護予防・社会参加について

○外出・社会参加・心身の状況

- 前回調査と比べると、外出頻度はやや減少し、外出を控えている高齢者が増加しました。また、友人・知人に会う頻度やスポーツや趣味のグループなどへの参加も全体として減少傾向がみられました。
- 心身の状況として、階段昇降や立ち上がりなどが「できない」の割合が約5ポイント増加しましたが、認知症チェックリストの4項目以上該当者の割合は約4割と概ね前回と同様の結果でした。
- 健康状態は「とてもよい」「まあよい」の合計は約75%、幸福度として7点以上の割合は約6割となっており、概ね前回と同様の結果でした。

○活動への参加意向

- 自宅近くで気軽に外出できる場所がある方は6割強で、地域づくり活動に参加者としての「参加意向あり」は約5割でした。
- 参加したいと思う住民主体の通いの場合は、「家から通いやすい場所にある」「自分の好きな時間に参加できる」などが上位にあがりました。また、行いたい内容としては「健康づくりに関する知識を学ぶ」「趣味・創作活動を行う」などが多くなっていますが、性別によって異なる傾向がみられました。
- 地域づくりの活動に企画・運営として「参加してもよい」と回答した方は2割強で、参加してみたい活動は「災害時の安否確認」「日常生活の手伝い」などが上位にあがりました。

○市の介護予防施策

- 市が開催する介護予防のための教室・講座の認知度は2～3割にとどまりました。前回調査と比べると、認知度がやや向上している教室・講座が多くなっています。

■調査結果の考察

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来よりも外出や人と会う機会が減少しています。また、前回よりも身体機能が低下している高齢者の割合が増えており、今後もこうした傾向が進行することが懸念されます。これらの影響を最小限にとどめ、健康状態、幸福度の維持向上を図るため、感染症に配慮しつつも、趣味や生きがいにつながる社会参加を支援し、介護予防を推進していくことが求められます。
- 在宅生活の継続には医療・介護のみではなく、生活支援も重要となることから、助け合いやボランティア活動を支援していくことが必要です。そのためには身近な地域で集まることのできる場づくりや、地域づくりの担い手の意向がある方への情報・機会の提供を進めていくことが必要であると考えられます。地域活動への参加が、担い手自身の介護予防にもつながるような、好循環を実現していくことが望まれます。
- 合わせて、市が主催する介護予防のための教室について、積極的な情報提供などを通して、認知度を向上させ、感染症により一時的に停滞した介護予防の取組を再び推進していく必要があります。

3 認知症施策について

○認知症リスク

- 認知症チェックリストにおいて3項目以上該当した方は3割強、4項目以上は約2割でした。85歳以上に限定した場合、3項目以上該当した方は約5割、4項目以上は3割強でした。
- 要介護認定者が現在抱えている傷病として最も多いのは「認知症」であり、3割強でした。

○相談・介護

- 認知症に関する相談窓口を知っている人は、一般高齢者の2割強でした。前回調査と比べると、やや減少しています。
- 介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が4割弱と最も上位でした。前回調査と比べると、約6ポイント増加しています。
- また、介護を断念し、入所を検討する理由としては、「認知症等による問題行動が多くなったとき」が6割強と最も上位でした。

○認知症施策

- 津島市の認知症施策について知っているものがある方は、一般高齢者の2割、要介護認定者の3割強でした。前回調査と比べると、やや増加がみられました。
- 一般高齢者で「認知症サポーター養成講座」を知っている人は1割未満でした。要介護認定者が知っている施策は、「認知症介護家族交流会」が2割強、「認知症カフェ」が1割強、「家族支援プログラム」が1割未満でした。

■調査結果の考察

- 要介護認定を受ける前の段階でも認知症のリスクを有する方がいるほか、要介護認定者が抱えている傷病として認知症は上位となっています。
- 認知症の予防については、介護予防の取組の中で、認知症予防につながる可能性のある内容を取り入れていくとともに、認知症チェックリストの該当者など、認知機能の低下が疑われる方に対して、適切な認知症施策につなげて支援することが必要です。
- また、適切な支援につながるためには、本人や家族が相談窓口や市の施策について把握していることが重要です。そのため、認知症の相談窓口をはじめ、認知症カフェや家族支援の施策などについて、周知・広報を一層推進していくことが求められます。
- さらに、介護者が不安に感じる介護や在宅介護を断念する要因として、認知症への対応は重要なキーワードとしてあがっていることから、介護者の不安・負担について具体的に把握したうえで、その軽減に資する支援を進める必要があります。

津島市 高齢者介護に関する調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、事業者向けアンケート調査)
調査結果報告書

発行年月 令和5年3月

発行 津島市

編集 津島市 健康福祉部 高齢介護課

〒496-8686 愛知県津島市立込町2丁目21番地

TEL : 0567-24-1118 (直通)

FAX : 0567-24-1791